

2024 単位修得要領

京都女子大学

「2024 単位修得要領」は、2024 年度に入学した学生が卒業するために必要な学的事項を記載した冊子です。回生が変わっても、卒業するまで使用します。大切に保管してください。

カリキュラムは、年次の途中で変更になる可能性があります。

自分の入学年度以外の年度に発行された単位修得要領等は、内容が異なりますので参考にしないでください。

京都女子大学 HP（在学生のページ）に単位修得要領が掲載されています。



はじめに

「2024 単位修得要領」には、学生の皆さんが、自分自身でこの4年間の学生生活を計画し、実現していくために、欠かすことができない、基本的かつ重要な情報がまとめられています。

「単位修得要領」は、Ⅰ. 京都女子大学のカリキュラム、Ⅱ. 履修科目表・カリキュラムマップ、Ⅲ. 免許・諸資格、Ⅳ. 京都女子大学履修要項、等が記載されています。

大学では、「学則」や諸規定で定められたルールに従って、学生自身が自分の判断で授業科目を選択し、履修登録をして学修を進めていかなければなりません。

所属する学部・学科の教育課程の目的に応じて卒業に必要な単位数があり、必ず履修しなければならない科目がありますが、希望する進路や興味・関心に応じて履修する選択科目も多く開講されています。また、資格取得を希望する人は、その資格ごとに定められた科目を履修しなければなりません。

今、大学では「学びの質」が問われています。そのため、1年間に登録できる単位数に上限を設けています（CAP制）。これは、授業時間に学ぶだけでなく、その科目の授業を受けるための準備や関心のある事柄について、理解を深める学習の時間を確保し、学びを深める必要があるからです。修得した単位数の多さではなく、大学でどのような力を身につけたのか、何ができるようになったのか、社会で通用する力を確実に身につけてきているのか等、「自ら考え行動する人材」を社会は求めています。自分で責任をもって登録し、学習目標に沿って確実に力をつけていってください。

「単位修得要領」や、京女ポータルで公開している「シラバス（授業計画書）」を十分に読んで、時間割表を見ながら、自分自身で一年間の履修計画をしっかりと立て、確実に、学修を進めてください。シラバスには、授業の到達目標、カリキュラムマップの6つの能力、授業の概要や計画、時間外学習等について記載してありますので、熟読して、授業に臨んでください。

皆さん一人ひとりの夢や希望がかなえられるよう、この「単位修得要領」を卒業まで手元において活用し、学びを積み重ね、「一生つづくチカラ」をつけていくことを望みます。

京都女子大学において、4年間有意義な学生生活を送れることを、期待しています。

2024 単位修得要領 目次

I. 京都女子大学のカリキュラム

履修について	P.2
卒業に必要な単位数、必修科目と選択科目等について、各科目群の必要単位数について、再履修について、履修登録について、履修登録単位数の上限（CAP制）、カリキュラムマップ、ナンバリング	
他大学で修得した単位の認定について	P.8
成績評価について	P.9
京都女子大学副専攻プログラム	P.10

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

建学科目群	P.16
共通科目群	P.16
諸課程履修科目	P.24
専門科目群	
文学部	
国文学科	P.29
英語文化コミュニケーション学科	P.32
史学科	P.35
教育学科	P.40
発達教育学部	
心理共生学科	P.46
心理共生学部	
食物栄養学科	P.50
家政学部	
生活造形学科	P.52
現代社会学部	
現代社会学科	P.56
法学部	
法学科	P.60
データサイエンス学部	
データサイエンス学科	P.64
履修科目チェックシート	P.68

III. 免許・諸資格

教職課程	P.81
教員免許の取得にあたって	P.82
教員免許の科目履修表	P.83
諸資格	P.109
諸資格の科目履修表	P.110

IV. 京都女子大学 履修要項 P.126

I. 京都女子大学のカリキュラム

詳細については履修要項（P.126～）を熟読してください。

履修について

■卒業に必要な単位数

卒業するためには、所定の授業科目を履修し合計 132 単位以上の修得が必要です。(履修要項第 1 条)
諸課程履修科目 (P.24~P.25) は卒業要件に含みません。

科目群	科目区分	卒業要件単位数	
		必修 及び 選択必修	選択
建学科目群	仏教学	8 単位	—
共通科目群	言語コミュニケーション科目	8 単位	30 単位 「共通科目群」及び 「専門科目群」より 合計 30 単位を 自由に選択
	情報基盤科目	4 単位	
	健康科学科目	2 単位	
	ジェンダー科目 連携活動科目 国際理解科目 教養科目 オープン科目	8 単位 5 つの科目区分より 合計 8 単位を 自由に選択	
	専門科目群	72 単位 (※) 必修科目を全て含めて 合計 72 単位を選択	
	卒業要件単位数の合計	132 単位	

※ 各学科の専門科目については P.29~P.65 参照。

■必修科目と選択科目等について

必修科目

必修科目とは卒業するために必ず修得しなければならない科目のことで、科目一覧表の「必選の別」に「必」と記載されています。

必修科目が不合格となった場合は、必ず次年度以降に再履修してください。(再履修については P.3 を確認してください。)

選択科目と選択必修科目

選択科目とは自由に選択して履修できる科目のことで、科目一覧表の「必選の別」に「選」と記載されています。

ただし、「選」と記載された科目の中には、「この中から○単位修得すること」「○○コース・系列の者は必修」のように、指定された範囲から定められた単位数を選択して修得しなければならない科目があり、これらを選択必修科目といいます。

選択必修科目の履修条件は、履修科目表の備考欄に記載されています。

■各科目群の必要単位数について

建学科目群

仏教学(8 単位必修)

仏教学ⅠA、仏教学ⅠB、仏教学ⅡA、仏教学ⅡB は必ず修得してください。

共通科目群

言語コミュニケーション科目(8 単位必修)

- ・英語ⅠA1、英語ⅠA2、英語ⅠB1、英語ⅠB2 は必ず修得してください。
- ・初修外国語のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のいずれか1言語について、
○○語ⅠA1、○○語ⅠA2、○○語ⅠB1、○○語ⅠB2 は必ず修得してください。

情報基盤科目(4 単位必修)

情報リテラシー、データ・AIリテラシーは必ず修得してください。

健康科学科目(2 単位必修)

運動と健康科学は必ず修得してください。

ジェンダー科目・連携活動科目・国際理解科目・教養科目・オープン科目 (8 単位選択必修)

5つの科目区分より、自由に選択して合計8単位を必ず修得してください。

専門科目群

学科専門科目

各学科の専門科目(P.29~P.65)より、必修科目をすべて含めて合計72単位を修得してください。

■再履修について

不合格になった科目や開講年次に履修できなかった科目は次年度以降に履修(再履修)することができます。卒業必修科目が不合格となった場合は必ず再履修してください。

建学科目群、共通科目群及び諸課程履修科目の再履修方法については、「履修の手引き」を確認してください。

■履修登録について

大学の授業を履修するためには、毎年度当初に履修登録の手続きを行う必要があります。

(履修要項第4条)

履修登録とは、定められた期間にその年度に履修する科目を登録する手続きのことです。

履修登録をしていない授業に出席しても単位を修得することはできません。

履修登録にあたっては、P.2に掲載した「卒業に必要な単位数」を熟知し、4年間で必要単位(132単位)を修得できるよう、履修計画を立てたうえで行ってください。

また、定められた期間外に履修登録・修正を行うことはできません。履修登録忘れや履修登録手続きの不備による不利益は学生本人の責任となりますので注意してください。

■履修登録単位数の上限(CAP^{キャップ}制)

本学では、1年間に履修登録できる単位数に上限を設ける「CAP^{キャップ}制」を導入しています。

卒業要件として修得すべき単位のうち、1年間に履修登録できる単位数の上限は48単位です。

上限を超えて履修登録することはできません。

また、学修効果の観点から、半期の登録単位数が24単位以下となるよう履修計画を立ててください。

$$\boxed{\text{前期履修登録単位数}} + \boxed{\text{後期履修登録単位数}} = 48 \text{ 単位まで}$$

上限は登録単位数の合計であり、修得単位数の合計ではありません。

前期終了時点で単位を修得できなかった科目(59点以下又はD評価)があった場合でも、その単位数分の授業科目を後期の履修登録修正期間に追加することはできません。(前期成績の結果により1年間の履修登録単位数の上限が変動することはありません。)

*卒業年次においても、履修登録単位数の上限は48単位です。注意してください。

*卒業に必要な単位としてカウントされない科目(「諸課程履修科目」等)は、CAP制の対象外ですので、上限を超えて履修登録することができます。

<各科目区分の履修登録に伴う確認一覧表>

領域	科目区分	卒業に必要な単位に含まれる科目	CAP制対象科目
科建 目群学	仏教学	○	○
共通 科目群	言語コミュニケーション科目	○	○
	情報基盤科目	○	○
	健康科学科目	○	○
	ジェンダー科目	○	○(※)
	連携活動科目	○	○
	国際理解科目	○	○(※)
	教養科目	○	○
	オープン科目	○	○
科専 目群門	学科専門科目	○	○(※)
その他	諸課程履修科目	×	対象外

(※)一部、CAP制の対象外となる科目があります。詳細はP.5を確認してください。

<CAP 制の対象科目>

卒業に必要な単位としてカウントできる科目は、CAP 制の対象となるのが原則です。

ただし、卒業に必要な単位としてカウントできる科目のうち、卒業論文又は卒業研究、校外実習及び校外研修を中心とする科目及び当該実習指導に関する科目等は CAP 制から除外されます。

※卒業に必要な単位としてカウントできる科目のうち、CAP 制から除外される科目

領域	科目区分	科目名 (CAP 制の対象外)
共通科目群	ジェンダー科目	職業体験実習
	国際理解科目	語学・文化研修(A1～A5、B1～B5)、国際理解実習
専門科目群	全学部 専門科目	卒業論文又は卒業研究
	教育学科	教育実習(幼・小)、教育実習論(幼・小)
		中学校教育実習、教育実習、教育実習論(中高)
		特別支援学校教育実習、特別支援学校教育実習論
		社会教育基礎実習、社会教育実習
		保育実習 I A、保育実習 I B、保育実習指導 I A、保育実習指導 I B
		保育実習 II、保育実習指導 II
		保育実習 III、保育実習指導 III
	国語科教育方法論(小中)、社会科教育方法論、算数科教育方法論、理科教育方法論、生活科教育方法論、音楽科教育方法論(小中)、図工科教育方法論、家庭科教育方法論、体育科教育方法論、外国語科教育方法論(小中)	
	心理共生学科	心理実習
		ソーシャルワーク実習 I、ソーシャルワーク実習指導 I
		ソーシャルワーク実習 II、ソーシャルワーク実習指導 II
		スクールソーシャルワーク実習、スクールソーシャルワーク実習指導
	食物栄養学科 専門科目	看護臨床実習、看護臨床実習指導
		給食運営校外実習、給食運営校外実習事前事後指導
臨地実習(臨床栄養学 I・II・III、公衆栄養学、給食経営管理論)		
臨地実習事前事後指導		
生活造形学科 専門科目	被服学概論、住居学概論、保育学、家庭経営学、衣服実習	
	家庭科教育法(1、2、3、4)	
現代社会学科 専門科目	テキスタイルアドバイザー実習	
	多文化理解実習	
	短期英語研修A、短期英語研修B	

*この他、本学入学前に他大学で修得した科目や、留学等により単位認定された科目、京女高大連携科目、外国語認定科目など、認定された科目(成績表に「N」と表記される科目)は卒業に必要な単位としてカウントされますが、CAP 制からは除外されます。

*卒業に必要な単位としてカウントされない科目(「諸課程履修科目」等)は、もともと CAP 制から除外されています。

■カリキュラムマップ

本学では、学位授与の方針（※）として、修得すべき6つの能力を示しています。（表1）

また、P.16以降の履修科目表では、各科目と6つの能力の関連性を「カリキュラムマップ」に示しています。（卒業要件の単位にはならない「諸課程履修科目」を除く。）

各科目においてそれぞれの能力と特に深い関連性のある項目は「◎」、ある程度関連性のある項目は「○」を付しています。

（※）学位授与の方針についてはWeb上に詳細を掲載しています。

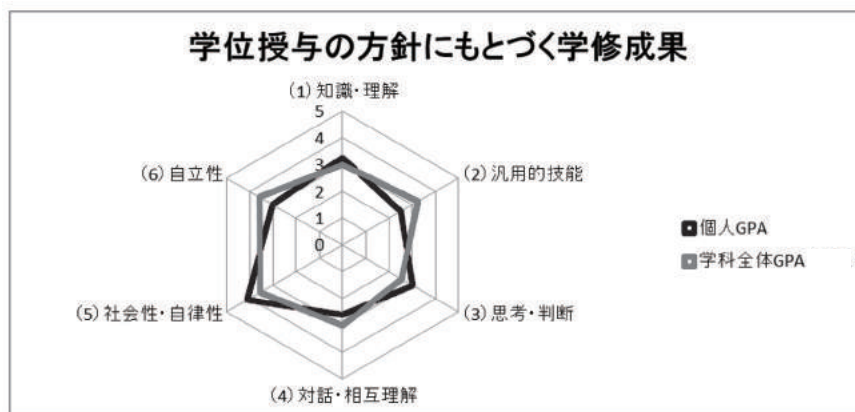
表1

<p>1. 知識・理解</p> <p>①専門分野について、高度の知識・理解・技能を有している。</p> <p>②人文、社会、自然など、広い教養を有している。</p> <p>③宗教に対する正しい理解と正しい批判力を有している。</p> <p>2. 汎用的技能</p> <p>①日本語を正確に理解・表現できる。</p> <p>②母語以外の特定の外国語が運用できる。</p> <p>③数量データを含む多様な情報を収集・分析・表現し、活用できる。</p> <p>④情報通信技術（ICT）を活用することができる。</p> <p>3. 思考・判断</p> <p>①主体的で批判的・合理的な思考を展開できる。</p> <p>②専門分野の知識・理解等に拠りつつ、広い視野と根拠に基づいて判断できる。</p> <p>③主体的に課題を発見・解決できる。</p>	<p>4. 対話・相互理解</p> <p>①様々な状況に応じた、適切な表現・理解・態度による対話ができる。</p> <p>②対話・議論を通して、他者（異文化も含めて）との相互理解・協調に努めることができる。</p> <p>5. 社会性・自律性</p> <p>①高い倫理観を備え、市民としての社会的責務に対する自覚を有している。</p> <p>②社会の規範やルールに従って、自らを律して行動できる。</p> <p>③組織の中で、自らの専門的知識・理解・技能、個性や能力を活かして協働できる。</p> <p>④適切なリーダーシップを発揮できる。</p> <p>⑤専門的知識・理解・技能等を活用して、社会に貢献できる。</p> <p>6. 自立性</p> <p>①卒業後も生涯を通じて学び続けられるよう、自立的な学習能力を身につけている。</p>
---	---

ーカリキュラムマップを活用した学修成果の可視化についてー

修得した科目の成績から算出された6つの能力ごとのGPA（P.9参照）の数値を線をつなぎ、レーダーチャートに表したグラフを、京女ポータル学修ポートフォリオで確認することができます。

学修成果を視覚的に確認することにより、自身の強みや弱みを知り、履修科目の検討、進路決定や就職活動等に活用することができます。



■ナンバリング

ナンバリングは、学修の順序や当該科目の位置付け・体系性を視覚化するため、全ての開講科目に規則的な番号を付番したものです。

例)国文学科開講科目「基礎演習 A」

L1 2 1 2 2
① ② ③ ④ ⑤

- ①: 学科等の開講元識別記号を表しています。〈例〉「L1」…国文学科
 ②: 授業レベルを4種類に区分しています。〈例〉「2」…基礎
 ③: 専門科目、共通科目などの科目区分や必選の別を表しています(※)。〈例〉「1」…専門科目(必修)
 ④: 授業形態を5種類に区分しています。〈例〉「2」…演習・講読
 ⑤: 学位授与の方針に示された6つの能力のうち、カリキュラムマップが示す科目と最も関連性の深い能力を表しています。〈例〉「2」…汎用的技能

(※)卒業要件としての必修・選択を示しています。

①開講元識別記号

◆建学科目群		
仏教学		A1
◆共通科目群		
言語コミュニケーション科目	英語	B1
	ドイツ語	B2
	フランス語	B3
	中国語	B4
	韓国語	B5
	日本語	B6
情報基盤科目		C1
健康科学科目		D1
ジェンダー科目		F1
連携活動科目		G1
国際理解科目		B7
教養科目		E1
◆諸課程履修科目		
教職課程科目		V1
学芸員課程科目		V2
司書課程科目		V3
日本語教師課程科目		V4

◆専門科目群	
文学部共通専門科目	L0
国文学科専門科目	L1
英語文化コミュニケーション学科専門科目	L2
史学科専門科目	L3
教育学科専門科目	M6
心理共生学科専門科目	Y1
食物栄養学科専門科目	N1
生活造形学科専門科目	N2
現代社会学科専門科目	P1
法学科専門科目	Q1
データサイエンス学科専門科目	R1

②授業レベル

1	入門
2	基礎
3	応用
4	発展
-	-
-	-
9	その他

③科目区分

1	専門科目(必修)
2	専門科目(選択)
3	共通科目(必修)
4	共通科目(選択)
5	諸課程科目
-	-
9	その他

④授業形態

1	講義
2	演習・講読
3	実験・実習・実技
4	学外実習・研修
5	卒業論文・卒業研究
-	-
9	その他

⑤学位授与の方針

1	知識・理解
2	汎用的技能
3	思考・判断
4	対話・相互理解
5	社会性・自律性
6	自立性
9	その他

他大学で修得した単位の認定について

大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用し、他大学又は短期大学で修得した単位を本学の科目に読み替えて単位を認定することができます。

卒業に必要な単位に含めることができる単位数の上限は、外国語検定試験により認定を受けた科目等の単位数と併せて**60単位まで**です。

■大学コンソーシアム京都の単位互換制度について

大学コンソーシアム京都の単位互換包括協定に加盟している大学の学生が、他の加盟大学が開講する科目を履修でき、修得した単位が所属大学の単位として認定される制度です。この制度を利用して受講することができる科目を単位互換科目といいます。

単位互換科目の受講は、2回生及び3回生のみ可能です。

◆単位互換科目の受講に関する注意事項

- ・単位互換科目は、履修登録後に登録を取り消すことができません。
- ・単位互換科目の単位数も、CAP制（1年間に登録できる単位数の上限）に含まれます。（※）
- ・単位互換協定により他大学で開講される教職関連科目の単位を修得しても、本学における教員免許取得のための単位として扱うことはできません。

（※）外国語認定科目等の単位数と併せて60単位を超えるものについては、卒業に必要な単位に含まれない為CAP制の対象外となります。

■国内協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ国内の大学に一年間又は半年間留学する制度を利用した場合、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除されます。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく4年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については教務課にお問い合わせください。

■海外協定大学留学制度について

本学と協定を結んだ海外の大学に一年間又は半年間留学する「協定大学留学」には、留学期間中の本学の学費相当額が協定留学生奨学金として給付される「派遣留学」と、本学に学費を支払うことで留学先の学費が免除される「交換留学」の2種類があります。

協定大学への留学期間は本学在学期間とみなされるため、休学することなく4年で卒業を目指すことができます。また、留学先での修得単位の一部（上限あり）は、授業内容に応じて本学における履修科目の単位として認定されます。

詳細については国際交流課にお問い合わせください。

成績評価について

■成績評価

授業科目の成績評価は、試験やレポート、平常成績等を総合して判断し、上位より SS、S、A、B、C 及び D をもって表示します。(履修要項第 41 条)

また、それぞれの成績評価の GP(グレードポイント)から算出した単位当たりの平均値(GPA)を成績通知書に記載します。(履修要項第 42 条)

■GPA

GPA とは「Grade Point Average」の略で、履修登録したすべての科目の成績評価を GP に置き換え、算出した平均値(Average)のことをいいます。教職課程の履修、奨学金受給者の選出や就職活動、留学生選考等に使用する大切な基準です。

- ・卒業要件に含まれない科目の成績も GPA の計算に含まれます。
- ・100 点満点の採点を行わず、成績評価を「合格(G)又は不合格(D)」、「認定(N)」で表記する科目は、GP が算出できないため、GPA の算出対象科目から除外します。

(1) GP (Grade Point) 算出方法

100 点満点による採点結果(素点)から GP を求めます。

$$GP = \text{採点結果(素点)} \times 1/10 - 5$$

種別	採点結果	成績評価	GP	判定の基準
合格	100 点	SS	5.0	授業科目の目標を完全に達成している。
	90 点～99 点	S	4.0～4.9	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	80 点～89 点	A	3.0～3.9	授業科目の目標を相応に達成している。
	70 点～79 点	B	2.0～2.9	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	60 点～69 点	C	1.0～1.9	授業科目の目標の最低限を満たしている。
	G	G	—	100 点法では評価できない科目の合格。(※)
不合格	D 0 点～59 点	D	0.0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定合格	N	N	—	他大学等で修得した単位。 本学入学前に修得した単位。

(※) 教職実践演習及び教育実習等の学外実習・研修にかかる授業科目の成績評価は、G、D をもって表わし、G を合格とする。

(2) GPA の算出方法

$$GPA = \frac{[(\text{登録科目の単位数}) \times (\text{登録科目で得た GP})] \text{の総和}}{(\text{登録科目の単位数}) \text{の総和}}$$

■学修面談

以下の条件に該当する場合、本学教員による面談を行います。(履修要項第 42 条の 2)

- ・当該学期の GPA が 2.0 未満の場合 (GPA の基準は変更になることがあります。)
- ・その他、学科において特に面談が必要と認めた場合

京都女子大学副専攻プログラム

副専攻プログラムとは、学部・学科等の専門領域以外の特定分野や特定課題について、授業科目を体系的に編成したプログラムであり、複眼的な視野を持って社会で活躍する人材を育成することを目的とした、全学共通のプログラムです。

2024 年度入学生の副専攻プログラムには『**仏教プログラム**』と『**女性地域リーダー養成プログラム**』があります。それぞれに定められた科目を履修し単位を修得することで、当該副専攻プログラムの「修了証」が授与されます。

■履修方法

各副専攻プログラムの修了に必要な科目は、全学生が履修することができます。また、修得した単位は卒業要件に含めることができます。

各副専攻プログラムの科目表は P.11～P.12 に掲載しています。

※副専攻プログラムの履修は、申込みの必要はありません。また、履修にかかる費用等も発生しません。各副専攻プログラムの科目表に従い、所定の科目を履修してください。

■修了証の授与

副専攻プログラムを修了した学生に対して、その学修成果を認定し、京都女子大学副専攻プログラム修了証が学長より授与されます。修了証の発行を希望する者は、3 回生終了時又は 4 回生終了時に修了証発行申請を行う必要があります。

修了証発行申請時期と修了証授与時期について

3 回生終了時（12 月及び 3 月）に申請 ⇒ 4 回生 4 月に授与
4 回生終了時（12 月及び 3 月）に申請 ⇒ 卒業式に授与

※修了証は再発行できません。

※成績表に副専攻プログラム名は掲載されません。履修した科目は、副専攻プログラムとしてではなく、各科目群（建学科目群、共通科目群、専門科目群）の科目として掲載されます。

※副専攻プログラムの修了を証明するものは「修了証」のみとなります。

京都女子大学副専攻プログラム規程

（目的）

第 1 条 この規程は、京都女子大学学則第 14 条の 2 の規定に基づき、京都女子大学副専攻プログラム（以下、「副専攻」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（副専攻の区分及び修得単位）

第 2 条 副専攻の区分及び修了に必要な単位数は、別に定める。

（履修）

第 3 条 副専攻の履修に必要な手続きについては、本学の履修要項を準用する。

（修了認定）

第 4 条 副専攻の修了認定は、当該プログラムを運営するセンター・研究所または委員会の判定を経て、学長が行う。

2 学長は、副専攻の修了認定を受けた者に修了証を授与する。

（改廃）

第 5 条 この規程の改廃は、大学部局長会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は平成 31 年 4 月 1 日から施行し、平成 31 年度入学生から適用する。

京都女子大学副専攻 仏教プログラム

本学は親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく教育を建学の精神に掲げています。その理念を達成するうえで、仏教学の学修は中核に位置づけられます。必修科目で学ぶ基礎的な知識とともに、より発展的・実践的な科目群において学びを深め、体系的な学修を行うことで、自己と社会のあり方を深く洞察できる心豊かな人間を育成することを目的としています。

■到達目標

必修科目である「仏教学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」において、釈尊と親鸞聖人の生涯及びその教えについて基礎的な知識を修得します。加えて、仏教の思想と文化、あるいは現代社会の諸問題を仏教的視点から考察する「教養科目 特定主題（仏教）」及び指定された科目を履修し、体系的な知識を修得することを目指します。これにより仏教を通じて自己と社会のあり方を問う視点を身につけます。

■仏教プログラム 科目表

卒業必修科目 8 単位を含めて合計 16 単位以上修得すること。

科目名	単位数	科目区分	備考	
仏教学ⅠA	2	仏教学 卒業必修科目	8 単位必修	
仏教学ⅠB	2			
仏教学ⅡA	2			
仏教学ⅡB	2			
現代と仏教A	2	教養科目 特定主題 (仏教)	合計 8 単位以上 修得すること	
現代と仏教B	2			
仏教文学A	2			
仏教文学B	2			
仏教文化A	2			
仏教文化B	2			
仏教思想A	2			
仏教思想B	2			
外国語で読む仏教A	2			
外国語で読む仏教B	2			
地域と仏教演習	2			
社会と仏教特論	2			
日本文化特殊講義A	2			オープン科目 (国文学科提供)
日本文化特殊講義B	2			
合計 16 単位以上修得すること。				

京都女子大学副専攻 女性地域リーダー養成プログラム

女性地域リーダー養成プログラムは、各学科で修得した専門性に加えて、地域課題の発見能力、問題解決能力、実践力を備えた行動できる女性、地域のリーダーとなりうる女性の養成を目的としています。

■到達目標

導入科目である「連携活動入門」では、大学・企業をはじめとして社会全体で連携活動が求められている背景、及び連携活動に従事するにあたって知っておくべき基礎知識を学びます。連携活動科目及び指定された科目の履修を通して、各種の連携活動に関する専門知識を修得します。

「連携課題研究 1」において、連携活動に求められる実践力を養います。連携活動を体系的に学ぶことによって、地域社会の担い手として、地域社会が抱える諸課題を考察し、その解決に対応できる科学的思考力を身につけます。

■女性地域リーダー養成プログラム 科目表

必修科目を含めて合計 12 単位以上修得すること。

科目名	単位数	科目区分	備考	
連携活動入門	2	連携活動科目	2 単位必修	
地域連携講座 A 1	2			
地域連携講座 A 2	2			
地域連携講座 A 3	2			
地域連携講座 B 1	2			
地域連携講座 B 2	2			
産学連携講座 A 1	2			
産学連携講座 A 2	2			
産学連携講座 B 1	2			
産学連携講座 B 2	2			
地域社会学	2	オープン科目 (現代社会学科提供)	地域連携講座 1 科目、産学連携講座 1 科目を含む 計 4 科目 8 単位以上修得 すること	
民俗文化論	2			
連携課題研究 1	2	連携活動科目		2 単位必修
合計 12 単位以上修得すること				

Ⅱ. 履修科目表・カリキュラムマップ

目次

建学科目群（全学科共通の科目）	P.16
共通科目群（全学科共通の科目）	P.16
諸課程履修科目（全学科共通の科目）	P.24
専門科目群		
文学部	国文学科	P.29
	英語文化コミュニケーション学科	P.32
	史学科	P.35
発達教育学部	教育学科	P.40
心理共生学部	心理共生学科	P.46
家政学部	食物栄養学科	P.50
	生活造形学科	P.52
現代社会学部	現代社会学科	P.56
法学部	法学科	P.60
データサイエンス学部	データサイエンス学科	P.64
履修チェックシート	P.68

建学科目群 及び 共通科目群

全学共通

建学科目群 仏教学

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	汎用的技能	判断・思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
A11311	仏教学 I A	必	2	2										◎					○
A11311	仏教学 I B	必	2		2									◎					○
A13311	仏教学 II A	必	2					2						◎					○
A13311	仏教学 II B	必	2						2					◎					○

共通科目群

言語コミュニケーション科目

「英語」と「ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語のうち一外国語」のそれぞれにつき、I A1、I A2、I B1、I B2の合計8科目8単位を修得しなければならない。

英語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	汎用的技能	判断・思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
B12322	英語 I A1	必	1	1										○	◎				
B12322	英語 I A2	必	1	1										○	◎				
B12322	英語 I B1	必	1		1									○	◎				
B12322	英語 I B2	必	1		1									○	◎				
B13422	英語 II A1	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A2	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A3	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A4	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A5	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A6	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A7	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II A8	選	1	(1)		1								○	◎				
B13422	英語 II B1	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B2	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B3	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B4	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B5	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B6	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B7	選	1		(1)		1							○	◎				
B13422	英語 II B8	選	1		(1)		1							○	◎				
B14422	英語 III A1	選	1			(1)		1						○	◎				
B14422	英語 III A2	選	1			(1)		1						○	◎				
B14422	英語 III B1	選	1				(1)		1					○	◎				
B14422	英語 III B2	選	1				(1)		1					○	◎				

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

英語 II の科目は1回生から履修することができる。英語 III の科目は2回生から履修することができる。

ドイツ語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
B21322	ドイツ語 I A1	選	1	1								○	◎					ドイツ語を選択した者は必修	
B21322	ドイツ語 I A2	選	1	1								○	◎						
B21322	ドイツ語 I B1	選	1		1							○	◎						
B21322	ドイツ語 I B2	選	1		1							○	◎						
B22422	ドイツ語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎					修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 ドイツ語Ⅲの単位を修得するためには、ドイツ語Ⅱ6科目のうち、ドイツ語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。	
B22422	ドイツ語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎						
B22422	ドイツ語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎						
B22422	ドイツ語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎						
B22422	ドイツ語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎						
B22422	ドイツ語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎						
B23422	ドイツ語ⅢA1	選	1			(1)		1				○	◎						
B23422	ドイツ語ⅢA2	選	1			(1)		1				○	◎						
B23422	ドイツ語ⅢB1	選	1				(1)		1			○	◎						
B23422	ドイツ語ⅢB2	選	1				(1)		1			○	◎						
B24422	ドイツ語ⅢA3	選	1					(1)		1		○	◎						
B24422	ドイツ語ⅢB3	選	1						(1)		1	○	◎						

フランス語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
B31322	フランス語 I A1	選	1	1								○	◎					フランス語を選択した者は必修	
B31322	フランス語 I A2	選	1	1								○	◎						
B31322	フランス語 I B1	選	1		1							○	◎						
B31322	フランス語 I B2	選	1		1							○	◎						
B32422	フランス語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎					修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 フランス語Ⅲの単位を修得するためには、フランス語Ⅱ6科目のうち、フランス語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。	
B32422	フランス語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎						
B32422	フランス語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎						
B32422	フランス語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎						
B32422	フランス語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎						
B32422	フランス語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎						
B33422	フランス語ⅢA1	選	1			(1)		1				○	◎						
B33422	フランス語ⅢA2	選	1			(1)		1				○	◎						
B33422	フランス語ⅢB1	選	1				(1)		1			○	◎						
B33422	フランス語ⅢB2	選	1				(1)		1			○	◎						
B34422	フランス語ⅢA3	選	1					(1)		1		○	◎						
B34422	フランス語ⅢB3	選	1						(1)		1	○	◎						

中国語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
B41322	中国語 I A1	選	1	1								○	◎					中国語を選択した者は必修	
B41322	中国語 I A2	選	1	1								○	◎						
B41322	中国語 I B1	選	1		1							○	◎						
B41322	中国語 I B2	選	1		1							○	◎						
B42422	中国語 II A1	選	1	(1)		1						○	◎					修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 中国語Ⅲの単位を修得するためには、中国語Ⅱ6科目のうち、中国語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。	
B42422	中国語 II A2	選	1	(1)		1						○	◎						
B42422	中国語 II A3	選	1	(1)		1						○	◎						
B42422	中国語 II B1	選	1		(1)		1					○	◎						
B42422	中国語 II B2	選	1		(1)		1					○	◎						
B42422	中国語 II B3	選	1		(1)		1					○	◎						
B43422	中国語ⅢA1	選	1			(1)		1				○	◎						
B43422	中国語ⅢA2	選	1			(1)		1				○	◎						
B43422	中国語ⅢB1	選	1				(1)		1			○	◎						
B43422	中国語ⅢB2	選	1				(1)		1			○	◎						
B44422	中国語ⅢA3	選	1					(1)		1		○	◎						
B44422	中国語ⅢB3	選	1						(1)		1	○	◎						

コリア語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能的	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
B51322	コリア語 I A1	選	1	1										○	◎						コリア語を選択した者は必修	
B51322	コリア語 I A2	選	1	1										○	◎							
B51322	コリア語 I B1	選	1		1									○	◎							
B51322	コリア語 I B2	選	1		1									○	◎							
B52422	コリア語 II A1	選	1	(1)		1								○	◎						修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。 コリア語Ⅲの単位を修得するためには、コリア語Ⅱ6科目のうち、コリア語ⅡA1を含む3科目の単位を修得しなければならない。	
B52422	コリア語 II A2	選	1	(1)		1								○	◎							
B52422	コリア語 II A3	選	1	(1)		1								○	◎							
B52422	コリア語 II B1	選	1		(1)		1							○	◎							
B52422	コリア語 II B2	選	1		(1)		1							○	◎							
B52422	コリア語 II B3	選	1		(1)		1							○	◎							
B53422	コリア語 III A1	選	1			(1)		1						○	◎							
B53422	コリア語 III A2	選	1			(1)		1						○	◎							
B53422	コリア語 III B1	選	1				(1)		1					○	◎							
B53422	コリア語 III B2	選	1				(1)		1					○	◎							
B54422	コリア語 III A3	選	1					(1)		1				○	◎							
B54422	コリア語 III B3	選	1						(1)		1			○	◎							

日本語

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能的	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
B62422	日本語 I A1	選	1	1										○	◎						日本語は外国人留学生に限り履修することができる。	
B62422	日本語 I A2	選	1	1										○	◎							
B62422	日本語 I B1	選	1		1									○	◎							
B62422	日本語 I B2	選	1		1									○	◎							

外国人留学生は、言語コミュニケーション科目として母語を履修することはできない。

英語を母語とする外国人留学生は、「ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語、日本語」より二外国語を選択し、それぞれにつき、I A1、I A2、I B1、I B2を修得して言語コミュニケーション科目の必修単位(合計8科目8単位)とすること。

情報基盤科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能的	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
C11322	情報リテラシー	必	2	2										○	◎						
C11322	データ・AIリテラシー(*)	必	2	(2)	2									○	◎						
C12412	情報基礎A	選	2		2									○	◎						
C12412	情報基礎B	選	2		2									○	◎						
C12412	情報基礎C	選	2			2								○	◎						
C12412	情報基礎D	選	2			2								○	◎						
C12422	データ・AI基礎A	選	2			2								○	◎						
C12422	データ・AI基礎B	選	2				2							○	◎						
C12422	データ・AI基礎C	選	2			2								○	◎						
C12422	データ・AI基礎D	選	2				2							○	◎						

(*)データサイエンス学部のみ、1回生前期開講

健康科学科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	技能的	汎用的	判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
D11315	運動と健康科学	必	2	2	(2)									○								
D11435	スポーツ実践	選	1	1	(1)																	○

ジェンダー科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
F11411	ジェンダー研究入門	選	2	2							◎		○	○						
F12413	ジェンダー研究発展	選	2		2						○	○	◎							
F12411	歴史と女性	選	2		2						◎		○							
F12415	キャリア形成 I	選	2		2						○			○	◎					
F13415	キャリア形成 II	選	2			2							○		◎	○				
F13415	キャリア形成 III	選	2				2				○				◎	○				
F13415	ジェンダーと研究	選	2				2				○				◎	○				
F14446	職業体験実習	選	2					2					○		○	◎				

連携活動科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
G11415	連携活動入門	選	2		2						○				◎					
G19415	地域連携講座A1	選	2		2						○				◎					
G19415	地域連携講座A2	選	2		2						○				◎					
G19415	地域連携講座A3	選	2		2						○				◎					
G19415	地域連携講座B1	選	2			2					○				◎					
G19415	地域連携講座B2	選	2			2					○				◎					
G19415	地域連携講座B3	選	2			2					○				◎					
G19415	産学連携講座A1	選	2		2						○				◎					
G19415	産学連携講座A2	選	2		2						○				◎					
G19415	産学連携講座B1	選	2			2					○		○	○	◎					
G19415	産学連携講座B2	選	2			2					○				◎					
G19425	連携課題研究1	選	2				2								◎				○	
G19425	連携課題研究2	選	2				2								◎				○	

国際理解科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
B71411	言語と文化A1	選	2		2						◎									
B71411	言語と文化A2	選	2		2						◎									
B71411	言語と文化B1	選	2			2					◎									
B71411	言語と文化B2	選	2			2					◎									
B71411	英語で京都を学ぶ	選	2				2				◎									
B79422	国際理解実習	選	2				2				○	◎		○						
B79422	語学・文化研修A1	選	2					2			○	◎		○						
B79422	語学・文化研修A2	選	2						2		○	◎		○						
B79422	語学・文化研修A3	選	4							4	○	◎		○						
B79422	語学・文化研修A4	選	4								○	◎		○						
B79422	語学・文化研修A5	選	4								○	◎		○						
B79422	語学・文化研修B1	選	2					2			○	◎		○						
B79422	語学・文化研修B2	選	2						2		○	◎		○						
B79422	語学・文化研修B3	選	4							4	○	◎		○						
B79422	語学・文化研修B4	選	4								○	◎		○						
B79422	語学・文化研修B5	選	4								○	◎		○						

*「語学・文化研修」は協定大学留学における認定科目(単位)とすることができる。

教養科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断・ 思考・ 相互理解	対話・ 自律性・ 社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
E11411	教養科目A(文学と思想1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(文学と思想2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(芸術と表現1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(芸術と表現2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(市民と社会1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(市民と社会2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(福祉とくらし1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(福祉とくらし2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(心とからだ1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(心とからだ2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(環境と生命1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(環境と生命2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(数と情報1)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目A(数と情報2)	選	2		2							◎						
E11411	教養科目B(文学と思想3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(文学と思想4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(芸術と表現3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(芸術と表現4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(市民と社会3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(市民と社会4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(福祉とくらし3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(福祉とくらし4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(心とからだ3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(心とからだ4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(環境と生命3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(環境と生命4)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(数と情報3)	選	2			2						◎						
E11411	教養科目B(数と情報4)	選	2			2						◎						
E11411	特定主題(京都) 京都の文学	選	2		2							◎						
E11411	特定主題(京都) 京都と芸能	選	2		2							◎						
E11411	特定主題(京都) 京都の歴史	選	2			2						◎						
E11411	特定主題(京都) 京都の文化と産業	選	2				2					◎						
E12413	現代と仏教A	選	2			2							◎					○
E12413	現代と仏教B	選	2				2						◎					○
E12411	特定主題(仏教) 仏教文学A	選	2			2						◎		○				
E12411	特定主題(仏教) 仏教文学B	選	2				2					◎		○				
E12411	特定主題(仏教) 仏教文化A	選	2			2						◎		○				
E12411	特定主題(仏教) 仏教文化B	選	2				2					◎		○				
E12411	特定主題(仏教) 仏教思想A	選	2			2						◎		○				
E12411	特定主題(仏教) 仏教思想B	選	2				2					◎		○				
E12411	外国語で読む仏教A	選	2			2						◎	○					
E12411	外国語で読む仏教B	選	2				2					◎	○					
E12421	地域と仏教演習	選	2				2					◎			○			
E12415	社会と仏教特論	選	2				2					○						◎

オープン科目

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識	汎用的技能	判断・思考	対話・相互理解	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L32211	東アジア史A	選	2		2						◎	○	○					文学部共通専門科目	
L32211	東アジア史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	20世紀史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	20世紀史B	選	2			2					◎	○	○						
L31212	漢文A	選	2	2							○	◎	○						
L31212	漢文B	選	2		2						○	◎	○						
L32212	ラテン語A	選	2		2						○	◎	○						
L32212	ラテン語B	選	2			2					○	◎	○						
L32211	日本美術史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	日本美術史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	東洋美術史	選	2			2					◎	○	○						
L32211	西洋美術史	選	2		2						◎	○	○						
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎			○					
L03211	中国文学史A	選	2		2						◎		○						
L03211	中国文学史B	選	2			2					◎		○						
L04211	近代フランス文学論	選	2			2					◎		○						
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2					◎		○						
L04211	ドイツ文学論	選	2			2					◎		○						
L02222	観光ドイツ語	選	2			2					○	◎		○					
L02222	観光フランス語	選	2			2					○	◎		○					
L03222	観光中国語	選	2			2					○	◎		○					
L03222	観光韓国語	選	2			2					○	◎		○					
L12211	国文学史2A	選	2		2						◎		○					国文学科	
L12211	国文学史2B	選	2			2					◎		○						
L12211	国語史A	選	2		2						◎		○						
L12211	国語史B	選	2			2					◎		○						
L13213	日本文化特殊講義A	選	2				2				○	○	◎						
L13213	日本文化特殊講義B	選	2					2			○	○	◎						
L22211	英語学基礎講義	選	2	2							◎		○	○				英語文化コミュニケーション学科	
L23213	ジェンダー批評	選	2			2					○		◎	○					
L33222	日本古文書ⅡA	選	2			2					○	◎	○					史学科	
L33222	日本古文書ⅡB	選	2				2				○	◎	○						
L34222	日本古文書ⅡC	選	2					2			○	◎	○						
L34222	日本古文書ⅡD	選	2						2		○	◎	○						
H63214	多文化教育論	選	2				2				○		○	◎				教育学科	
H62211	ジェンダーと教育	選	2			2					◎		○		○				
H63211	音楽心理学	選	2				2				◎		○						
Y13211	公衆衛生学	選	2				2				◎	○						心理共生学科	
Y11211	生命倫理学	選	2		2						◎		○		○				
Y13213	発達障害児の心理と教育	選	2				2				○		◎	○					
N13211	食空間プロデュース論	選	2						2		◎							食物栄養学科	
N13211	フードコーディネーター論	選	2						2		◎								
N22211	西洋服飾史	選	2			2					◎		○					生活造形学科	
N23211	ファッション文化論	選	2				2				◎		○						
P12215	倫理学	選	2		2						○		○		◎			現代社会学科	
P12211	自然環境と生態系	選	2		2						◎	○							
P12211	環境政策論	選	2		2						◎	○	○						
P12211	生命倫理学	選	2			2					◎		○		○				
P12211	生命の起源と進化	選	2			2					◎		○						
P12211	多様性の生物学	選	2		2						◎	○							
P13212	環境開発論	選	2				2				○	◎							
P13213	応用倫理学	選	2					2			○	○	◎		○				
P12212	エネルギーと環境	選	2			2					○	◎							
P13213	環境社会学	選	2				2				◎		○						
P12211	地域社会学	選	2		2						◎		○		○				
P12212	民俗文化論	選	2		2						○	◎							
P12211	イスラーム地域研究	選	2		2						◎		○						
Q14213	平和と女性	選	2				2				○		◎	○				法学科	

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

諸課程履修科目

※修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができません。

諸課程履修科目

修得単位は、卒業に必要な単位に含めることができない。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
V11519	教職論	選	2	2	(2)							中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭及び栄養教諭の免許状取得の所要資格を得るための「教職課程に関する科目」 ・教育職員免許状取得の所要資格を得るために必要な科目、単位及び必選の別については、別に定める免許状取得要領に従い履修すること。 ・発達教育学部における「教職課程に関する科目」は、各学科の専門科目を履修すること。 ・心理共生学部における「教育心理学」は、学科の専門科目を履修すること。 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法) (生徒指導と教育相談)
V11519	教育原論	選	2	2	(2)							
V11519	教育心理学	選	2	2	(2)							
V13519	教育行政学	選	2					2	(2)			
V12519	教育課程論	選	2			2	(2)					
V12519	特別支援教育論	選	1			1	(1)					
V12519	道徳教育論	選	2			2	(2)					
V12519	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)			
V12519	教育方法論	選	2			2	(2)					
V13519	生徒指導論	選	2					2	(2)			
V13519	進路指導論	選	2					2	(2)			
V14519	教育実習論	選	1							1		
V14549	教育実習	選	2							2		
V14549	中学校教育実習	選	2							2		
V14529	教職実践演習(中・高)	選	2							2		
V12519	人権教育論	選	1			1	(1)					
V12519	日本国憲法	選	2			2	(2)					
V14519	養護教育実習論	選	1							1		
V14549	養護教育実習	選	4							4		
V14549	教職実践演習(養護教諭)	選	2							2		
V14529	栄養教育実習指導	選	1							1		
V14549	栄養教育実習	選	1							1		
V14529	教職実践演習(栄養教諭)	選	2							2		
V21519	生涯学習概論	選	2	2	(2)							
V22519	博物館概論	選	2			2						
V22519	博物館経営論	選	2				2					
V22519	博物館資料論	選	2				2					
V23519	博物館資料保存論	選	2					2				
V23519	博物館展示論	選	2					2				
V22519	博物館情報論	選	1				1					
V22519	視聴覚教育メディア論	選	1			1	(1)					
V22519	博物館教育論	選	2				2					
V23549	博物館実習 I	選	2						2			
V24549	博物館実習 II	選	2							2		
V31519	生涯学習概論	選	2	2	(2)							
V31519	図書館概論	選	2	2	(2)							
V32519	図書館制度・経営論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館情報技術論	選	2			2	(2)					
V31519	図書館サービス概論	選	2	2	(2)							
V31519	情報サービス論	選	2	2	(2)							
V31519	児童サービス論	選	2	2	(2)							
V32529	情報サービス演習	選	2			2	(2)					
V31519	図書館情報資源概論	選	2	2	(2)							
V31519	情報資源組織論	選	2	2	(2)							
V32529	情報資源組織演習 I	選	1			1	(1)					
V32529	情報資源組織演習 II	選	1			1	(1)					
V32519	図書館基礎特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館サービス特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書館情報資源特論	選	2			2	(2)					
V32519	図書・図書館史	選	2			2	(2)					
V32519	図書館施設論	選	2			2	(2)					
V33529	図書館総合演習	選	2					2	(2)			
V34549	図書館実習	選	2							2		
V31519	学校経営と学校図書館	選	2	2	(2)							
V31519	学校図書館メディアの構成	選	2	2	(2)							
V31519	学習指導と学校図書館	選	2	2	(2)							
V31519	読書と豊かな人間性	選	2	2	(2)							
V31519	情報メディアの活用	選	2	2	(2)							
V32519	学校図書館サービス論	選	2			2	(2)					

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
V41519	日本語教育入門	選	2	2	(2)								日本語教師課程の修了認定を受けるために必要な科目 (事前・事後指導を含む。)
V41519	言語と社会	選	2	2	(2)								
V41519	言語と心理	選	2	2	(2)								
V41519	言語と教育	選	2			2	(2)						
V41519	日本語の構造	選	2	2	(2)								
V43549	日本語教育実習	選	2					2		(2)			

専門科目群

文学部

文学部共通専門科目

◆修得した単位は所属する学科の専門科目の単位に含めることができる。

◆「オープン科目」に該当する科目も、文学部共通専門科目として扱う。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数				カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・対話・相互理解		社会性・自律性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
L13212	民俗学	選	2		2					○	◎			○	国文学科提供科目	
L13212	風俗文化史A	選	2		2					○	◎			○		
L13212	風俗文化史B	選	2			2				○	◎			○		
L13213	東洋思想史A	選	2				2			○	○	◎				
L13213	東洋思想史B	選	2					2		○	○	◎				
L23213	英語圏研究1	選	2		2					○		◎	○			英語文化コミュニケーション学科提供科目
L23213	英語圏研究2	選	2			2				○		◎	○			
L23213	英語圏研究3	選	2			2				○	○	◎				
L32222	日本古文書 I A	選	2		2					○	◎	○			史学科提供科目	
L32222	日本古文書 I B	選	2			2				○	◎	○				
L31211	くずし字入門	選	2	2						◎	○	○				
L32211	東アジア史A	選	2		2					◎	○	○				
L32211	東アジア史B	選	2			2				◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2					◎	○	○				
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2				◎	○	○				
L32211	20世紀史A	選	2		2					◎	○	○				
L32211	20世紀史B	選	2			2				◎	○	○				
L31212	漢文A	選	2	2						○	◎	○				
L31212	漢文B	選	2		2					○	◎	○				
L32212	ラテン語A	選	2		2					○	◎	○				
L32212	ラテン語B	選	2			2				○	◎	○				
L33212	ギリシア語A	選	2				2			○	◎	○				
L33212	ギリシア語B	選	2					2		○	◎	○				
L32211	日本美術史A	選	2		2					◎	○	○				
L32211	日本美術史B	選	2			2				◎	○	○				
L32211	東洋美術史	選	2			2				◎	○	○				
L32211	西洋美術史	選	2		2					◎	○	○				
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2					◎			○			外国語準学科提供科目
L03211	中国文学史A	選	2		2					◎		○				
L03211	中国文学史B	選	2			2				◎		○				
L04211	近代フランス文学論	選	2			2				◎		○				
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2				◎		○				
L04211	ドイツ文学論	選	2			2				◎		○				
L02222	観光ドイツ語	選	2			2				○	◎		○			
L02222	観光フランス語	選	2			2				○	◎		○			
L03222	観光中国語	選	2			2				○	◎		○			
L03222	観光コリア語	選	2			2				○	◎		○			

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	判断・ 思考	相互理解・ 対話	社会性・ 自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L13213	国文学特殊講義1A	選	2					2		2			○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義1B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義2A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義2B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義3A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義3B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義4A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義4B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義5A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義5B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義6A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義6B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義7A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義7B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義8A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義8B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義9A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国文学特殊講義9B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義1A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義1B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義2A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	国語学特殊講義2B	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	日本文化特殊講義A	選	2						2		2		○	○	◎				
L13213	日本文化特殊講義B	選	2						2		2		○	○	◎				
L12232	書道A	選	2	2									○	◎				○	(書写を中心とする)
L13232	書道B	選	2		2								○	◎				○	
L12212	漢文学A	選	2			2							○	◎				○	
L12212	漢文学B	選	2				2						○	◎				○	
L13212	民俗学	選	2			2							○	◎				○	
L13212	風俗文化史A	選	2			2							○	◎				○	
L13212	風俗文化史B	選	2				2						○	◎				○	
L13213	東洋思想史A	選	2					2		2			○	○	◎				
L13213	東洋思想史B	選	2						2		2		○	○	◎				
L19212	国語科教育法1	選	2			2							○	◎				○	
L19212	国語科教育法2	選	2				2						○	◎				○	
L19212	国語科教育法3	選	2					2					○	◎				○	
L19212	国語科教育方法論(小中)	選	2						2				○	◎				○	
L14156	卒業論文(注)	必	6								6				○			○	◎

(注)演習ⅡA、演習ⅡB及び卒業論文は、演習ⅠAのうち1科目2単位以上、演習ⅠBのうち1科目2単位以上、計2科目4単位以上修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解・対話	社会性・自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L23213	英語圏研究1	選	2		2						○	◎	○				英語文化コミュニケーション学科提供科目		
L23213	英語圏研究2	選	2			2					○	◎	○						
L23213	英語圏研究3	選	2			2					○	◎	○						
L32222	日本古文書 I A	選	2		2						○	◎	○				史学科提供科目		
L32222	日本古文書 I B	選	2		2						○	◎	○						
L31211	くずし字入門	選	2	2							◎	○	○						
L32211	東アジア史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	東アジア史B	選	2		2						◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史B	選	2		2						◎	○	○						
L32211	20世紀史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	20世紀史B	選	2		2						◎	○	○						
L31212	漢文A	選	2	2							○	◎	○						
L31212	漢文B	選	2	2							○	◎	○						
L32212	ラテン語A	選	2		2						○	◎	○						
L32212	ラテン語B	選	2		2						○	◎	○						
L33212	ギリシア語A	選	2				2				○	◎	○						
L33212	ギリシア語B	選	2					2			○	◎	○						
L32211	日本美術史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	日本美術史B	選	2		2						◎	○	○						
L32211	東洋美術史	選	2		2						◎	○	○						
L32211	西洋美術史	選	2		2						◎	○	○						
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎		○				外国語準学科提供科目		
L03211	中国文学史A	選	2		2						◎		○						
L03211	中国文学史B	選	2		2						◎		○						
L04211	近代フランス文学論	選	2		2						◎		○						
L04211	朝鮮語史概論	選	2		2						◎		○						
L04211	ドイツ文学論	選	2		2						◎		○						
L02222	観光ドイツ語	選	2		2						○	◎		○					
L02222	観光フランス語	選	2		2						○	◎		○					
L03222	観光中国語	選	2		2						○	◎		○					
L03222	観光コリア語	選	2		2						○	◎		○					

文学部英語文化コミュニケーション学科

英語文化コミュニケーション学科専門科目

◆「英語文化コミュニケーション学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	汎用的技能	判断・思考	相互理解	自律性・社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L21111	英語圏文化入門	必	2	2							◎		○	○					ガイダンス科目
L21111	言語・コミュニケーション入門	必	2		2						◎		○	○					
L22122	Oral Communication I	必	1	1							◎		○	○					スキル科目
L22112	Grammar & Expression	必	1	1						○	◎		○						
L22222	TOEFL演習 I	選	1	1						○	◎		○						
L22122	Oral Communication II	必	1		1						◎		○	○					
L22112	Reading & Writing	必	1		1					○	◎		○						
L22222	TOEFL演習 II	選	1		1					○	◎		○						
L22222	TOEFL演習 III	選	1		1					○	◎		○						
L22122	TOEIC演習 I	必	2		2					○	◎		○						
L23112	Integrated Communication Skills I	必	1			1					◎		○	○					
L22122	TOEIC演習 II	必	2			2				○	◎		○						
L23112	Integrated Communication Skills II	必	1			1					◎		○	○					
L23222	TOEIC演習 III	選	2			2				○	◎							○	
L23211	Theatre Studies I	選	2				2			◎	○	○							
L23212	Speech & Presentation	選	2				2				◎		○	○					
L23222	TOEIC演習 IV	選	2				2			○	◎		○						
L23212	Advanced Communication I	選	2				2				◎		○	○					
L23211	Theatre Studies II	選	2				2			◎	○	○							
L23214	Debate & Discussion	選	2				2				○		◎	○					
L23212	Advanced Communication II	選	2				2				◎		○	○					
L22211	異文化理解基礎講義	選	2	2						◎		○		○					専門科目
L22211	英語学基礎講義	選	2	2						◎		○	○						
L22211	英米映画研究1	選	2	2						◎		○		○					
L22211	イギリス文学基礎講義	選	2		2					◎		○	○						
L22211	アメリカ文学基礎講義	選	2		2					◎		○	○						
L22211	英語学研究	選	2		2					◎		○	○						
L23211	通訳・翻訳論	選	2			2				◎		○		○				○	
L23211	英語文法語法研究	選	2			2				◎	○	○							
L23211	英米文学研究1	選	2			2				◎		○	○						
L23213	英語圏研究1	選	2			2				○		◎	○						
L23213	英米映画研究2	選	2			2				○		◎	○						
L23211	英語音声学	選	2			2				◎	○	○							
L23211	言語習得論	選	2			2				◎		○	○						
L23211	認知言語学	選	2			2				◎		○	○						
L23211	英米文学研究2	選	2			2				◎		○	○						
L23213	英語圏研究2	選	2			2				○		◎	○						
L23225	通訳ガイド演習	選	2			2					○							◎	
L23215	エアライン英語	選	2			2					○							◎	
L23215	ソーリズム・スタディーズ	選	2			2					○							◎	
L23213	児童英語教育	選	2			2						◎		○	○				
L23213	英語圏研究3	選	2			2				○	○	◎							
L22224	メディア英語演習	選	2			2					○		◎	○					
L23211	英語で読む京都	選	2				2			◎	○		○						
L23213	英米文学研究3	選	2				2			○		◎	○						
L23213	言語科学	選	2				2			○		◎	○						
L23213	ジェンダー批評	選	2				2			○		◎	○						
L23213	比較文化研究1	選	2				2			○		◎	○						
L23215	ビジネス英語 I	選	2				2				○		○	○	◎				
L23215	旅行業務	選	2				2				○		○	○	◎				
L23213	英米児童文学研究	選	2				2			○		◎	○						
L23213	社会言語学	選	2				2			○		◎	○						
L23213	日英語対照研究	選	2				2			○		◎	○						
L23215	ビジネス英語 II	選	2				2				○		○	◎					
L23224	会議通訳演習	選	2				2				○		◎	○					
L23211	英語で語る京都	選	2				2			◎	○		○						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	技能・	汎用的	判断	思考・	対話・	相互理解		社会性・	自律性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
L23213	英米文学研究4	選	2						2					○		◎	○			専門科目	
L23213	英米演劇研究 I	選	2						2					○		◎	○				
L23213	英米演劇研究 II	選	2						2					○		◎	○				
L23213	比較文化研究2	選	2						2					○		◎					
L22211	英語科教育法1	選	2		2					◎				○		○					
L23212	英語科教育法2	選	2			2					◎						○	○			
L23212	英語科教育法3	選	2				2				◎						○	○			
L23215	外国語科教育方法論(小中)	選	2					2		○				○			◎				
L23224	Pre-Study Abroad Seminar	選	1		1									○		◎	○			英語文化コミュニケーション学科の留学プログラムに参加する者のみ履修できる。Pre-Study Abroad Seminarを履修していない者は、当該の留学プログラムに参加できない。	
L24225	Post-Study Abroad Seminar	選	1				1							○		○	◎				
L29992	Study Abroad 1	選	4			4								◎		○				英語文化コミュニケーション学科の留学プログラム及び協定留学プログラムに参加する者のみ履修できる。	
L29992	Study Abroad 2	選	4			4								◎		○					
L29992	Study Abroad 3	選	4			4								◎		○					
L29992	Study Abroad 4	選	4			4								◎		○					
L21122	Basic Research Seminar I	必	2	2						○	◎	○								発展科目	
L21122	Basic Research Seminar II	必	2		2					○	◎	○									
L22123	Research Seminar I	必	2			2								◎	○	○					
L22123	Research Seminar II	必	2				2							◎	○	○					
L23124	Advanced Research Seminar I	必	2					2						○	◎	○					
L23124	Advanced Research Seminar II	必	2						2					○	◎	○					
L24126	Graduation Research Seminar I	必	2							2				○		○	◎				
L24126	Graduation Research Seminar II	必	2								2			○		○	◎				
L24156	卒業研究	必	6							6						○	○	◎			

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断・思考	相互理解・対話	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
L13212	民俗学	選	2		2						○	◎				○	国文学科提供科目		
L13212	風俗文化史A	選	2		2						○	◎				○			
L13212	風俗文化史B	選	2			2					○	◎				○			
L13213	東洋思想史A	選	2				2				○	◎	◎						
L13213	東洋思想史B	選	2					2			○	◎	◎						
L32222	日本古文書 I A	選	2		2						○	◎	○				史学科提供科目		
L32222	日本古文書 I B	選	2			2					○	◎	○						
L31211	くずし字入門	選	2	2							◎	○	○						
L32211	東アジア史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	東アジア史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	20世紀史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	20世紀史B	選	2			2					◎	○	○						
L31212	漢文A	選	2	2							○	◎	○						
L31212	漢文B	選	2		2						○	◎	○						
L32212	ラテン語A	選	2		2						○	◎	○						
L32212	ラテン語B	選	2			2					○	◎	○						
L33212	ギリシア語A	選	2				2				○	◎	○						
L33212	ギリシア語B	選	2					2			○	◎	○						
L32211	日本美術史A	選	2		2						◎	○	○						
L32211	日本美術史B	選	2			2					◎	○	○						
L32211	東洋美術史	選	2			2					◎	○	○						
L32211	西洋美術史	選	2		2						◎	○	○						
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2						◎			○			外国語準学科提供科目		
L03211	中国文学史A	選	2		2						◎		○						
L03211	中国文学史B	選	2			2					◎		○						
L04211	近代フランス文学論	選	2			2					◎		○						
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2					◎		○						
L04211	ドイツ文学論	選	2			2					◎		○						
L02222	観光ドイツ語	選	2			2					○	◎		○					
L02222	観光フランス語	選	2			2					○	◎		○					
L03222	観光中国語	選	2			2					○	◎		○					
L03222	観光コリア語	選	2			2					○	◎		○					

文学部史学科

史学科専門科目

◆「史学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

◆別掲の「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必 選 の 別	単 位 数 計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・ 理解	汎用 的 技 能	判 断 的 思 考	相 互 理 解 対 話	社 会 性 ・ 自 律 性	自 立 性			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期									
L31125	史学基礎演習A	必	2	2								○			○	◎				
L31125	史学基礎演習B	必	2	2								○			○	◎				
L31111	日本史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111	日本史概論B	必	2	2								◎	○	○						
L31111	東洋史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111	東洋史概論B	必	2	2								◎	○	○						
L31111	西洋史概論A	必	2	2								◎	○	○						
L31111	西洋史概論B	必	2	2								◎	○	○						
L32224	日本史入門演習A	選	2		2							○		○	◎					
L32224	日本史入門演習B	選	2			2						○		○	◎					
L33223	日本史演習ⅠA	選	2				2							◎	○		○			
L33223	日本史演習ⅠB	選	2					2						◎	○		○			
L34226	日本史演習ⅡA	選	2						2					○	○		◎			
L34226	日本史演習ⅡB	選	2							2				○	○		◎			
L32222	日本史講読ⅠA	選	2		2						○	◎	○							
L32222	日本史講読ⅠB	選	2			2					○	◎	○							
L33222	日本史講読ⅡA	選	2				2				○	◎	○							
L33222	日本史講読ⅡB	選	2					2			○	◎	○							
L34222	日本史講読ⅡC	選	2						2		○	◎	○							
L34222	日本史講読ⅡD	選	2							2	○	◎	○							
L32222	日本古文書ⅠA	選	2		2						○	◎	○							
L32222	日本古文書ⅠB	選	2			2					○	◎	○							
L33222	日本古文書ⅡA	選	2				2				○	◎	○							
L33222	日本古文書ⅡB	選	2					2			○	◎	○							
L34222	日本古文書ⅡC	選	2						2		○	◎	○							
L34222	日本古文書ⅡD	選	2							2	○	◎	○							
L32211	日本史特殊講義1	選	2		2						◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義2	選	2			2					◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義3	選	2		2						◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義4	選	2			2					◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義5	選	2		2						◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義6	選	2			2					◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義7	選	2		2						◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義8	選	2			2					◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義9	選	2		2						◎	○	○							
L32211	日本史特殊講義10	選	2			2					◎	○	○							

日本史コース履修者は必修

演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。

日本史コース履修者は、この枠内の科目と、東洋史・西洋史の特殊講義科目から16単位以上を修得すること。ただし、日本古文書ⅠA～ⅠB、日本古文書ⅡA～ⅡB、日本史特殊講義1～10から、8単位以上を必ず含めること。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数				カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解		対話・自律性	社会的・自律性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
L32224	東洋史入門演習A	選	2		2					○		○	◎				東洋史コース履修者は必修
L32224	東洋史入門演習B	選	2		2					○		○	◎				
L33223	東洋史演習ⅠA	選	2				2					◎	○		○	演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。	
L33223	東洋史演習ⅠB	選	2				2					◎	○		○		
L34226	東洋史演習ⅡA	選	2						2			○	○		◎	東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上修得すること。	
L34226	東洋史演習ⅡB	選	2						2			○	○		◎		
L32222	東洋史講読ⅠA	選	2		2					○	◎	○				東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣB、または史学外書講読ⅡA・ⅡBから、4単位以上修得すること。	
L32222	東洋史講読ⅠB	選	2		2					○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅡA	選	2				2			○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅡB	選	2				2			○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅡC	選	2						2	○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅡD	選	2						2	○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅢA	選	2				2			○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅢB	選	2				2			○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅢC	選	2						2	○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅢD	選	2						2	○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅣA	選	2				2			○	◎	○					
L33222	東洋史講読ⅣB	選	2				2			○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅣC	選	2						2	○	◎	○					
L34222	東洋史講読ⅣD	選	2						2	○	◎	○					
L32211	東洋史特殊講義1	選	2		2					◎	○	○					東洋史コース履修者は、東洋史・日本史・西洋史の特殊講義科目から、16単位を修得すること。ただし、東洋史特殊講義1～8から、8単位以上を必ず含めること。
L32211	東洋史特殊講義2	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義3	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義4	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義5	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義6	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義7	選	2		2					◎	○	○					
L32211	東洋史特殊講義8	選	2		2					◎	○	○					
L32224	西洋史入門演習A	選	2		2					○		○	◎			西洋史コース履修者は必修	
L32224	西洋史入門演習B	選	2		2					○		○	◎				
L33223	西洋史演習ⅠA	選	2				2					◎	○		○	演習ⅡA及びⅡBは、演習ⅠA又はⅠBのいずれか2単位を修得しなければ履修できない。	
L33223	西洋史演習ⅠB	選	2				2					◎	○		○		
L34226	西洋史演習ⅡA	選	2						2			○	○		◎	西洋史コース履修者は、西洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢBから、4単位以上修得すること。	
L34226	西洋史演習ⅡB	選	2						2			○	○		◎		
L32222	西洋史講読ⅠA	選	2		2					○	◎	○				西洋史コース履修者は、西洋史・日本史・東洋史の特殊講義科目から、16単位以上を修得すること。ただし、西洋史特殊講義1～8から、8単位以上を必ず含めること。	
L32222	西洋史講読ⅠB	選	2		2					○	◎	○					
L33222	西洋史講読ⅡA	選	2				2			○	◎	○					
L33222	西洋史講読ⅡB	選	2				2			○	◎	○					
L34222	西洋史講読ⅡC	選	2						2	○	◎	○					
L34222	西洋史講読ⅡD	選	2						2	○	◎	○					
L33222	西洋史講読ⅢA	選	2				2			○	◎	○					
L33222	西洋史講読ⅢB	選	2				2			○	◎	○					
L34222	西洋史講読ⅢC	選	2						2	○	◎	○					
L34222	西洋史講読ⅢD	選	2						2	○	◎	○					
L32211	西洋史特殊講義1	選	2		2					◎	○	○				西洋史コース履修者は、西洋史・日本史・東洋史の特殊講義科目から、16単位以上を修得すること。ただし、西洋史特殊講義1～8から、8単位以上を必ず含めること。	
L32211	西洋史特殊講義2	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義3	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義4	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義5	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義6	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義7	選	2		2					◎	○	○					
L32211	西洋史特殊講義8	選	2		2					◎	○	○					

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ								備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的	判断・思考	相互理解	対話	自律性・社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期										
L32222	史学外書講読ⅠA	選	2		2							○	◎	○							東洋史コース履修者は、東洋史講読ⅠA・ⅠBまたは史学外書講読ⅠA・ⅠBから、4単位以上および東洋史講読ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣBまたは史学外書講読ⅡA・ⅡBから、4単位以上修得すること。日本史コースおよび西洋史コース履修者は、選択科目として卒業に必要な単位に含めることができる。
L32222	史学外書講読ⅠB	選	2		2							○	◎	○							
L33222	史学外書講読ⅡA	選	2			2						○	◎	○							
L33222	史学外書講読ⅡB	選	2			2						○	◎	○							
L34222	史学外書講読ⅡC	選	2				2					○	◎	○							
L34222	史学外書講読ⅡD	選	2					2				○	◎	○							
L31211	くずし字入門	選	2	2								◎	○	○							
L32211	東アジア史A	選	2		2							◎	○	○							
L32211	東アジア史B	選	2			2						◎	○	○							
L32211	ヨーロッパ史A	選	2		2							◎	○	○							
L32211	ヨーロッパ史B	選	2			2						◎	○	○							
L32211	20世紀史A	選	2		2							◎	○	○							
L32211	20世紀史B	選	2			2						◎	○	○							
L31212	漢文A	選	2	2								○	◎	○							
L31212	漢文B	選	2	2								○	◎	○							
L32212	ラテン語A	選	2		2							○	◎	○							
L32212	ラテン語B	選	2			2						○	◎	○							
L33212	ギリシア語A	選	2			2						○	◎	○							
L33212	ギリシア語B	選	2				2					○	◎	○							
L32211	日本美術史A	選	2		2							◎	○	○							
L32211	日本美術史B	選	2			2						◎	○	○							
L32211	東洋美術史	選	2			2						◎	○	○							
L32211	西洋美術史	選	2		2							◎	○	○							
L32211	歴史地理学概論	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L32211	人文地理学概論	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L32211	地誌	選	2			2						◎	○	○							
L32211	自然地理学	選	2				2					◎	○	○							
L31211	法律学研究	選	2	2	(2)							◎	○	○							
L32211	経済学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L32211	哲学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L32211	宗教学研究	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L31211	考古学A	選	2	2								◎	○	○							
L31211	考古学B	選	2	2								◎	○	○							
L32211	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L32211	社会科教育法(公民分野)	選	2		2	(2)						◎	○	○							
L33211	地理歴史科教育法	選	2			2	(2)					◎	○	○							
L33211	公民科教育法	選	2			2	(2)					◎	○	○							
L34156	卒業論文	必	6						6			○		○							◎

日本史講読ⅡC・ⅡD、日本古文書ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅡC・ⅡD、東洋史講読ⅢC・ⅢD、東洋史講読ⅣC・ⅣD、西洋史講読ⅡC・ⅡD、西洋史講読ⅢC・ⅢD、史学外書講読ⅡC・ⅡDは、同一名科目のA・B、2科目4単位を修得しなければ履修できない。

文学部共通専門科目

◆「文学部共通専門科目」より修得した単位は、専門科目における卒業要件72単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・対話・相互理解	社会性・自律性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
L13212	民俗学	選	2		2						○	◎			○		国文学科提供科目	
L13212	風俗文化史A	選	2		2					○	◎			○				
L13212	風俗文化史B	選	2			2				○	◎			○				
L13213	東洋思想史A	選	2				2			○	○	◎						
L13213	東洋思想史B	選	2					2		○	○	◎						
L23213	英語圏研究1	選	2		2					○		◎	○			英語文化コミュニケーション学科提供科目		
L23213	英語圏研究2	選	2			2				○		◎	○					
L23213	英語圏研究3	選	2			2				○	○	◎						
L02211	ことばとコミュニケーション	選	2		2					◎			○			外国語準学科提供科目		
L03211	中国文学史A	選	2		2					◎		○						
L03211	中国文学史B	選	2			2				◎		○						
L04211	近代フランス文学論	選	2			2				◎		○						
L04211	朝鮮語史概論	選	2			2				◎		○						
L04211	ドイツ文学論	選	2			2				◎		○						
L02222	観光ドイツ語	選	2			2				○	◎		○					
L02222	観光フランス語	選	2			2				○	◎		○					
L03222	観光中国語	選	2			2				○	◎		○					
L03222	観光コア語	選	2			2				○	◎		○					

専門科目群

発達教育学部

発達教育学部教育学科

教育学科専門科目

◆「教育学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。

72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	思考・判断	相互理解・対話	社会的・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
H61122	発達教育学入門演習	必	2	2								◎	○	○					
H61121	発達教育学演習Ⅰ	必	2		2							◎	○	○					
H61121	発達教育学演習Ⅱ	必	2			2						◎	○	○					
H62121	保育探究プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	児童文化プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	教育探究プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	授業探究プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	インクルーシブ教育プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	音楽探究プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H62121	生涯教育プログラム入門	選	2				2					◎	○						
H61111	教育原論	必	2	2	(2)							◎	○					○	
H61114	教職論	必	2	(2)	2							○		○	◎			○	
H62111	教育心理学	必	2	2	(2)							◎	○	○					
H62111	特別支援教育論	必	1	1	(1)							◎	○						
H62211	教育行政学	選	2			(2)	2					◎	○						
H62211	保育・幼児教育課程論	選	2			(2)	2					◎	○						
H62111	教育課程論	選	2			2	(2)					◎	○	○					○
H62213	道徳教育論	選	2			2	(2)					○		◎	○				
H62211	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	選	2					2	(2)			◎	○	○					
H61112	教育方法論	選	2	(2)	2							○	◎	○	○				○
H63221	子ども理解と教育相談	選	2			(2)	2					◎	○	○					
H63221	生徒指導論	選	2					2	(2)			◎	○	○					
H62211	進路指導論	選	2				(2)	2				◎	○		○				
H62211	教育実習論(幼・小)	選	2					2				◎	○						○
H62211	教育実習論(中高)	選	1							1		◎	○						○
H63245	教育実習(幼・小)	選	4					4							○	◎		○	
H63245	中学校教育実習	選	2							2					○	◎		○	
H63245	教育実習	選	2							2					○	◎		○	
H64226	保育・教職実践演習	選	2							2			○			○		◎	
H64236	教職実践演習	選	2							2			○			○		◎	
H62211	子どもと健康	選	1			1	(1)					◎	○					○	
H62211	子どもと人間関係	選	1			(1)	1					◎	○						
H62211	子どもと環境	選	1			(1)	1					◎	○						
H62211	子どもと言葉	選	1			1	(1)					◎	○						
H62211	子どもと表現	選	1	(1)	1							◎			○				
H63212	保育内容演習(健康)	選	2			(2)	2					○	◎	○					○
H63214	保育内容演習(人間関係)	選	2					2	(2)			○		○	◎				
H63212	保育内容演習(環境)	選	2					2	(2)			○	◎	○					
H63211	保育内容演習(言葉)	選	2			(2)	2					◎	○	○					
H62212	保育内容演習(表現)	選	2			(2)	2					○	◎	○					
H61223	保育内容総論	選	1	(1)	1							○		◎	○				
H62211	保育原理	選	2			2	(2)					◎	○						
H62211	子ども家庭福祉	選	2			2	(2)					◎	○						○
H62211	社会福祉	選	2			2	(2)					◎	○						○
H62211	子ども家庭支援論	選	2			(2)	2					◎	○	○	○				
H62211	社会的養護Ⅰ	選	2			2	(2)					◎	○						○
H62211	発達心理学	選	2			2	(2)					◎	○	○					
H63211	子ども家庭支援の心理学	選	2			2	(2)					◎	○						
H62111	子どもの保健	選	2			2	(2)					◎	○						
H62221	子どもの栄養	選	2			(2)	2					◎	○	○					
H62211	乳児保育Ⅰ	選	2			(2)	2					◎	○	○					
H63221	乳児保育Ⅱ	選	1					1	(1)			◎	○	○					
H63121	子ども保健学演習	選	1			(1)	1					◎	○	○					
H62221	障害児保育	選	2			2	(2)					◎	○	○					
H63221	社会的養護Ⅱ	選	1			(1)	1					◎	○	○	○				
H63224	子育て支援	選	1					1	(1)			○			◎			○	

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	判断	相互理解	対話・自律性	社会性	自立性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
H63245	保育実習 I A	選	2			2						○	○	◎				
H63245	保育実習 I B	選	2					2				○	○	◎				
H63225	保育実習指導 I A	選	1			1						○	○	◎				
H63225	保育実習指導 I B	選	1					1				○	○	◎				
H62213	乳幼児の健康・運動あそび	選	2	(2)	2					○		◎	○					
H62213	乳幼児の科学・造形あそび	選	2			2				○		◎						
H63212	乳幼児の表現・音楽あそび	選	2					2		○	◎							
H61232	音楽実技 I	選	2	2						○	◎		○					
H62231	人形劇演習	選	2					2		◎			○					
H62211	絵本論	選	2					2		◎	○							
H64245	保育実習 II	選	2						2			○	○	◎				
H64245	保育実習 III	選	2						2			○	○	◎				
H64225	保育実習指導 II	選	1					1				○	○	◎				
H64225	保育実習指導 III	選	1					1				○	○	◎				
H62211	国語科教育内容論	選	2		2					◎	○							
H62211	社会科教育内容論	選	2		2					◎	○							
H62211	算数科教育内容論	選	2	2						◎	○	○						
H62211	理科教育内容論	選	2			2				◎	○	○						
H62211	生活科教育内容論	選	2		2					◎	○	○						
H62211	音楽科教育内容論	選	2			2				◎	○	○						
H62211	図工科教育内容論	選	2			2				◎	○	○						
H62212	家庭科教育内容論	選	2			2				○	◎	○						
H62211	体育科教育内容論	選	2	2						◎	○	○		○				
H62211	外国語科教育内容論	選	2			2				◎	○			○				
H62213	国語科教育方法論(小中)	選	2			2					○	◎						
H62211	社会科教育方法論	選	2			2				◎	○	○						
H62211	算数科教育方法論	選	2		2					◎	○	○						
H62211	理科教育方法論	選	2			2				◎		○						
H62213	生活科教育方法論	選	2			2						◎	○	○				
H62211	音楽科教育方法論(小中)	選	2			2				◎	○	○						
H62211	図工科教育方法論	選	2			2				◎	○	○						
H62213	家庭科教育方法論	選	2			2				○		◎			○			
H62212	体育科教育方法論	選	2		2					○	◎	○		○				
H62211	外国語科教育方法論(小中)	選	2			2				◎	○	○						
H61111	人権教育論	選	1	1	(1)					◎		○						
H62211	児童文化学	選	2		2					◎	○	○						
H61211	子どもの感性と表現	選	2	2						◎		○						
H62212	児童文化学実習	選	2					2			◎		○					
H62211	児童文化活動論	選	2					2		◎				○				
H63214	多文化教育論	選	2					(2)	2	○		○	◎					
H62232	ソルフェージュ	選	2		2					○	◎	○						
H62222	声楽基礎	選	2			2				○	◎		○			(日本の伝統的な歌唱を含む)		
H62235	合唱	選	2			2							○	◎				
H62222	器楽基礎	選	2			2				○	◎		○			(伴奏並びに和楽器を含む)		
H62234	合奏	選	2			2				○	○		◎					
H63234	指揮法	選	2					2		○	○		◎					
H63221	作曲法	選	2					2		◎	○	○				(編曲法を含む)		
H61211	音楽史1(西洋)	選	2	2						◎						(西洋)		
H61211	音楽史2(日本及び民族)	選	2		2					◎						(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)		
H62211	音楽科教育法1	選	2			2				◎		○	○					
H63211	音楽科教育法2	選	2					2		◎		○	○					
H64215	音楽科教育法3	選	2					2				○	○	◎	○			
H61221	音楽理論1	選	2	2						◎	○					(楽典)		
H62221	音楽理論2	選	2		2					◎	○					(和声1)		
H63221	音楽理論3	選	2			2				◎	○	○				(和声2)		
H64221	音楽理論4	選	2					2		◎	○	○				(対位法)		
H61231	声楽実技 I	選	1	1						◎	○	○						
H61231	声楽実技 II	選	1		1					◎	○	○						
H61232	ピアノ実技 I	選	1	1						○	◎	○						
H61232	ピアノ実技 II	選	1		1					○	◎	○						

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数				カリキュラムマップ						備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断		相対的思考・対話	自律性・社会性	自立性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
H62211	音楽文化特論Ⅰ(西洋)	選	2		2					◎		○					
H62211	音楽文化特論Ⅱ(日本及び民族)	選	2			2				◎		○		○		(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	
H63232	和楽器実技Ⅰ	選	1				1			○	◎		○				
H62211	特別支援教育総論	選	2		2					◎	○						
H62213	インクルーシブ教育論	選	2					2			○	◎	○				
H62211	知的障害者の心理・生理・病理	選	2			2				◎	○						
H62211	肢体不自由者の心理・生理・病理	選	2					2		◎	○						
H62211	病弱者の心理・生理・病理	選	2			2				◎	○						
H62211	知的障害教育論	選	2		2					◎	○						
H62211	肢体不自由教育論	選	2		2					◎	○						
H62211	病弱教育論	選	2		2					◎	○						
H62213	知的障害者の発達と教育	選	2					2 (2)			○	◎	○				
H62213	肢体不自由者の発達と教育	選	2					2			○	◎	○				
H62213	病弱者の発達と教育	選	2					2			○	◎	○				
H62211	重複障害者教育総論	選	1					1		◎	○						
H62211	発達障害者教育総論	選	2			2				◎	○						
H62211	聴覚障害者教育総論	選	1					1		◎	○						
H62211	視覚障害者教育総論	選	1					1		◎	○						
H64231	特別支援学校教育実習論	選	1						1	◎		○		○			
H64245	特別支援学校教育実習	選	2						2				○	◎	○		
H62211	生涯学習概論Ⅰ	選	2		2					◎		○					
H62211	生涯学習概論Ⅱ	選	2			2				◎		○					
H63223	生涯学習支援論Ⅰ	選	2					2		○		◎	○				
H63223	生涯学習支援論Ⅱ	選	2					2		○		◎	○				
H63223	社会教育経営論Ⅰ	選	2					2		○		◎	○				
H63223	社会教育経営論Ⅱ	選	2					2		○		◎	○				
H63211	ジェンダーと教育	選	2		(2)	2				◎		○		○			
H63213	家庭教育論	選	2				(2)	2		◎		◎	○				
H62211	教育社会学	選	2		(2)	2				◎		○		○			
H61221	学校外教育論	選	2	(2)	2					◎		○	○				
H63244	社会教育実習	選	2					2				○	◎	○			
H64223	社会教育演習	選	2						2	○		◎	○				
H62244	社会教育基礎実習	選	2			2						○	◎	○			
H64223	社会教育課題研究	選	2						2	○		◎	○				
H63223	保育実践研究1	選	2				(2)	2				◎	○				
H63223	保育実践研究2	選	2					2 (2)				◎	○				
H63213	子どもの認知発達	選	2				(2)	2		○	○	◎					
H63211	パーソナリティ発達研究	選	2				(2)	2		◎	○	○					
H62211	子ども文化創造概論	選	2				2	(2)		◎	○	○					
H63234	子ども文化創造実践演習	選	2				(2)	2					◎	○	○		
H63213	教育哲学	選	2		(2)	2				○		◎		○			
H63211	教育史	選	2		2	(2)				◎		○					
H62213	比較・国際教育論	選	2		(2)	2				○		◎	○				
H63213	オルタナティブ教育概論	選	2					2 (2)		○		◎	○				
H64245	オルタナティブ教育インターンシップ	選	2					2					○	◎	○		
H63224	教育のリフレクション	選	2				(2)	2					◎	○	○		
H63213	自然体験型環境教育	選	2				(2)	2		○	○	◎					
H63213	授業実践演習1	選	2				2	(2)		○		◎	○		○		
H63213	授業実践演習2	選	2				(2)	2		○		◎	○		○		
H64244	海外教育フィールドワーク	選	2			2						○	◎		○		
H62211	ユニバーサルデザイン教育論	選	2					2 (2)		◎	○	○					
H62213	通常の学級の特別支援教育	選	2					2 (2)		○	○	◎					
H62213	幼児期の特別支援教育	選	2				(2)	2		○	○	◎					
H62232	ヴォイス・トレーニング	選	1			1	(1)			○	◎						
H63234	音楽アンサンブル	選	1				(1)	1				○		◎	○		
H63211	音楽社会学	選	2					2 (2)		◎				○			
H63211	音楽教育概論	選	2				2	(2)		◎				○			
H63211	音楽心理学	選	2				(2)	2		◎				○			
H62211	児童文学論	選	2					2		◎		○	○				
H64212	おもちゃ研究	選	1						1	○	◎						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	相互理解・対話	社会性・自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
H61232	音楽実技2	選	1		1							○	◎		○			
H61234	合奏入門	選	2	2								○	○		◎			
H62232	音楽表現実技演習 I	選	1			1						○	◎		○			
H62232	音楽表現実技演習 II	選	1				1					○	◎		○			
H63222	鍵盤総合演習	選	2					2				○	◎	○				
H63232	和楽器実技 II	選	1						1				◎		○			
H63211	音楽療法	選	2					2				◎				○		
H63211	カルチュラルスタディーズ	選	2							2		◎					○	
H63222	音楽ICT演習	選	2						2			○	◎		○			
H63232	教育・発達研究法	選	2					2				○	◎	○				
H63232	教育・発達分析法	選	2						2			○	◎	○				
H64112	発達教育学研究 I	必	2					2					◎	○				○
H64112	発達教育学研究 II	必	2						2				◎	○				○
H64116	発達教育学研究 III	必	2							2			○	○				◎
H64116	発達教育学研究 IV	必	2								2		○	○				◎
H64156	卒業研究	必	6								6		○	○				◎

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

専門科目群

心理共生学部

心理共生学部心理共生学科

心理共生学科専門科目

◆「心理共生学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能・汎用的	判断・思考・対話・相互理解	自律性・社会性	自立性					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
Y11122	心理共生入門	必	2	2								◎		○						
Y11111	心理学と心理的支援	必	2	2								◎		○						
Y11111	心理学概論	必	2	2								◎								
Y11111	臨床心理学概論	必	2	2								◎								
Y11111	ソーシャルワーク概論	必	2	2								◎								
Y11111	社会福祉原論	必	2	2								◎								
Y11111	学校保健概論	必	2	2								◎								
Y11111	臨床医学概論	必	2	2								◎								
Y11222	入門演習Ⅰ	必	2	2								◎		○						
Y11221	入門演習Ⅱ	必	2	2								◎		○						
Y11222	基礎演習Ⅰ	必	2		2							○	◎	○						
Y11222	基礎演習Ⅱ	必	2			2						○	◎	○						
Y11246	心理共生実践	選	2			2								○	○					◎
Y11211	心理学研究法	選	2	2								◎	○	○						
Y11211	人体の構造と機能及び疾病	選	2	2								◎								
Y11211	心理統計法	選	2	2								◎	○	○						
Y11211	心理測定・評価	選	2	2								◎	○	○						
Y11211	教育心理学	選	2	2								◎								
Y11211	生命倫理学	選	2	2								◎		○		○				
Y12233	心理学実験	選	2		2								○	◎		○				
Y12211	学習・言語心理学	選	2		2							◎								
Y12211	知覚・認知心理学	選	2		2							◎								
Y12211	教育・学校心理学	選	2		2							◎								
Y12211	社会・集団・家族心理学A	選	2		2							◎								
Y12211	産業・組織心理学	選	2		2							◎								
Y12211	発達心理学	選	2		2							◎								
Y12211	脳と行動	選	2		2							◎								
Y12213	推測統計	選	2		2							○	○	◎						
Y12211	社会学	選	2	2								◎								
Y12211	ソーシャルワークの基盤と専門職	選	2		2							◎		○						
Y12211	社会福祉政策論	選	2		2							◎		○						
Y12211	ソーシャルワーク論Ⅰ	選	2		2							◎								
Y12223	ソーシャルワーク演習Ⅰ	選	1		1									◎	○	○				
Y12211	地域福祉論Ⅰ	選	2		2							◎								
Y12211	児童・家庭福祉論	選	2		2							◎								
Y12211	解剖生理学	選	2	2								◎								
Y12211	養護概説	選	2	2								◎								
Y12211	人体生理学	選	2	2								◎								
Y12213	看護学Ⅰ	選	2		2							○		◎						
Y12211	微生物学	選	2		2							◎								
Y12211	免疫学	選	2		2							◎								
Y12213	学校保健	選	2		2							○	○	◎						
Y12213	保健科教育法1	選	2		2							○	○	◎			○			
Y12213	乳幼児心理学	選	2		2							○		◎						
Y12211	司法・犯罪心理学	選	2		2							◎								
Y12211	心理学的支援法	選	2		2							◎		○						
Y12213	障害者・障害児心理学	選	2		2							○		◎						
Y12221	心理的アセスメント	選	2		2							◎		○						
Y12211	感情・人格心理学	選	2		2							◎								
Y12211	精神疾患とその治療	選	2		2							◎								
Y12213	多変量解析	選	2		2							○	○	◎						
Y12233	上級心理学実験	選	2		2							○	○	◎						
Y12211	知覚心理学特論	選	2		2							◎								
Y12211	組織心理学特論	選	2		2							◎								
Y13223	上級心理的アセスメント	選	2			2						○		◎	○					

ナンバリング	科目名	必 選 の 別	単 位 数 計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		理 解 ・ 知 識 ・ 技 能	汎 用 的 判 断	思 考 ・ 相 互 理 解	社 会 性 ・ 自 律 性	自 立 性					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期										
Y13211	神経・生理心理学	選	2					2				◎									
Y13211	犯罪心理学	選	2					2				◎									
Y13211	認知心理学特論A	選	2					2				◎									
Y13224	カウンセリング演習	選	2					2				○		○	◎						
Y13213	心理調査法	選	2					2				○	○	◎							
Y13211	心理学的支援法特論	選	2					2				◎		○							
Y13211	学校心理学特論	選	2					2				◎									
Y13211	青年心理学	選	2					2				◎									
Y13211	ポジティブ心理学	選	2					2				◎									
Y13213	発達障害児の心理と教育	選	2					2				○		◎	○						
Y13211	健康・医療心理学	選	2					2				◎									
Y13211	福祉心理学	選	2					2				◎									
Y13224	心理演習	選	2					2				○		○	◎						
Y13211	社会・集団・家族心理学B	選	2					2				◎									
Y13211	関係行政論	選	2					2				◎									
Y13211	認知心理学特論B	選	2					2				◎									
Y13211	法と心理学	選	2					2				◎									
Y13223	認知行動療法演習	選	2					2				○		◎	○						
Y13223	心理学課題研究	選	2					2				○		◎	○						
Y13211	成人・老年心理学	選	2					2				◎									
Y13211	臨床社会心理学	選	2					2				◎									
Y13211	産業心理学特論	選	2					2				◎									
Y13221	こども発達支援演習	選	2					2				◎									
Y14213	公認心理師の職責	選	2						2			○		◎	○						○
Y14244	心理実習	選	2						2					○	◎						○
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅱ	選	2				2					◎									
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅱ	選	1				1							◎	○	○					
Y13211	地域福祉論Ⅱ	選	2				2					◎									
Y13211	刑事司法と福祉	選	2				2					◎									
Y13211	障害者福祉論	選	2				2					◎									
Y13223	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	選	1				1							◎	○	○					
Y13243	ソーシャルワーク実習Ⅰ	選	1				1							◎	○						○
Y13211	社会保障論Ⅰ	選	2					2				◎									
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅲ	選	2					2				◎		○							
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅲ	選	1					1						◎	○	○					
Y13211	老人福祉論	選	2					2				◎									
Y13211	福祉サービスの組織と経営	選	2					2				◎									
Y13211	公的扶助論	選	2					2				◎									
Y13211	保健医療論	選	2					2				◎		○							
Y13211	スクールソーシャルワーク論	選	2					2				◎		○							
Y13211	社会保障論Ⅱ	選	2					2				◎									
Y13211	ソーシャルワーク論Ⅳ	選	2					2				◎		○							
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅳ	選	1						1					◎	○	○					
Y13211	法学	選	2					2				◎									
Y13223	ソーシャルワーク演習Ⅴ	選	1						1					◎	○	○					
Y13212	社会福祉調査	選	2					2				○	◎								
Y13223	スクールソーシャルワーク演習	選	1						1					◎	○	○					
Y13223	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	選	2					2						◎	○	○					
Y13243	ソーシャルワーク実習Ⅱ	選	3					3						◎	○						○
Y14223	スクールソーシャルワーク実習指導	選	1							1				◎	○	○					
Y14243	スクールソーシャルワーク実習	選	2						2					◎	○						○
Y13213	看護学Ⅱ	選	2				2					○		◎							
Y13223	救急処置及び看護法	選	2				2					○		◎							
Y13211	栄養学	選	2				2					◎									
Y13211	精神保健Ⅰ	選	2				2					◎									
Y13213	保健科教育法2	選	2				2					○	○	◎							○
Y13223	看護技術Ⅰ	選	2					2				○		◎							
Y13223	看護技術Ⅱ	選	2					2				○		◎							
Y13211	精神保健Ⅱ	選	2					2				◎									
Y13223	保健科教育法3	選	2					2				○	○	◎							○

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	技能	汎用的	判断・	相互理解	社会性・	自律性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
Y13223	学校救急処置	選	2					2					○		◎	○	○					
Y13211	公衆衛生学	選	2					2					◎									
Y13211	衛生学	選	2						2				◎									
Y13213	健康相談活動論	選	2						2				○		◎	○	○					
Y13211	薬理概論	選	2						2				◎									
Y13211	小児保健	選	2						2				◎									
Y13223	保健科教育法4	選	2						2				○	○	◎		○					
Y13223	看護臨床実習指導	選	1					1							◎	○	○					
Y13243	看護臨床実習	選	1					1							◎	○	○					
Y13123	心理共生演習Ⅰ	必	2					2							◎	○	○					
Y13123	心理共生演習Ⅱ	必	2						2						◎	○	○					
Y14123	心理共生演習Ⅲ	必	2							2					◎	○	○					
Y14123	心理共生演習Ⅳ	必	2								2				◎	○	○					
Y14156	卒業研究	必	6							6												◎

専門科目群

家政学部

家政学部食物栄養学科

食物栄養学科専門科目

◆「食物栄養学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・ 技能	汎用的 判断・ 思考	相互理解・ 対話	社会性・ 自律性	自立性				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
N11111	基礎の生物学	必	2	2							◎									
N11111	基礎の有機化学	必	2	2							◎									
N11121	基礎の化学	必	2	2							◎									
N11121	食物栄養基礎演習	必	2	2							◎	○	○							
N12111	基礎調理学	必	2	2							◎	○	○							
N12111	解剖生理学	必	2	2							◎		○						○	
N12131	調理学実習Ⅰ	必	1	1							◎	○	○							
N12111	食物栄養の化学	必	2		2						◎		○							
N12111	生化学	必	2		2						◎		○						○	
N12211	応用調理学	選	2		2						◎		○							
N12122	科学英語A	必	2		2						◎			○						
N12131	基礎実験	必	1		1						◎									
N12231	食品加工学実習	選	1		1						◎		○						○	
N12131	調理学実習Ⅱ	必	1		1						◎	○	○							
N12211	臨床医学概論	選	2		2						◎		○						○	
N12211	応用生理学	選	2		2						◎		○						○	
N12111	食品学総論	必	2			2					◎		○						○	
N12111	食品学各論	必	2			2					◎		○						○	
N13111	基礎栄養学	必	2			2					◎		○						○	
N13211	ライフステージ別栄養学	選	2			2					◎	○	○							
N13211	運動栄養学	選	1			1					◎		○						○	
N12111	食品衛生学	必	2			2					◎		○						○	
N13211	栄養教育総論	選	2			2					◎								○	
N13211	給食運営論	選	2			2					◎								○	
N13211	栄養評価論	選	2			2					◎	○	○							
N12131	食品学実験	必	2			2					◎	○	○							
N13231	基礎栄養学実習	選	1			1					◎		○						○	
N12211	臨床病態学	選	2			2					◎		○						○	
N12211	微生物学	選	2			2					◎		○						○	
N12211	介護福祉概論	選	2			2					◎		○						○	
N13211	栄養教育各論	選	2			2					◎		○						○	
N13211	臨床栄養学	選	2			2					◎		○							
N13211	バイオテクノロジー	選	2			2					◎									
N13222	科学英語B	選	2			2						◎		○						
N13211	栄養機能論	選	1			1					◎		○						○	
N13211	病態栄養学	選	2			2					◎		○						○	
N13211	給食経営管理論	選	2			2					◎		○						○	
N13211	学校栄養指導論	選	2			2					◎			○	○					
N12131	生化学実験	必	1			1					◎		○						○	
N12131	食品衛生学実験	必	1			1					◎		○						○	
N13231	ライフステージ別栄養学実習	選	1			1					◎		○						○	
N13234	給食運営実習	選	1			1					○	○		◎						
N13232	臨床栄養学実習	選	1			1					○	◎	○							
N12111	公衆衛生学	必	2				2				◎		○						○	
N13211	公衆栄養学	選	2				2				◎	○							○	
N13214	栄養カウンセリング論	選	2				2						○	◎	○					
N13213	臨床栄養管理学	選	2				2				○		◎		○					
N13211	栄養薬理学	選	1				1				◎		○						○	
N12131	生理学実験	必	1				1				◎		○						○	
N12231	解剖生理学実験	選	1				1				◎		○						○	
N12231	バイオテクノロジー実験	選	1				1				◎		○						○	
N13233	臨床栄養学実習	選	1				1				○		◎	○						
N13233	栄養教育論実習	選	1				1				○		◎	○						
N13233	給食経営管理実習	選	1				1				○		◎		○				○	
N12211	健康環境論	選	2				2				◎		○						○	
N12211	分子栄養学	選	2					2			◎		○						○	
N13211	機器分析概論	選	2					2			◎									

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相対話・ 相互理解	社会性・ 自律性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
N13211	公衆栄養活動論	選	1					1					◎		○	○			
N13211	栄養疫学	選	1					1					◎		○	○			
N13231	調理学実習Ⅲ	選	1					1					◎	○	○				
N13231	バイオサイエンス実験	選	1					1					◎						
N13232	公衆栄養学実習	選	1					1					○	◎			○		
N13215	チーム医療論	選	1					1					○		○		◎		
N13214	学校栄養実践論	選	2					2					○			◎	○		
N13211	臨床栄養実践論	選	2				2						◎		○		○		
N13211	食行動療法論	選	2					2					◎		○	○			
N13211	健康教育実践論	選	2					2					◎		○		○		
N13213	スポーツ栄養学	選	2					2					○		◎		○		
N13213	バイオサイエンス	選	2					2					○		◎		○		
N13213	食品開発論	選	2					2					○		◎		○		
N13211	食空間プロデュース論	選	2					2					◎						
N13214	臨床心理学概論	選	2					2					○			◎	○		
N13211	食生活・食文化論	選	2					2					◎						
N13211	フードローディネート論	選	2					2					◎						
N14223	管理栄養士特別演習	選	2					2					○		◎				
N14126	食物栄養研究法Ⅰ	必	2					2						○	○			◎	
N14126	食物栄養研究法Ⅱ	必	2					2						○	○			◎	
N14126	食物栄養研究法Ⅲ	必	2					2						○	○			◎	
N14225	給食運営校外実習事前事後指導	選	1					1					○				◎		
N14245	給食運営校外実習	選	1					1						○	○		◎		
N14225	臨地実習事前事後指導	選	1					1					○				◎		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)	選	1					1					○			◎	○		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)	選	1					1					○			◎	○		
N14244	臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)	選	1					1					○			◎	○		
N14244	臨地実習(公衆栄養学)	選	1					1					○			◎	○		
N14244	臨地実習(給食経営管理論)	選	1					1					○			◎	○		
N13211	被服学概論	選	2			2	(2)						◎		○		○		
N13211	住居学概論	選	2			2	(2)						◎		○		○		
N13211	保育学	選	2			2	(2)						◎		○		○		
N13211	家庭経営学	選	2					2	(2)				◎		○		○		
N13231	衣服実習	選	2					2	(2)				◎		○		○		
N13211	家庭科教育法1	選	2			2	(2)						◎		○		○		
N13211	家庭科教育法2	選	2			2	(2)						◎		○		○		
N13211	家庭科教育法3	選	2					2	(2)				◎		○		○		
N13211	家庭科教育法4	選	2					2	(2)				◎		○		○		
N14156	卒業研究	必	6							6				○	○			◎	

管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者及び食品衛生監視員、栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状「家庭」、高等学校教諭一種免許状「家庭」に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

家政学部生活造形学科

生活造形学科専門科目

◆「生活造形学科専門科目」より、必修科目修得の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期									
N21191	生活造形基礎演習	必	2	2								◎		○	○					
N21111	生活デザインベーシック	必	2	2								◎		○						
N21111	衣生活概論	必	2	2								◎		○			○			
N21111	建築一般構造	必	2	2								◎	○	○						
N22231	アパレル製作実習	選	2	2								◎		○						○
N21231	建築設計製図実習	選	2	2								◎	○		○					
N21232	デザイン実習Ⅰ	選	2	2									◎	○	○					
N21223	生活文化学	選	2		2									◎	○					
N22211	色彩学	選	2		2							◎	○	○						
N22211	ファッションデザイン学	選	2		2							◎		○			○			
N22211	アパレル設計学	選	2		2							◎	○	○						
N22211	デザイン人間工学1	選	2		2							◎		○			○			
N22211	住宅計画	選	2		2							◎		○	○					
N22211	構造計画	選	2		2							◎	○	○						
N22232	デザイン実習Ⅱ	選	2		2								◎	○	○					
N22233	ファッションデザイン学実習Ⅰ	選	2		2							○	○	◎			○			
N22231	アパレル設計製図実習	選	2		2							◎	○	○						
N22232	空間デザイン実習ⅠA(※1)	選	2		2								◎	○	○					
N22232	空間デザイン実習ⅠB(※1)	選	2		2								◎	○	○					
N22222	クリエイティブ・ライティング	選	2		2								◎	○			○			
N22211	デザイン材料論	選	2			2						◎	○							
N22214	World Art History 1	選	2			2										◎	○			
N22211	デザイン人間工学2	選	2			2						◎		○						
N22211	アパレル材料学1	選	2			2						◎		○						
N22211	日本服飾史	選	2			2						◎		○						
N22211	アパレル体型学	選	2			2						◎	○	○						
N22211	ファッションブランド論	選	2			2						◎		○						
N22211	建築計画1	選	2			2						◎		○			○			
N22211	住宅再生論	選	2			2						◎		○			○			
N22211	インテリア計画	選	2			2						◎		○			○			
N22231	日本建築史	選	2			2						◎		○						
N22211	環境計画	選	2			2						◎		○			○			
N22233	デザイン実習Ⅲ	選	2			2						○	○	◎						
N23233	ファッションデザイン学実習Ⅱ	選	2			2						○	○	◎			○			
N23231	アパレルCAD実習(※2)	選	2			2						◎		○			○			
N22232	空間デザイン実習ⅡA(※3)	選	2			2							◎	○					○	
N22232	空間デザイン実習ⅡB(※3)	選	2			2							◎	○					○	
N22232	建築CAD実習A(※4)	選	2			2							◎	○					○	
N22232	建築CAD実習B(※4)	選	2			2							◎	○					○	
N22222	外書講読1	選	2			2						○	◎	○						
N22231	構造力学Ⅰ	選	2			2						◎		○						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用的 判断	思考・ 相互理解	対話 自律性	社会性・ 自立性			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
N22211	京都工芸論1	選	2			2					◎			○					
N23211	造形芸術論1	選	2			2					◎	○	○						
N23214	World Art History 2	選	2			2						○		◎	○	○			
N23221	デザインマーケティング論	選	2			2					◎	○				○			
N22211	アパレル材料学2	選	2			2					◎		○						
N23211	アパレル染色学	選	2			2					◎		○						
N22211	西洋服飾史	選	2			2					◎		○						
N22211	ファッション社会学	選	2			2					◎		○						
N23212	アパレル造形学	選	2			2					○	◎	○			○			
N22211	ファッションビジネス論	選	2			2					◎		○			○			
N23211	建築計画2	選	2			2					◎		○			○			
N22211	インテリアエレメント	選	2			2					◎		○			○			
N22211	西洋建築史	選	2			2					◎		○						
N22211	建築環境工学	選	2			2					◎	○	○						
N23231	伝統技法演習	選	2			2					◎		○						
N23233	デザイン実習IVA	選	2			2						○	◎	○					
N23233	デザイン実習IVB	選	2			2						○	◎	○					
N23233	デザイン実習IVC	選	2			2						○	◎	○					
N23233	アパレル繊維・材料学実験 I	選	2			2					○	○	◎						
N23231	テキスタイルデザイン実習	選	2			2					◎	○						○	
N23233	アパレル生産実習	選	2			2					○	○	◎						○
N22232	空間デザイン実習ⅢA(※5)	選	2			2						◎		○					○
N23232	空間デザイン実習ⅢB(※5)	選	2			2						◎		○					○
N23211	地域建築再生論	選	2			2					◎	○							○
N23211	構造力学Ⅱ	選	2			2					◎		○						
N23211	近代日本絵画史	選	2			2					◎			○	○				
N23214	造形芸術論2	選	2			2						○	○	◎					○
N23211	景観デザイン論	選	2			2					◎		○			○			
N23211	webデザイン演習	選	2			2					◎		○						
N24224	京都学	選	2			2					○			◎	○				
N23213	衣環境論	選	2			2					○		◎			○			
N23211	アパレル管理学	選	2			2					◎		○			○			
N23211	アパレル企画論	選	2			2					◎		○	○					
N23211	室内様式史	選	2			2					◎		○						
N23211	建築材料	選	2			2					◎	○	○						
N22222	外書講読2	選	2			2						◎		○					○
N24233	デザイン実習VA	選	2			2						○	◎	○					
N24233	デザイン実習VB	選	2			2						○	◎	○					
N23233	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	選	2			2					○	○	◎						
N23232	アパレル企画実習	選	2			2						◎		○					○
N23231	工芸染色実習	選	2			2					◎	○							○
N23245	テキスタイルアドバイザー実習(※6)	選	2			2							○	○	◎				
N23233	空間デザイン実習ⅣA(※7)	選	2			2							◎	○	○				○
N23232	空間デザイン実習ⅣB(※7)	選	2			2						◎		○					○
N23211	建築デザイン論	選	2			2					◎		○			○			
N24233	デザイン実習VC	選	2			2							◎	○					○
N23215	消費生活論	選	2			2					○					◎			

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考	
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
N24224	論文作成演習	選	2						2						○	◎	○		
N24211	京都工芸論2	選	2						2					◎			○		
N23211	ファッション文化論	選	2						2					◎		○			
N23215	アパレル特殊講義	選	2						2					○			◎	○	
N23211	建築法規	選	2						2					◎		○		○	
N23211	建築設備	選	2						2					◎	○	○			
N23211	建築施工	選	2						2					◎	○	○			
N23211	アパレル染色整理学実験	選	2						2					◎		○		○	
N23233	アパレル造形実習	選	2						2						◎		○	○	
N23233	空間造形実習A(※8)	選	2						2						◎	○		○	
N23232	空間造形実習B(※8)	選	2						2					◎	○			○	
N23232	空間造形実習C(※8)	選	2						2					◎			○	○	
N24232	メディアデザイン	選	2						2					○	◎	○			
N23215	消費科学	選	2						2					○				◎	
N23125	生活造形学専門演習(※9)	必	2						2					○	○			◎	○
N24126	生活造形学卒業研究演習 I	必	2							2				○		○			◎
N24126	生活造形学卒業研究演習 II	必	2								2			○		○			◎
N22211	食物栄養学概論	選	2			2								◎		○			
N22211	保育学	選	2			2								◎	○	○			
N22212	住居学概論	選	2			2									◎	○			
N23211	家庭経営学	選	2						2					◎		○		○	○
N23232	調理実習	選	2						2						◎	○			
N22211	家庭科教育法1	選	2			2	(2)							◎		○			○
N23224	家庭科教育法2	選	2			2	(2)							○		○	◎		
N23225	家庭科教育法3	選	2						2	(2)				○		○			◎
N24226	家庭科教育法4	選	2						2	(2)					○		○		◎
N24156	卒業研究	必	6								6				○		○		◎

(家族関係学及び家庭経済学を含む)

- (※1) 空間デザイン実習 I (A,B)は、建築設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※2) アパレルCAD実習は、アパレル設計製図実習の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※3) 空間デザイン実習 II (A,B)は、空間デザイン実習 I (A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※4) 建築CAD実習 (A,B)は、空間デザイン実習 I (A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※5) 空間デザイン実習 III (A,B)は、空間デザイン実習 II (A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※6) テキスタイルアドバイザー実習は、衣料管理士(1級)の資格取得希望者以外は履修できない。
 - (※7) 空間デザイン実習 IV (A,B)は、空間デザイン実習 III (A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※8) 空間造形実習A・空間造形実習B・空間造形実習Cは、空間デザイン実習 IV (A,B)の単位を修得しなければ履修できない。
 - (※9) 生活造形学専門演習は、生活造形基礎演習の単位を修得しなければ履修できない。
- 1級建築士及び2級・木造建築士並びに衣料管理士(1級)に関する履修は、別に定める履修科目表に従うこと。

専門科目群

現代社会学部

現代社会学部 現代社会学科

現代社会学科専門科目

◆「現代社会学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考				
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・知識・技能	汎用的判断	思考・相互理解	対話・自律性	社会性・自律性							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
P11115	現代社会入門Ⅰ	必	2	2																		導入科目	
P11111	現代社会入門Ⅱ	必	2	2																			
P11116	ジェンダーと現代社会	必	2		2																		アプローチ科目 5科目10単位以上修得すること
P11211	哲学アプローチ	選	2	2																			
P11211	情報学アプローチ	選	2	2																			
P11211	法学アプローチ	選	2	2																			
P11211	経営学アプローチ	選	2	2																			
P11211	社会学アプローチ	選	2	2																			
P11211	心理学アプローチ	選	2		2																		
P11211	政治学アプローチ	選	2		2																		
P11211	経済学アプローチ	選	2		2																		
P11211	環境学アプローチ	選	2		2																		
P11211	社会思想アプローチ	選	2		2																		
P14241	短期英語研修A	選	4		4																		スキル科目 4科目8単位以上修得すること
P14241	短期英語研修B	選	2		2																		
P12222	専門英語Ⅰ	選	2			2																	
P12222	専門英語Ⅱ	選	2				2																
P13222	専門英語Ⅲ	選	2					2															
P13222	専門英語Ⅳ	選	2						2														
P11212	社会データ処理基礎	選	2		2																		
P12212	データ分析入門	選	2			2																	
P12212	調査科目 統計学基礎	選	2				2																
P12212	量的調査法	選	2				2																
P12212	質的調査法	選	2				2																
P13236	社会調査実習Ⅰ	選	2					2															
P13236	社会調査実習Ⅱ	選	2						2														
P12211	情報科目 ネットワークⅠ	選	2			2																	
P12212	ネットワークⅡ	選	2				2																
P12211	プログラミング	選	2				2																
P12211	情報数学	選	2				2																
P12511	教職・教科関連科目 日本史概論	選	2	2	(2)																		現代社会専門共通科目
P12511	東洋史概論	選	2	2	(2)																		
P12511	西洋史概論	選	2	2	(2)																		
P12511	歴史地理学概論	選	2			2	(2)																
P12511	人文地理学概論	選	2			2	(2)																
P12511	地誌学概論	選	2					2	(2)														
P12511	自然地理学概論	選	2					2	(2)														
P12511	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)																
P12511	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)																
P12511	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)														
P12511	公民科教育法	選	2					2	(2)														
P12211	簿記Ⅰ	選	2		2																		
P12211	データ構造とアルゴリズム	選	2			2																	
P12211	日本国憲法	選	2			2																	
P12211	自然環境と生態系	選	2			2																	
P12211	セクシュアリティと身体	選	2			2																	
P12211	簿記Ⅱ	選	2			2																	
P12211	Japan Studies 1	選	2			2																	
P12211	家族法	選	2				2																
P12213	国際法	選	2				2																
P12211	生命の起源と進化	選	2				2																

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 技能	汎用 判断	思考・ 対話・ 相互理解	社会性・ 自律性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P12211	社会学史	選	2				2					◎		○	○			現代社会専門共通科目
P12212	簿記Ⅲ	選	2				2					○	◎	○				
P12211	Japan Studies 2	選	2				2					◎	○		○			
P14244	多文化理解実習	選	2				2							○	◎			
P13211	情報ネットワーク	選	2						2			◎		○				
P13211	情報セキュリティ	選	2						2			◎	○	○				
P13211	情報文明論	選	2						2			◎		○			○	
P13211	ジェンダーと法	選	2						2			◎	○	○				
P13212	統計学	選	2						2			○	◎					
P13212	簿記Ⅳ	選	2						2			○	◎	○				
P13211	Webプログラミング	選	2						2			◎	○					
P13211	情報技術者の社会的責任	選	2						2			◎		○			○	
P13211	ロボット社会論	選	2						2			◎	○				○	
P13212	簿記Ⅴ	選	2						2			○	◎	○				
P14211	特講A	選	2				2					◎						
P14211	特講B	選	2				2					◎						
P14211	特講C	選	2						2			◎						
P14211	特講D	選	2						2			◎						
P12215	倫理学	選	2				2					○		○			◎	
P12211	人間学	選	2				2					◎					○	
P12211	臨床心理学	選	2				2					◎		○				
P12211	パーソナリティ心理学	選	2				2					◎		○				
P12211	生命倫理学	選	2				2					◎		○			○	
P12211	ニューロサイエンス概論	選	2				2					◎						
P12211	社会心理学	選	2				2					◎					○	
P13211	現代人権論	選	2						2			◎	○				○	
P13211	精神医学概論	選	2						2			◎						
P13213	応用倫理学	選	2						2			○	○	◎			○	
P13214	人間関係の心理学	選	2						2			○					◎	
P13211	比較文化精神医学	選	2						2			◎		○				
P13211	現代宗教論	選	2						2			◎			○			
P12211	地域社会学	選	2				2					◎		○			○	
P12211	家族社会学	選	2				2					◎		○				○
P12211	福祉と家族	選	2				2					◎	○	○				
P12214	文化人類学	選	2				2					○					◎	
P12211	市民活動論	選	2				2					○		○				
P12211	国際結婚論	選	2				2					◎	○		○			
P12212	労働の社会学	選	2				2					○	◎					
P12212	民俗文化論	選	2				2					○	◎					
P12211	文化と社会	選	2				2					◎	○	○				
P13211	観光とまちづくり	選	2						2			◎	○	○				
P13211	スポーツ社会学	選	2						2			◎	○	○				
P13214	比較家族史	選	2						2			○					◎	○
P13212	メディア文化論	選	2						2			○	◎					
P13211	ジェンダーの社会学	選	2						2			◎	○	○				
P13214	家族の人類学	選	2						2			○					◎	
P12213	マクロ経済学	選	2				2					○	○	◎				
P12213	ミクロ経済学	選	2				2					○		◎				
P12211	経営戦略論	選	2				2					◎	○	○				
P12213	日本経済史	選	2				2					○	○	◎				
P12213	金融論	選	2				2					○	○	◎				
P12213	財政学	選	2				2					○	○	◎				
P12211	組織マネジメント論	選	2				2					◎	○	○				
P12211	マーケティング論	選	2				2					◎	○	○				
P13213	家族経済論	選	2						2			○		◎				
P13213	国際経営論	選	2						2			○		◎				
P13211	会計学	選	2						2			◎	○	○				
P13213	国際経済学	選	2						2			○	○	◎				
P13213	教育経済学	選	2						2			○		◎				
P13211	サービス経営特論	選	2						2			◎		○	○			
P13213	現代世界経済論	選	2						2			○	○	◎				

コース科目
いずれか一つのコース科目を
10科目20単位以上修得すること

(文化・心理コースとしても履修可能)
(環境・公共コースとしても履修可能)

(文化・心理コースとしても履修可能)

(文化・心理コースとしても履修可能)

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・技能	汎用的判断	思考・相対話・自律性	社会性	自立性		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
P12211	環境政策論	選	2		2						◎	○	○					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> コース科目 いずれか一つのコース科目を 10科目20単位以上修得すること </div>
P12211	多様性の生物学	選	2		2						◎	○						
P12211	マイノリティと法	選	2		2						◎		○					
P12211	食と環境	選	2		2						◎				○	○		
P12211	法社会学	選	2			2					◎		○					
P12212	エネルギーと環境	選	2			2					○	◎						
P12211	生活と法	選	2			2					◎	○	○					
P12211	公共政策分析論	選	2			2					◎	○	○					
P13212	環境開発論	選	2				2				○	◎						
P13211	都市政策論	選	2				2				◎	○						
P13211	行政と法	選	2				2				◎	○	○					
P13212	社会福祉論	選	2				2				○	◎						
P13211	労働と法	選	2					2			◎	○	○					
P13213	環境社会学	選	2					2			○		◎				(家族・地域コースとしても履修可能)	
P12211	現代政治論	選	2		2						◎	○	○					
P12211	ヨーロッパ地域研究	選	2		2						◎		○	○				
P12211	北米地域研究	選	2		2						◎		○	○				
P12211	現代国際社会論	選	2		2						◎					○		
P12212	現代日本政治論	選	2			2					○	◎	○				(環境・公共コースとしても履修可能)	
P12211	アフリカ地域研究	選	2			2					◎		○	○				
P12211	アジア地域研究	選	2			2					◎		○	○				
P12211	イスラーム地域研究	選	2			2					◎		○					
P12211	国際関係論	選	2			2					◎		○					
P12213	国際協力論	選	2			2					○		◎	○				
P13212	行政学	選	2				2				○	◎	○					
P13211	日本政治史	選	2					2			◎		○					
P13211	国際関係史	選	2					2			◎		○					
P13211	地方自治論	選	2					2			◎	○	○					
P13214	多文化社会論	選	2					2					○	◎				
P14241	Study Abroad A I	選	4			4					◎	○		○			いずれのコース科目群においても、 選択したコース内の単位としてカウント することができる。	
P14241	Study Abroad A II	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A III	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A IV	選	4			4					◎	○		○				
P14241	Study Abroad A V	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VI	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VII	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad A VIII	選	4				4				◎	○		○				
P14241	Study Abroad B I	選	2			2					◎	○		○				
P14241	Study Abroad B II	選	2				2				◎	○		○				
P11126	基礎演習 I	必	2	2									○	○		◎	演習科目	
P11126	基礎演習 II	必	2		2								○	○		◎		
P12126	演習 I	必	2			2							○	○		◎		
P12126	演習 II	必	2				2						○	○		◎		
P13126	演習 III	必	2					2					○	○		◎		
P13126	演習 IV	必	2						2				○	○		◎		
P14126	演習 V	必	2							2			○	○		◎		
P14126	演習 VI	必	2								2		○	○		◎		
P14155	卒業論文	必	4							4		○		○	○	◎	卒業論文	

(注1)「多文化理解実習」「短期英語研修A」「短期英語研修B」は、履修要項第4条第4項に定める「1年間に登録できる授業科目の単位数」に含めない。

(注2)「Study Abroad A I」～「Study Abroad A VIII」、「Study Abroad B I」及び「Study Abroad B II」は半期・通年の留学の読み替え科目。(単位登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。)

(注3)「Study Abroad A I」～「Study Abroad A VIII」、「Study Abroad B I」及び「Study Abroad B II」は5科目10単位を上限として所属コースの単位として認定される

(注4)「演習 V」、「演習 VI」及び「卒業論文」は、「基礎演習 I」、「基礎演習 II」、「演習 I」、「演習 II」、「演習 III」及び「演習 IV」の6科目(12単位)中、4科目(8単位)以上修得しなければ履修できない。

専門科目群

法学部

法学部法学科

法学科専門科目

◆「法学科専門科目より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として含めることができる。

ナンバリング	科目名	必修の別	単位数	開講学期と単位数				カリキュラムマップ							備考		
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	汎用的技能	判断・思考		相互理解・対話	社会性・自律性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
Q11211	法学入門	選	2	2							◎		○				
Q11211	司法制度入門	選	2	2							◎		○				
Q11122	導入演習	必	2	2								◎		○			○
Q12211	日本法制史	選	2	2							◎		○				
Q12211	西洋法制史	選	2		2						◎	○					
Q13213	法社会学	選	2		2							○	◎				
Q13213	法哲学	選	2			2					○		◎				
Q13211	英米法 I	選	2			2					◎	○	○				
Q13211	英米法 II	選	2			2					◎	○	○				
Q12111	憲法 I A(人権)	必	2	2							◎		○				
Q12211	憲法 I B(人権)	選	2	2							◎		○				
Q12211	憲法 II A(統治)	選	2		2						◎		○				
Q12211	憲法 II B(統治)	選	2		2						◎		○				
Q12211	行政法総論 I	選	2		2						◎		○				
Q12211	行政法総論 II	選	2		2						◎		○				
Q12211	行政救済法	選	2			2					◎		○				
Q12211	地方自治法	選	2				2				◎		○				
Q12111	民法 I A(総則)	必	2	2							◎		○				
Q12211	民法 I B(総則)	選	2	2							◎		○				
Q12211	民法 II(物権)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 III(担保物権)	選	2			2					◎		○				
Q12211	民法 IV A(債権総論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 IV B(債権総論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 V A(債権各論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 V B(債権各論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 VI A(親族・相続)	選	2		2						◎		○				
Q12211	民法 VI B(親族・相続)	選	2		2						◎		○				
Q13211	民事訴訟法 I	選	2			2					◎		○				
Q13211	民事訴訟法 II	選	2			2					◎		○				
Q13211	民事執行法・民事保全法	選	2			2					◎		○				
Q13211	破産法	選	2			2					◎		○				
Q12111	企業法総論	必	2		2						◎		○				
Q12211	商取引法	選	2		2						◎		○				
Q12211	会社法 I(ガバナンス)	選	2		2						◎		○				
Q12211	会社法 II(ファイナンス)	選	2		2						◎		○				
Q13211	保険法	選	2			2					◎		○				
Q13211	支払決済法	選	2			2					◎		○				
Q12111	刑法 I A(総論)	必	2	2							◎		○				
Q12211	刑法 I B(総論)	選	2	2							◎		○				
Q12211	刑法 II A(各論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	刑法 II B(各論)	選	2		2						◎		○				
Q12211	刑事訴訟法 I	選	2		2						◎		○				
Q12211	刑事訴訟法 II	選	2		2						◎		○				
Q13211	刑事政策 I(犯罪原因)	選	2			2					◎		○				
Q13211	刑事政策 II(犯罪対策)	選	2			2					◎		○				
Q13211	少年法	選	2			2					◎		○				
Q12211	租税法	選	2		2						◎		○				
Q12211	生命倫理法	選	2		2						◎		○				
Q12211	法と心理	選	2		2						◎		○				
Q12211	労働法 I	選	2		2						◎		○			○	
Q12213	労働法 II	選	2		2						○		◎			○	
Q13213	社会保障法	選	2			2					○		◎			○	
Q13211	知的財産法 I	選	2			2					◎		○				
Q13211	知的財産法 II	選	2			2					◎		○				
Q13211	消費者法	選	2			2					◎		○				
Q13211	経済法	選	2			2					◎		○				
Q14222	模擬裁判	選	2				2				○	◎					

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ					備考
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・ 知識・	技能的 汎用的	判断 思考・ 相互理解	対話・ 自律性・ 社会性・	自立性	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
Q12211	国際機構論	選	2		2							◎			○		
Q12211	国際法ⅠA	選	2			2						◎		○			
Q12211	国際法ⅠB	選	2			2						◎		○			
Q12211	国際法Ⅱ	選	2				2					◎		○			
Q13211	国際法Ⅲ	選	2					2				◎		○			
Q13211	国際私法ⅠA	選	2					2				◎		○			
Q13211	国際私法ⅡA	選	2					2				◎		○			
Q13213	国際私法ⅠB	選	2						2			○	◎				
Q13213	国際私法ⅡB	選	2						2			○	◎				
Q11211	政治学	選	2	2								◎		○			
Q12211	政治思想史	選	2		2							◎		○			
Q12211	現代政治論	選	2			2						◎		○			
Q12211	行政学	選	2					2				◎		○			
Q12211	財政学	選	2				2					◎		○			
Q13213	政策学	選	2					2				○	◎				
Q13211	地方自治論	選	2					2				◎		○			
Q12211	国際社会と日本	選	2	2								◎		○			
Q12211	国際人権論	選	2		2							◎			○		
Q12211	国際関係論	選	2			2						◎		○			
Q12211	グローバル社会論	選	2			2						◎		○			
Q12213	平和研究Ⅰ	選	2				2					○	◎	○			
Q13213	平和研究Ⅱ	選	2					2				○	◎	○			
Q12211	国際関係史	選	2					2				◎		○			
Q12211	ミクロ経済学	選	2		2							◎		○			
Q12211	マクロ経済学	選	2			2						◎		○			
Q13211	国際経済学	選	2					2				◎		○			
Q13211	会計学	選	2					2				◎	○				
Q12111	ジェンダー法Ⅰ	必	2		2							◎				○	
Q12235	ジェンダー法実習A (アサーティブネス・トレーニング)	選	2			2										◎	○
Q12236	ジェンダー法実習B (自覚安全術クラス)	選	2			2										○	◎
Q13213	ジェンダー法Ⅱ	選	2			2							◎			○	
Q13213	ジェンダー法Ⅲ	選	2					2					◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅳ	選	2					2					◎	○			
Q13213	ジェンダー法Ⅴ	選	2					2					◎			○	
Q13213	ジェンダー法Ⅵ	選	2					2					◎			○	
Q12211	生命と法	選	2			2						◎		○			
Q14213	平和と女性	選	2					2				○		◎	○		
Q12211	実務法学基礎Ⅰ	選	2	2								◎	○				
Q11211	実務法学基礎Ⅱ	選	2	2								◎		○			
Q12211	実務法学基礎Ⅲ	選	2		2							◎		○			
Q12211	実務法学Ⅰ	選	2			2						◎		○			
Q12211	実務法学Ⅱ	選	2			2						◎		○			
Q12215	法律アクティブ・リサーチⅠ	選	2				2						○	○	◎		
Q13213	法律アクティブ・リサーチⅡ	選	2					2					◎	○	○		
Q14214	特別講義Ⅰ	選	2					2						◎		○	
Q14225	特別講義Ⅱ	選	2						2					○	◎		
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(英)	選	2					2				○	◎	○			
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(仏)	選	2					2				○	◎	○			
Q13222	外国語文献講読Ⅰ(独)	選	2					2				○	◎	○			
Q13222	外国語文献講読Ⅱ(英)	選	2						2			○	◎	○			
Q12122	基礎演習	必	2		2								◎		○		○
Q12123	専門入門演習Ⅰ	必	2			2							◎	○	○	○	
Q12123	専門入門演習Ⅱ	必	2				2						◎	○	○	○	
Q13123	事例演習Ⅰ	必	2					2					◎	○	○	○	
Q13123	事例演習Ⅱ	必	2						2				◎	○	○	○	
Q14125	専門演習Ⅰ	必	2							2			○		◎	○	
Q14126	専門演習Ⅱ	必	2								2		○		○	◎	
Q14125	法学文献講読	選	2									2		○		◎	○

6単位選択必修
(「ジェンダー法Ⅰ」を除く9科目から3科目
選択)

I. 京都女子大学のカリキュラム

II. 履修科目表・カリキュラムマップ

III. 免許・諸資格

IV. 京都女子大学 履修要項

一専門科目群 法学科一

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数計	開講学期と単位数								カリキュラムマップ						備考					
				1回生		2回生		3回生		4回生		知識・理解	技能的	判断	思考・相互理解	対話・自律性・社会性	自立性						
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期												
Q11211	日本史概論	選	2	2	(2)																		
Q11211	東洋史概論	選	2	2	(2)																		
Q11211	西洋史概論	選	2	2	(2)																		
Q11211	心理学アプローチ	選	2		2																		
Q12211	倫理学	選	2			2																	
Q12211	歴史地理学概論	選	2			2	(2)																
Q12211	人文地理学概論	選	2			2	(2)																
Q13211	地誌学概論	選	2					2	(2)														
Q13211	自然地理学概論	選	2					2	(2)														
Q13211	生命倫理学	選	2						2														
Q12211	社会科教育法(地理歴史分野)	選	2			2	(2)																
Q12211	社会科教育法(公民分野)	選	2			2	(2)																
Q13211	地理歴史科教育法	選	2					2	(2)														
Q13211	公民科教育法	選	2					2	(2)														
Q14156	卒業研究	必	2						2														◎

(注)事例演習Ⅰ、事例演習Ⅱは、導入演習、基礎演習、専門入門演習Ⅰ、専門入門演習Ⅱの4科目8単位中、2科目4単位以上修得し、かつ憲法ⅠA(人権)、民法ⅠA(総則)、刑法ⅠA(総論)の単位を修得しなければ履修できない。
(注)専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、法学文献講読及び卒業研究は、導入演習、基礎演習、専門入門演習Ⅰ、専門入門演習Ⅱ、事例演習Ⅰ、事例演習Ⅱの6科目12単位中、4科目8単位以上修得しなければ履修できない。

専門科目群

データサイエンス学部

データサイエンス学部 データサイエンス学科

データサイエンス学科専門科目

◆「データサイエンス学科専門科目」より、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たした上で、合計72単位以上修得すること。
72単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数				カリキュラムマップ							備考				
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解	知識・技能	汎用的判断		思考・対話・相互理解	自律性	社会性	自立性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
R11111	社会ソリューション基礎科目 価値創造への招待	必	2	2							◎		○					専門基礎科目 価値創造への招待、数学への招待、確率・統計への招待、プログラミングへの招待を除く専門基礎科目から、「社会ソリューション基礎科目」3科目6単位以上 「数理・統計系基礎科目」3科目6単位以上 「情報系基礎科目」2科目4単位以上を修得すること。	
R11211	経済学概論	選	2		2						◎								
R11211	経営学概論	選	2		2						◎		○						
R11211	社会学概論	選	2		2						◎		○						
R12211	計量経済学	選	2		2						◎								
R12211	リスクマネジメント	選	2		2						◎	○	○				○		
R12211	社会保障論	選	2		2						◎	○	○				○		
R12211	家族と社会	選	2		2						◎		○						
R12221	社会データ分析	選	2		2						◎	○							
R11111	数学への招待	必	2	2							◎								
R11111	確率・統計への招待	必	2	2							◎	○	○						
R11211	統計学入門	選	2		2						◎	○	○						
R11211	解析学 I	選	2		2						◎								
R11221	解析学 I 演習	選	2		2						◎	○	○						
R11211	線形代数学	選	2		2						◎								
R11221	線形代数学演習	選	2		2						◎	○	○						
R12211	多変量解析 I	選	2		2						◎	○	○						
R12211	解析学 II	選	2		2						◎		○						
R12211	代数学	選	2		2						◎								
R12211	幾何学	選	2		2						◎								
R11111	情報系基礎科目 プログラミングへの招待	必	2	2							◎								
R11211	プログラミング I	選	2		2						◎	○							
R12221	データ処理演習	選	2		2						◎	○							
R12211	プログラミング II	選	2		2						◎								
R12221	プログラミング II 演習	選	2		2						◎	○							
R12211	データ構造とアルゴリズム	選	2		2						◎		○						
R12211	応用計量経済学	選	2		2						◎								
R12211	医療経済学	選	2		2						◎		○				○		
R12211	人と組織のマネジメント	選	2		2						◎		○						
R12211	データから見る家族	選	2		2						◎		○						
R12211	疫学統計と生活	選	2		2						◎	○	○						
R12211	データサイエンス実践概論	選	2		2						◎	○	○				○		
R12215	データサイエンス社会実装論	選	2		2						○	○	○				◎		
R13213	社会ソリューション発展科目 教育・労働経済学	選	2		2						○		◎						
R13213	公的統計	選	2		2								◎						
R13213	計量経済分析	選	2		2								◎						
R13213	イノベーション論	選	2		2								◎						
R13213	戦略的人的資源管理論	選	2		2						○		◎						
R13213	マーケティング	選	2		2								◎						
R13213	現代ビジネスと金融	選	2		2								◎						
R13213	社会調査法	選	2		2								◎						
R13213	行動経済学	選	2		2								◎						
R13213	データサイエンティストのキャリア論	選	2		2						○		◎						
R13213	マーケティングデータ分析	選	2		2						○		◎						
R13213	公共経営	選	2		2								◎						
R13213	コーポレート・ファイナンス	選	2		2								◎						
R13213	調査設計論	選	2		2								◎						
R12211	数理・統計系発展科目 生存時間解析	選	2		2						◎	○	○						
R12211	回帰分析	選	2		2						◎								
R12211	多変量解析 II	選	2		2						◎		○						
R12211	実験計画法	選	2		2						◎		○						
R12211	文化計量学	選	2		2						◎								
R13213	時系列解析	選	2		2								◎						
R13213	計算機統計学	選	2		2						○		◎						
R13213	最適化理論	選	2		2								◎						
R13213	医療統計	選	2		2						○		◎						
R13213	空間統計学	選	2		2						○	○	◎						
R13213	心理分析	選	2		2							○	○	◎					
R13213	行列モデリング	選	2		2						○	○	◎						

ナンバリング	科目名	必選の別	単位数	開講学期と単位数								カリキュラムマップ							備考			
				1回生		2回生		3回生		4回生		理解・	技能・	汎用的	判断・	思考・	対話・	相互理解		自律性・	社会性・	自立性
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
R12211	AI・機械学習 I	選	2				2							◎							AI・機械学習 IとAI・機械学習 I 演習は同時履修が望ましい。 AI・機械学習 IIとAI・機械学習 II 演習は同時履修が望ましい。 専門発展科目 「社会ソリューション発展科目」、 「数理・統計系発展科目」 「情報系発展科目」 のいずれかの領域から8科目16単位以上修得すること。	
R12221	AI・機械学習 I 演習	選	2				2							◎	○							
R12211	シミュレーション	選	2				2							◎								
R13213	AI・機械学習 II	選	2						2					○			◎					
R13223	AI・機械学習 II 演習	選	2						2					○	○		◎					
R13213	マルチメディア処理	選	2						2								◎					
R13213	データベース	選	2						2					○	○		◎					
R13213	情報ネットワーク	選	2						2								◎					
R13213	バイオインフォマティクス	選	2						2					○			◎					
R13213	数値解析	選	2						2					○			◎					
R13213	画像処理	選	2						2					○	○		◎					
R13213	シミュレーションと宇宙	選	2						2					○			◎					
R13213	自然言語処理	選	2						2					○			◎					
R13213	ソフトウェア設計	選	2						2								◎					
R13213	Webプログラミング	選	2						2								◎					
R13213	情報倫理・情報社会	選	2						2								◎					
R12211	数学科教育法1	選	2			2								◎	○							
R12211	数学科教育法2	選	2				2							◎	○							
R13216	数学科教育法3	選	2					2						○			○		◎			
R13216	数学科教育法4	選	2						2					○			○		◎			
R12211	情報科教育法1	選	2			2								◎	○							
R12216	情報科教育法2	選	2				2							○			○		◎			
R11125	入門演習 I	必	2	2										○	○				◎			
R11124	入門演習 II	必	2		2									○	○			◎				
R12122	データサイエンス基礎演習 I	必	2			2									◎	○	○					
R12122	データサイエンス基礎演習 II	必	2				2								◎	○	○					
R13123	データサイエンス実践演習 I	必	2					2						○	○		◎					
R13123	データサイエンス実践演習 II	必	2						2					○	○		◎					
R14126	データサイエンス上級実践演習 I	必	2							2				○	○	○				◎		
R14126	データサイエンス上級実践演習 II	必	2								2			○	○	○				◎		
R14156	卒業研究	必	4									4		○	○	○		○		◎		

履修科目チェックシート

履修チェックシートは、卒業要件を満たすために必要な科目や単位数の修得状況を各自でチェックするためのものです。

P.16 以降の履修科目表をよく確認したうえで、実際に修得した科目をチェックシートに記入して4年間で卒業要件を満たすように履修計画を立ててください。

全学部共通の建学科目群・共通科目群については P.68 のチェックシートを、各学科専門科目群については P.69～P.78 のチェックシートを利用してください。

■大学共通科目(建学科目群・共通科目群)		… P.68
■専門科目群		
文学部	国文学科	… P.69
	英語文化コミュニケーション学科	… P.70
	史学科	… P.71
発達教育学部	教育学科	… P.72
心理共生学部	心理共生学科	… P.73
家政学部	食物栄養学科	… P.74
	生活造形学科	… P.75
現代社会学部	現代社会学科	… P.76
法学部	法学科	… P.77
データサイエンス学部	データサイエンス学科	… P.78

※各科目の履修条件等については、必ずP.16～P.21の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.16～P.21の履修科目表を確認してください。

①「建学科目群」必修科目(合計8単位)

※すべて必修

① 仏教学(合計8単位)

仏教学ⅠA	2	<input type="checkbox"/>	仏教学ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
仏教学ⅠB	2	<input type="checkbox"/>	仏教学ⅡB	2	<input type="checkbox"/>

②～⑤「共通科目群」必修科目 及び 選択必修科目(②～⑤合計22単位)

※22単位を超えて修得した単位は⑥へ

② 言語コミュニケーション科目(合計8単位)

英語ⅠA1	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠA1	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠA2	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠA2	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠB1	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠB1	1	<input type="checkbox"/>
英語ⅠB2	1	<input type="checkbox"/>	語ⅠB2	1	<input type="checkbox"/>

③ 情報基盤科目(合計4単位)

情報リテラシー	2	<input type="checkbox"/>	データ・AIリテラシー	2	<input type="checkbox"/>
---------	---	--------------------------	-------------	---	--------------------------

④ 健康科学科目(合計2単位)

運動と健康科学	2	<input type="checkbox"/>
---------	---	--------------------------

⑤ ジェンダー科目、連携活動科目、国際理解科目、教養科目、オープン科目より自由に選択(合計8単位)

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

⑥ その他の選択科目 (合計30単位)

②～⑤の必要単位数を超えて修得した科目 及び 学科専門科目の必要単位数(72単位)を超えて修得した科目

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

①～⑥ 合計 _____ 単位 / 60単位

国文学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.29～P.31の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.29～P.31の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計26単位)

国文学基礎講座A	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習A	2	<input type="checkbox"/>
国文学基礎講座B	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習B	2	<input type="checkbox"/>
国語学概説A	2	<input type="checkbox"/>	演習ⅡA	2	<input type="checkbox"/>
国語学概説B	2	<input type="checkbox"/>	演習ⅡB	2	<input type="checkbox"/>
入門演習A	2	<input type="checkbox"/>	卒業論文	6	<input type="checkbox"/>
入門演習B	2	<input type="checkbox"/>			

②「国文学史1A」「国文学史1B」「国文学史2A」「国文学史2B」「国語史A」「国語史B」より4科目8単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

③「講読〇〇」より10科目20単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

④「演習Ⅰ〇(〇〇)」より4科目8単位修得

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤「国文学特殊講義〇〇」、「国語学特殊講義〇〇」、「日本文化特殊講義〇」より4科目8単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他「国文学科専門科目」及び「文学部共通専門科目」より自由に選択(2単位以上) ※2単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>
-------	---	--------------------------

①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

史学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.35～P.38の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.35～P.38の履修科目表を確認してください。

①全コース 必修科目(合計22単位)					
史学基礎演習A	2	<input type="checkbox"/>	東洋史概論A	2	<input type="checkbox"/>
史学基礎演習B	2	<input type="checkbox"/>	東洋史概論B	2	<input type="checkbox"/>
日本史概論A	2	<input type="checkbox"/>	西洋史概論A	2	<input type="checkbox"/>
日本史概論B	2	<input type="checkbox"/>	西洋史概論B	2	<input type="checkbox"/>
卒業論文	6	<input type="checkbox"/>			

日本史コース

②日本史コースは必修(合計20単位)

日本史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
日本史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習 I A	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習 I B	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習 II A	2	<input type="checkbox"/>
日本史演習 II B	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読 I A	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読 I B	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読 II A	2	<input type="checkbox"/>
日本史講読 II B	2	<input type="checkbox"/>

③P.35の「日本史コースの履修者は、この枠内の科目と、～」に記載のとおり、16単位以上修得

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

④その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③の超過分の修得単位は④へ

東洋史コース

②東洋史コースは必修(合計12単位)

東洋史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
東洋史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習 I A	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習 I B	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習 II A	2	<input type="checkbox"/>
東洋史演習 II B	2	<input type="checkbox"/>

③東洋史講読 I A・I Bまたは史学外書講読 I A・I Bより4単位以上修得

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

④東洋史講読 II A・II B、ⅢA・ⅢB、ⅣA・ⅣB、または史学外書講読 II A・II Bより4単位以上修得

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤東洋史・日本史・西洋史の特殊講義科目より16単位以上修得(その他の条件についてはP.36を確認すること。)

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③～⑤の超過分の修得単位は⑥へ

西洋史コース

②西洋史コースは必修(合計16単位)

西洋史入門演習A	2	<input type="checkbox"/>
西洋史入門演習B	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習 I A	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習 I B	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習 II A	2	<input type="checkbox"/>
西洋史演習 II B	2	<input type="checkbox"/>
西洋史講読 I A	2	<input type="checkbox"/>
西洋史講読 I B	2	<input type="checkbox"/>

③西洋史講読 II A・II B、ⅢA・ⅢBより4単位以上修得

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

④西洋史・日本史・東洋史の特殊講義科目より16単位以上修得(その他の条件についてはP.36を確認すること。)

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤その他 専門科目より自由に選択(14単位以上修得)

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

↑③④の超過分の修得単位は⑤へ

↓
①～④の合計 _____ 単位 / 72単位

↓
①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

↓
①～⑤の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>

心理共生学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.46～P.48の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.46～P.48の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計38単位)

心理共生入門	2	<input type="checkbox"/>	入門演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
心理学と心理的支援	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
心理学概論	2	<input type="checkbox"/>	基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
臨床心理学概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
ソーシャルワーク概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
社会福祉原論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>
学校保健概論	2	<input type="checkbox"/>	心理共生演習Ⅳ	2	<input type="checkbox"/>
臨床医学概論	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>
入門演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			

②その他 専門科目より自由に選択 (合計34単位以上) ※34単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

①②の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

食物栄養学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.50～P.51の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.50～P.51の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計48単位)

基礎の生物学	2	<input type="checkbox"/>	食品学各論	2	<input type="checkbox"/>
基礎の有機化学	2	<input type="checkbox"/>	基礎栄養学	2	<input type="checkbox"/>
基礎の化学	2	<input type="checkbox"/>	食品衛生学	2	<input type="checkbox"/>
食物栄養基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	食品学実験	2	<input type="checkbox"/>
基礎調理学	2	<input type="checkbox"/>	生化学実験	1	<input type="checkbox"/>
解剖生理学	2	<input type="checkbox"/>	食品衛生学実験	1	<input type="checkbox"/>
調理学実習Ⅰ	1	<input type="checkbox"/>	公衆衛生学	2	<input type="checkbox"/>
食物栄養の化学	2	<input type="checkbox"/>	生理学実験	1	<input type="checkbox"/>
生化学	2	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
科学英語A	2	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
基礎実験	1	<input type="checkbox"/>	食物栄養研究法Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>
調理学実習Ⅱ	1	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>
食品学総論	2	<input type="checkbox"/>			

②系列科目(「臨床栄養系列」、「健康教育系列」、「研究開発系列」のいずれか一つの系列より2科目4単位修得)

選択系列名: _____ 系列

_____ 2

_____ 2

③その他 専門科目より自由に選択 (合計20単位以上) ※20単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

①～③の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の
選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>
_____ () <input type="checkbox"/>	_____ () <input type="checkbox"/>

2024年度入学生用

生活造形学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.52～P.54の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.52～P.54の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計20単位)

生活造形基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学専門演習	2	<input type="checkbox"/>
生活デザインベーシック	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学卒業研究演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
衣生活概論	2	<input type="checkbox"/>	生活造形学卒業研究演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
建築一般構造	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	6	<input type="checkbox"/>

②その他 専門科目より自由に選択 (合計52単位以上) ※52単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①②の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

現代社会学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.56～P.58の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.56～P.58の履修科目表を確認してください。

①導入科目(すべて必修:合計6単位)

現代社会入門Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	ジェンダーと現代社会	2	<input type="checkbox"/>
現代社会入門Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			

②演習科目 及び 卒業論文(すべて必修:合計20単位)

基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅳ	2	<input type="checkbox"/>
基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅴ	2	<input type="checkbox"/>
演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	演習Ⅵ	2	<input type="checkbox"/>
演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	卒業論文	4	<input type="checkbox"/>
演習Ⅲ	2	<input type="checkbox"/>			

③アプローチ科目(合計5科目10単位以上)

※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

④スキル科目(合計4科目8単位以上)

※超過分の修得単位は⑥へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑤コース科目(いずれか一つのコース科目より10科目20単位以上修得)

※超過分の修得単位は⑥へ

選択コース名: _____ コース

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑥その他 専門科目から自由に選択(合計8単位以上)

※8単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～⑥の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

法学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.60～P.62の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.60～P.62の履修科目表を確認してください。

①必修科目(合計28単位)

導入演習	2	<input type="checkbox"/>	専門入門演習 I	2	<input type="checkbox"/>
憲法 I A(人権)	2	<input type="checkbox"/>	専門入門演習 II	2	<input type="checkbox"/>
民法 I A(総則)	2	<input type="checkbox"/>	事例演習 I	2	<input type="checkbox"/>
企業法総論	2	<input type="checkbox"/>	事例演習 II	2	<input type="checkbox"/>
刑法 I A(総論)	2	<input type="checkbox"/>	専門演習 I	2	<input type="checkbox"/>
ジェンダー法 I	2	<input type="checkbox"/>	専門演習 II	2	<input type="checkbox"/>
基礎演習	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	2	<input type="checkbox"/>

②女性のための法学科目(「ジェンダー法 I」を除く選択科目より合計6単位以上修得) ※超過分の修得単位は③へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

③その他 専門科目から自由に選択(合計38単位以上) ※38単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～③の合計 _____ 単位 / 72 単位

72単位を超えて修得した専門科目 ……修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

2024年度入学生用

データサイエンス学科 専門科目(合計72単位の内訳)

※各科目の履修条件等については、必ずP.64～P.65の履修科目表「備考欄」の記載内容を確認してください。
また、開講学期(前期・後期)についてもP.64～P.65の履修科目表を確認してください。

※以下の選択科目を履修する場合は、2科目同時に履修することが望ましいです。

- ◇「解析学Ⅰ」と「解析学Ⅰ 演習」
- ◇「線形代数学」と「線形代数学 演習」
- ◇「プログラミングⅡ」と「プログラミングⅡ 演習」
- ◇「AI・機械学習Ⅰ」と「AI・機械学習Ⅰ 演習」
- ◇「AI・機械学習Ⅱ」と「AI・機械学習Ⅱ 演習」

①専門基礎科目 必修科目(合計8単位)

価値創造への招待	2	<input type="checkbox"/>	確率・統計への招待	2	<input type="checkbox"/>
数学への招待	2	<input type="checkbox"/>	プログラミングへの招待	2	<input type="checkbox"/>

②演習科目 及び 卒業研究(すべて必修:合計20単位)

入門演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス実践演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
入門演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス上級実践演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>
データサイエンス基礎演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	データサイエンス上級実践演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>
データサイエンス基礎演習Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	卒業研究	4	<input type="checkbox"/>
データサイエンス実践演習Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			

③社会ソリューション基礎科目より3科目6単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

④数理・統計系基礎科目より3科目6単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>			

⑤情報系基礎科目より2科目4単位以上修得(必修科目を除く) ※超過分の修得単位は⑦へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
-------	---	--------------------------	-------	---	--------------------------

⑥「社会ソリューション発展科目」、「数理・統計系発展科目」、「情報系発展科目」のいずれかの領域より8科目16単位以上修得 ※超過分の修得単位は⑦へ

選択領域名: _____ 発展科目

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

⑦その他 専門科目より自由に選択(合計12単位以上)

※12単位を超えて修得した単位は「72単位を超えて修得した専門科目」へ

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

①～⑦の合計 _____ 単位 / 72単位

72単位を超えて修得した専門科目

…修得した単位数はP.68の大学共通科目「⑥その他の選択科目(合計30単位)」にカウントできます。

_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>
_____	2	<input type="checkbox"/>	_____	2	<input type="checkbox"/>

Ⅲ. 免許・諸資格

目 次

教職課程

【学科別 取得可能免許一覧】	P.81
教員免許の取得にあたって	P.82
教員免許 科目履修表	P.83

諸資格

【学科別 取得可能諸資格一覧】	P.109
諸資格 科目履修表	P.110

教職課程

[学科別 取得可能免許一覧]

学科ごとに、取得可能な免許に「●」を付しています。

学科 教員免許の種類	国文学科	英語文化コミュニケーション学科	史学科	教育学科	心理共生学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科	データサイエンス学科
中学校(国語)	● P.83									
中学校(外国語「英語」)		● P.85								
中学校(社会)			● P.87					● P.102	● P.104	
中学校(保健)					● P.94					
中学校(音楽)				● P.92						
中学校(家庭)						● P.97	● P.100			
中学校(数学)										● P.106
高等学校(国語)	● P.84									
高等学校(外国語「英語」)		● P.86								
高等学校(地理歴史)			● P.88							
高等学校(公民)								● P.103	● P.105	
高等学校(保健)					● P.95					
高等学校(音楽)				● P.93						
高等学校(家庭)						● P.98	● P.101			
高等学校(数学)										● P.107
高等学校(情報)										● P.108
幼稚園				● P.89						
小学校				● P.90						
特別支援学校				● P.91						
養護教諭					● P.96					
栄養教諭						● P.99				

教員免許の取得にあたって

1. 教職課程と教育職員免許状について

教員として働くためには、「**教育職員免許状**」（以下「免許状」）を取得することが必要です。免許状は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・栄養教諭・養護教諭など、学校種・免許種ごと（さらに中学校・高等学校は教科別）に分かれています。

免許状を取得するためには、教職課程のある大学等において、所定の単位を修得する必要があります。大学を卒業し、免許状取得の所要資格を得た後、各都道府県の教育委員会へ申請手続きを行うことで、免許状が授与されます。

但し、本学で取得できる免許状は、履修要項第 56 条に規定のとおり、所属する学科によって異なります。

2. 『教職課程ハンドブック』の配布について

『教職課程ハンドブック』とは、教職課程（免許状を取得するための課程）の概要や履修方法、各種手続き方法等をまとめたものです。2 回生時に開催する「**教職課程履修ガイダンス**」にて配布します。配布対象の学生は、後述の「教職課程履修費」を納入した学生となります。

3. 教職課程履修費について

履修要項第 57 条に規定のとおり、教職課程を履修する者は「**教職課程履修費**」の納入が必要となります。2 回生時より毎年 13,000 円（合計 39,000 円）を納入してください。

納入期間等の詳細については、1 回生終了時に「京女ポータル」にてお知らせします。

4. 教職課程履修制限について

養成する教員の「質」を社会に対して保証するため、履修要項第 55 条第 1 項に規定のとおり、成績（累積 GPA）による履修制限を設けています。

また、履修要項第 55 条第 2 項に規定のとおり、免許の種類や教科によって、履修制限を設けています。現時点では、**中学校教諭一種免許状（外国語「英語」）、高等学校教諭一種免許状（外国語「英語」）**が該当し、本学で受験可能な英語検定試験に基づく履修制限を設けています。

5. 教職課程の履修辞退について

教職課程の履修を辞退する場合は、手続きが必要です。必ず教務課に申し出てください。

※ 教職課程の履修について

「新入生用 教職課程ガイダンス」及び「教職課程に関するスケジュール」（京女ポータルリンク集「履修支援」に掲載）を必ず確認してください。

中学校教諭一種免許状 国語

(国文学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳及び総合的な学習の指導、生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	10		
開教する実科践目に	教育実習	教育実習	2
	教育実習	中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
5			
2			
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A 1	1
	英語 I A 2	1
	英語 I B 1	1
	英語 I B 2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○国語学概説 A (音声言語及び文章表現を含む)	2	
		○国語学概説 B	2	
		国語史 A	2	
		国語史 B	2	
		講読国語学 A	2	
		講読国語学 B	2	
		国語学特殊講義 1 A	2	
		国語学特殊講義 1 B	2	
		国語学特殊講義 2 A	2	
		国語学特殊講義 2 B	2	
		国文学 (国文学史を含む。)	○国文学史 1 A	2
			国文学史 1 B	2
			国文学史 2 A	2
			国文学史 2 B	2
	講読上代 A		2	
	講読上代 B		2	
	講読中古 A		2	
	講読中古 B		2	
	講読中世 A		2	
	講読中世 B		2	
	講読近世 A		2	
	講読近世 B		2	
	講読近代 A		2	
	講読近代 B		2	
	国文学特殊講義 1 A	2		
	国文学特殊講義 1 B	2		
	国文学特殊講義 2 A	2		
	国文学特殊講義 2 B	2		
国文学特殊講義 3 A	2			
国文学特殊講義 3 B	2			
国文学特殊講義 4 A	2			
国文学特殊講義 4 B	2			
国文学特殊講義 5 A	2			
国文学特殊講義 5 B	2			
国文学特殊講義 6 A	2			
国文学特殊講義 6 B	2			
漢文学	講読漢文 A	2		
	講読漢文 B	2		
書道 (書写を中心とする。)	○漢文学 A	2		
	漢文学 B	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○書道 A (書写を中心とする)	2		
	書道 B	2		
	○国語科教育法 1	2		
	○国語科教育法 2	2		
法定単位数 (合計28単位)	○国語科教育法 3	2		
	○国語科教育方法論 (小中)	2		
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2		

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、及び総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
8			
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学が定める独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○国語学概説A(音声言語及び文章表現を含む)	2	
		○国語学概説B	2	
		国語史A	2	
		国語史B	2	
		講読国語学A	2	
		講読国語学B	2	
		国語学特殊講義1A	2	
		国語学特殊講義1B	2	
		国語学特殊講義2A	2	
		国語学特殊講義2B	2	
		国文学(国文学史を含む。)	○国文学史1A	2
			国文学史1B	2
	国文学史2A		2	
	国文学史2B		2	
	講読上代A		2	
	講読上代B		2	
	講読中古A		2	
	講読中古B		2	
	講読中世A		2	
	講読中世B		2	
	講読近世A		2	
	講読近世B		2	
	講読近代A	2		
	講読近代B	2		
国文学特殊講義1A	2			
国文学特殊講義1B	2			
国文学特殊講義2A	2			
国文学特殊講義2B	2			
国文学特殊講義3A	2			
国文学特殊講義3B	2			
国文学特殊講義4A	2			
国文学特殊講義4B	2			
国文学特殊講義5A	2			
国文学特殊講義5B	2			
国文学特殊講義6A	2			
国文学特殊講義6B	2			
漢文学	講読漢文A	2		
	講読漢文B	2		
	○漢文学A	2		
	漢文学B	2		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○国語科教育法1	2		
	国語科教育法2	2		
	○国語科教育法3	2		
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2		

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

中学校教諭一種免許状 外国語「英語」（英語文化コミュニケーション学科）2024

教育の基礎的理解に関する科目等（すべて必修）

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2
指導法及び総合的な学習の時間に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法）	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（生徒指導と教育相談）	2
教育に関する実践科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2
	教育実習	教育実習論 教育実習 中学校教育実習	1 2 2
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2
法定単位数（合計27単位）		すべて必修（合計28単位）※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○英語学基礎講義	2
		○英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
	英語文学	○イギリス文学基礎講義	2
		○アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究1	2
		英米文学研究2	2
	英語コミュニケーション	英米文学研究3	2
		英米文学研究4	2
		○Oral Communication I	1
異文化理解	○Oral Communication II	1	
	○Reading & Writing	1	
	Speech & Presentation	2	
	○異文化理解基礎講義	2	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語圏研究1	2	
	英語圏研究2	2	
	英語圏研究3	2	
	○英語科教育法1	2	
	○英語科教育法2	2	
法定単位数（合計28単位）	○英語科教育法3		2
	○外国語科教育方法論（小中）		2
法定単位数（合計28単位）		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数（27単位）を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数（28単位）を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（すべて必修）

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

高等学校教諭一種免許状 外国語「英語」（英語文化コミュニケーション学科）2024

教育の基礎的理解に関する科目等（すべて必修）

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	3		
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2
法定単位数（合計23単位）		すべて必修（合計24単位）※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学基礎講義	2
		○ 英語音声学	2
		英語文法語法研究	2
		英語学研究	2
		認知言語学	2
	言語科学	2	
	英語文学	○ イギリス文学基礎講義	2
		○ アメリカ文学基礎講義	2
		英米文学研究1	2
		英米文学研究2	2
	英語コミュニケーション	○ Oral Communication I	1
		○ Oral Communication II	1
○ Reading & Writing		1	
Speech & Presentation		2	
異文化理解	○ 異文化理解基礎講義	2	
	英語圏研究1	2	
	英語圏研究2	2	
		英語圏研究3	2
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○ 英語科教育法1	2	
	英語科教育法2	2	
	英語科教育法3	2	
法定単位数（合計24単位）		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○ 人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数（23単位）を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数（24単位）を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（すべて必修）

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法及び総合的な学習の指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	10		
関する教育実践に	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		
	教育実習	教育実習論	1
	5		
教育実践に	教育実習	教育実習	2
	2		
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
設大定学が独自に	○人権教育論 1
法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」	※2
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー 2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論A	2
		○ 日本史概論B	2
		○ 東洋史概論A	2
		○ 東洋史概論B	2
		○ 西洋史概論A	2
		○ 西洋史概論B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
		日本史特殊講義 9	2
		日本史特殊講義 10	2
		東洋史特殊講義 1	2
		東洋史特殊講義 2	2
		東洋史特殊講義 3	2
		東洋史特殊講義 4	2
		東洋史特殊講義 5	2
		東洋史特殊講義 6	2
		東洋史特殊講義 7	2
		東洋史特殊講義 8	2
		西洋史特殊講義 1	2
		西洋史特殊講義 2	2
		西洋史特殊講義 3	2
		西洋史特殊講義 4	2
		西洋史特殊講義 5	2
		西洋史特殊講義 6	2
		西洋史特殊講義 7	2
		西洋史特殊講義 8	2
地理学(地誌を含む。)	歴史地理学概論	2	
	○ 人文地理学概論	2	
	○ 地誌	2	
「法律学、政治学」	○ 自然地理学	2	
	○ 法律学研究	2	
「社会学、経済学」	○ 経済学研究	2	
	△ 哲学研究	2	
「哲学、倫理学、宗教学」	△ 宗教学研究	2	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法(地理歴史分野)	2
○ 社会科教育法(公民分野)		2	
○ 地理歴史科教育法		2	
○ 公民科教育法		2	
法定単位数(合計28単位)		<ul style="list-style-type: none"> ・ ○印を付した科目は必修。 ・ △印を付した「哲学研究」、「宗教学研究」の2科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・ 合計32単位以上修得すること。 ※2 	

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習論	1	
教育実習			
関する実践科目	教育実習	教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位)※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史	○日本史概論A	2
		○日本史概論B	2
		日本史特殊講義 1	2
		日本史特殊講義 2	2
		日本史特殊講義 3	2
		日本史特殊講義 4	2
		日本史特殊講義 5	2
		日本史特殊講義 6	2
		日本史特殊講義 7	2
		日本史特殊講義 8	2
	日本史特殊講義 9	2	
	日本史特殊講義 10	2	
	外国史	○東洋史概論A	2
		○東洋史概論B	2
		東洋史特殊講義 1	2
		東洋史特殊講義 2	2
		東洋史特殊講義 3	2
		東洋史特殊講義 4	2
		東洋史特殊講義 5	2
		東洋史特殊講義 6	2
東洋史特殊講義 7		2	
東洋史特殊講義 8		2	
○西洋史概論A	2		
○西洋史概論B	2		
西洋史特殊講義 1	2		
西洋史特殊講義 2	2		
西洋史特殊講義 3	2		
西洋史特殊講義 4	2		
西洋史特殊講義 5	2		
西洋史特殊講義 6	2		
西洋史特殊講義 7	2		
西洋史特殊講義 8	2		
人文地理学・自然地理学	歴史地理学概論	2	
	○人文地理学概論	2	
	○自然地理学	2	
地誌	○地誌	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○社会科教育法(地理歴史分野)	2
		○地理歴史科教育法	2
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

幼稚園教諭一種免許状

(教育学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	保育・幼児教育課程論	2
生涯時間等に関する教育指導科目指法及びに	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	幼児理解の理論及び方法	子ども理解と教育相談	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
関教育する実践科目に	教育実習	教育実習論(幼・小)	2
		教育実習(幼・小)	4
	教職実践演習	保育・教職実践演習	2
法定単位数(合計21単位)		すべて必修(合計23単位)※1	

領域及び保育内容の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1
	人間関係	子どもと人間関係	1
	環境	子どもと環境	1
	言葉	子どもと言葉	1
	表現	子どもと表現	1
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容演習(健康)	2
		保育内容演習(人間関係)	2
		保育内容演習(環境)	2
		保育内容演習(言葉)	2
		保育内容演習(表現)	2
		保育内容総論	1
法定単位数(合計16単位)		すべて必修(合計16単位)	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	児童文化学	2
	子どもの感性と表現	2
	児童文化学実習	2
	児童文化活動論	2
	音楽実技1	2
	乳幼児の健康・運動あそび	2
	乳幼児の科学・造形あそび	2
	多文化教育論	2
	道徳教育論	2
	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	生活科教育内容論	2
	算数科教育内容論	2
	音楽科教育内容論	2
図工科教育内容論	2	
体育科教育内容論	2	
国語科教育内容論	2	
法定単位数(21単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」※1		
○印を付した科目は必修。合計14単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー 2

※1 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

小学校教諭一種免許状 (教育学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	
	10			
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2	
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	
	特別活動の指導法			
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2	
10				
教育実践科目に関する科目	教育実習	教育実習論 (幼・小)	2	
	教職実践演習	教育実習 (幼・小)	4	
	2	教職実践演習	2	
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計29単位) ※1		

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学が定める独自科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (30単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計2単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。
 ※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	国語科教育内容論	2
	社会	社会科教育内容論	2
	算数	算数科教育内容論	2
	理科	理科教育内容論	2
	生活	生活科教育内容論	2
	音楽	音楽科教育内容論	2
	図画工作	図工科教育内容論	2
	家庭	家庭科教育内容論	2
	体育	体育科教育内容論	2
	外国語	外国語科教育内容論	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)	○国語科教育方法論 (小中)	2
	社会	○社会科教育方法論	2
	算数	○算数科教育方法論	2
	理科	○理科教育方法論	2
	生活	○生活科教育方法論	2
	音楽	○音楽科教育方法論 (小中)	2
	図画工作	○図工科教育方法論	2
	家庭	○家庭科教育方法論	2
	体育	○体育科教育方法論	2
	外国語	○外国語科教育方法論 (小中)	2
法定単位数 (合計30単位)		○印を付した科目は必修。選択必修の条件を満たし、合計30単位以上修得すること。 ※2	

特別支援学校教諭一種免許状 (教育学科) 2024

(知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	本学規定科目及び単位数		備考
		授業科目	単位数	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	○特別支援教育総論	2	
		インクルーシブ教育論	2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害者の心理・生理・病理	2	これら3科目より、2科目4単位以上修得すること。
		○肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
		○病弱者の心理・生理・病理	2	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害教育論	2	
		○肢体不自由教育論	2	
		○病弱教育論	2	
		知的障害者の発達と教育	2	
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	肢体不自由者の発達と教育	2		
	病弱者の発達と教育	2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目			
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○重複障害者教育総論	1	
		○発達障害者教育総論	2	
		○視覚障害者教育総論	1	
		○聴覚障害者教育総論	1	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	○特別支援学校教育実習論	1	
		○特別支援学校教育実習	2	
法定単位数 (合計26単位)		○印を付した科目は必修。 選択必修の条件を満たし、合計26単位以上修得すること。		

○特別支援学校教諭免許状取得にあたっては、基礎となる教諭の免許状を取得すること。

中学校教諭一種免許状 音楽

(教育学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導道徳及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
関係する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習 中学校教育実習	1 2 2
	教職実践演習	教職実践演習	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	ソルフェージュ	2
	声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声乐基礎 (日本の伝統的な歌唱を含む)	2
		合唱	2
	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	器楽基礎 (伴奏並びに和楽器を含む)	2
		合奏	2
	指揮法	指揮法	2
	音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。) ・音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	作曲法 (編曲法を含む)	2
		音楽理論2	2
		音楽史1 (西洋)	2
		音楽史2 (日本及び民族) (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	音楽科教育法1	2	
	音楽科教育法2	2	
	音楽科教育法3	2	
	音楽科教育方法論 (小中)	2	
法定単位数 (合計28単位)		すべて必修 (合計28単位)	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
大学が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	音楽理論1	2
	音楽理論3	2
	音楽理論4	2
	声乐実技 I	1
	声乐実技 II	1
	ピアノ実技 I	1
	ピアノ実技 II	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
設大学が定める独自科目	○人権教育論		1
	道徳教育論		2
	音楽理論1		2
	音楽理論3		2
	音楽理論4		2
	声楽実技 I		1
	声楽実技 II		1
	ピアノ実技 I		1
	ピアノ実技 II		1
	和楽器実技 I		1
法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1			
法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2			
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。			

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分		本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法		2
体育	運動と健康科学		2
	スポーツ実践		1
外国語コミュニケーション	英語 I A1		1
	英語 I A2		1
	英語 I B1		1
	英語 I B2		1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー		2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	○ ソルフェージュ	2
		○ 声楽基礎(日本の伝統的な歌唱を含む)	2
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	○ 合唱	2
		○ 器楽基礎(伴奏並びに和楽器を含む)	2
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	○ 合奏	2
		○ 指揮法	2
	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	○ 音楽理論2	2
		○ 作曲法(編曲法を含む)	2
		○ 音楽史 1(西洋)	2
		○ 音楽文化特論 1(西洋)	2
○ 音楽史 2(日本及び民族)(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む)		2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 音楽科教育法 1	2	
	○ 音楽科教育法 2	2	
	○ 音楽科教育法 3	2	
法定単位数(合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	10		
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	生理学・栄養学	解剖生理学	2
		人体生理学	2
		栄養学	2
	衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2
		衛生学	2
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	臨床医学概論	2
		学校保健	2
		精神保健Ⅰ	2
		精神保健Ⅱ	2
		救急処置及び看護法	2
		小児保健	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		保健科教育法1	2
		保健科教育法2	2
		保健科教育法3	2
		保健科教育法4	2
法定単位数(合計28単位)		すべて必修(合計30単位) ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探求の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
8			
関教育の実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位)※1	

教科及び教科の指導法に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	解剖生理学	2
		人体生理学	2
		微生物学	2
		栄養学	2
	衛生学・公衆衛生学	公衆衛生学	2
		衛生学	2
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	臨床医学概論	2
		学校保健	2
		精神保健Ⅰ	2
		精神保健Ⅱ	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	救急処置及び看護法	2	
	小児保健	2	
	保健科教育法1	2	
	保健科教育法2	2	
		保健科教育法3	2
		保健科教育法4	2
法定単位数(合計24単位)		すべて必修(合計32単位)※2	

大学が独自に設定する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大学が独自に	人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」※2	
すべて必修。合計12単位修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語ⅠA1	1
	英語ⅠA2	1
	英語ⅠB1	1
	英語ⅠB2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

養護教諭一種免許状

(心理共生学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指道徳、方法及び総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2
	教育の方法及び技術	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
関教する実践科目	養護実習	養護教育実習論	2
	教職実践演習	養護教育実習	4
		教職実践演習 (養護教諭)	2
法定単位数 (合計21単位)		すべて必修 (合計27単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
設大定学する独自の科目	○人権教育論 1
	法定単位数 (21単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「養護に関する科目」 ※2
○印を付した科目は必修。合計7単位以上修得すること。	

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数
日本国憲法	日本国憲法 2
体育	運動と健康科学 2
	スポーツ実践 1
外国語コミュニケーション	英語 I A1 1
	英語 I A2 1
	英語 I B1 1
	英語 I B2 1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー 2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

養護に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	○ 公衆衛生学 ○ 衛生学	2 2
	学校保健	○ 学校保健 小児保健	2 2
	養護概説	○ 養護概説	2
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	○ 健康相談活動論	2
	栄養学 (食品学を含む。)	○ 栄養学	2
	解剖学・生理学	○ 解剖生理学 人体生理学	2 2
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	△ 微生物学 △ 免疫学 △ 薬理概論	2 2 2
	精神保健	○ 精神保健 I 精神保健 II	2 2
	看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	○ 臨床医学概論	2
		○ 看護学 I	2
		○ 看護学 II	2
		○ 救急処置及び看護法	2
		○ 看護技術 I	2
		○ 看護技術 II	2
	○ 看護臨床実習指導	1	
	○ 看護臨床実習	1	
法定単位数 (合計28単位)		<ul style="list-style-type: none"> ・ ○印を付した科目は必修。 ・ △印を付した「微生物学」、「免疫学」、「薬理概論」の3科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・ 合計32単位以上修得すること。 ※2 	

中学校教諭一種免許状 家庭

(食物栄養学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
	被服学 (被服実習を含む。)	○ 被服学概論 ○ 衣服実習	2 2
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学	2
		分子栄養学	2
		食品学総論	2
		食品衛生学実験	1
		食品学実験	2
		食品加工学実習	1
		基礎調理学	2
	住居学	○ 住居学概論	2
保育学		○ 保育学	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		○ 家庭科教育法 1 ○ 家庭科教育法 2 ○ 家庭科教育法 3 ○ 家庭科教育法 4	2 2 2 2
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計33単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○ 人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
8			
関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2	
	被服学 (被服実習を含む。)	○ 被服学概論 ○ 衣服実習	2 2	
	食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	臨床栄養学		2
		○ 分子栄養学		2
		○ 食品学総論		2
		○ 食品衛生学実験		1
		○ 食品学実験		2
		食品加工学実習		1
		○ 基礎調理学		2
	住居学	○ 住居学概論		2
保育学		○ 保育学	2	
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 家庭科教育法 1	2
	家庭科教育法 2		2	
○ 家庭科教育法 3	2			
家庭科教育法 4	2			
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計29単位以上修得すること。 ※2		

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○ 人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

栄養教諭一種免許状

(食物栄養学科) 2024

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2
	教育の方法及び技術	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
関連する実践科目	栄養教育実習	栄養教育実習指導	1
	教職実践演習	栄養教育実習	1
		教職実践演習(栄養教諭)	2
法定単位数 (合計18単位)		すべて必修 (合計23単位)	

栄養に係る教育に関する科目 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養指導論	2
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		
	食生活に関する歴史及び文化的事項	学校栄養実践論	2
	食に関する指導の方法に関する事項		
すべて必修。合計4単位修得すること。			

(注) 栄養教諭一種免許状の取得希望者は、諸課程履修科目として開講される「人権教育論」を修得しなければならない。

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	10		
指導法、道徳及び総合的な学習の時間に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	10		
教育の時間相談等に	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	進路指導論	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		
	2		
教育の実践に	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
		中学校教育実習	2
	2	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	2
	被服学(被服実習を含む。)	○衣生活概論	2
		アパレル設計学	2
		アパレル材料学2	2
		○アパレル製作実習	2
		ファッションデザイン学	2
		アパレル造形学	2
	アパレル管理学	2	
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	○食物栄養学概論	2
		○調理実習	2
住居学	○住居学概論	2	
	住宅計画 インテリア計画	2	
保育学	○保育学	2	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○家庭科教育法1 ○家庭科教育法2 ○家庭科教育法3 ○家庭科教育法4	2 2 2 2
法定単位数(合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」	※1
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」	※2
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	○ 家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)	2
		○ 衣生活概論 ○ アパレル設計学 ○ アパレル材料学2 ○ アパレル製作実習 ○ ファッションデザイン学 ○ アパレル造形学 ○ アパレル管理学	2 2 2 2 2 2
	被服学 (被服実習を含む。)	○ 食物栄養学概論	2
		○ 調理実習	2
	住居学	○ 住居学概論 ○ 住宅計画 ○ インテリア計画	2 2 2
		保育学	○ 保育学
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 家庭科教育法 1 ○ 家庭科教育法 2 ○ 家庭科教育法 3 ○ 家庭科教育法 4	2 2 2 2
		法定単位数 (合計24単位)	○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳及び総合的な学習の指導、生徒指導、教育時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	教育の方法及び技術	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	進路指導論	2
	生徒指導の理論及び方法		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
関連する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習 中学校教育実習	1 2 2
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計27単位)		すべて必修(合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学が独自に設定する科目	○人権教育論	1
	法定単位数(27単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(28単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論	2
		○ 東洋史概論	2
		○ 西洋史概論	2
	地理学(地誌を含む。)	歴史地理学概論	2
		○ 人文地理学概論	2
		○ 地誌学概論	2
		○ 自然地理学概論	2
	「法律学、政治学」	○ 法学アプローチ	2
		政治学アプローチ	2
		マイノリティと法	2
現代政治論		2	
国際関係論		2	
国際関係史		2	
○ 国際法		2	
ジェンダーと法		2	
地方自治論		2	
都市政策論		2	
市民活動論	2		
「社会学、経済学」	経済学アプローチ	2	
	国際経済学	2	
	○ 社会学アプローチ	2	
	家族社会学	2	
	文化と社会	2	
	多文化社会論	2	
	ミクロ経済学	2	
	マクロ経済学	2	
	教育経済学	2	
	家族経済論	2	
国際結婚論	2		
環境社会学	2		
社会学史	2		
環境政策論	2		
エネルギーと環境	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	現代宗教論	2	
	生命倫理学	2	
	○ 倫理学	2	
	人間学	2	
	応用倫理学	2	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法(地理歴史分野)	2	
	○ 社会科教育法(公民分野)	2	
	○ 公民科教育法	2	
	○ 地理歴史科教育法	2	
法定単位数(合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳、及び総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導論(生徒指導と教育相談)	2
	生徒指導の理論及び方法	進路指導論	2
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論	1
	教職実践演習	教育実習	2
		教職実践演習(中・高)	2
法定単位数(合計23単位)		すべて必修(合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定する独自科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数(23単位)を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数(24単位)を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学アプローチ	2
		政治学アプローチ	2
		マイノリティと法	2
		現代政治論	2
		国際関係論	2
		国際関係史	2
		○ 国際法	2
		ジェンダーと法	2
		地方自治論	2
		都市政策論	2
		市民活動論	2
「社会学、経済学(国際経済学を含む。)」		経済学アプローチ	2
		国際経済学	2
		○ 社会学アプローチ	2
		家族社会学	2
		文化社会学	2
		多文化社会論	2
		マクロ経済学	2
		教育経済学	2
		家族経済論	2
		国際結婚論	2
		環境社会学	2
		社会学史	2
		環境政策論	2
		エネルギーと環境	2
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		△ 現代宗教論	2
		△ 心理学アプローチ	2
		△ 生命倫理学	2
		△ 倫理学	2
		△ 人間学	2
		△ 応用倫理学	2
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		○ 社会科教育法(公民分野)	2
		○ 公民科教育法	2
法定単位数(合計24単位)		<ul style="list-style-type: none"> ・ ○印を付した科目は必修。 ・ △印を付した「現代宗教論」、「心理学アプローチ」、「生命倫理学」、「倫理学」、「人間学」、「応用倫理学」の6科目のうち、いずれか1科目2単位以上修得すること。 ・ 合計24単位以上修得すること。 ※2 	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法、道徳及び総合的な学習の指導、生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2
	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
開教する実践科目	教育実習	教育実習	2
		中学校教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計27単位)		すべて必修 (合計28単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	法定単位数 (27単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (28単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計4単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法 I A (人権)	2
	憲法 I B (人権)	2
	憲法 II A (統治)	2
	憲法 II B (統治)	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
教理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

○小学校及び中学校の教育職員免許状取得には『介護等体験』が必要です。

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論	2		
		○ 東洋史概論	2		
		○ 西洋史概論	2		
地理学 (地誌を含む。)		歴史地理学概論	2		
		○ 人文地理学概論	2		
		○ 地誌学概論	2		
		○ 自然地理学概論	2		
		○ 法学入門	2		
「法学、政治学」		司法制度入門	2		
		英米法 I	2		
		行政法総論 I	2		
		行政救済法	2		
		民法 I A (総則)	2		
		民法 II (物権)	2		
		民法 V A (債権各論)	2		
		民法 VI A (親族・相続)	2		
		企業法総論	2		
		会社法 I (ガバナンス)	2		
		支払決済法	2		
		商取引法	2		
		保険法	2		
		刑法 I A (総論)	2		
		刑法 II A (各論)	2		
		労働法 I	2		
		社会保障法	2		
		国際法 I A	2		
		国際機構論	2		
		国際私法 I A	2		
		国際関係論	2		
		ジェンダー法 I	2		
		「社会学、経済学」		○ 法社会学	2
				マクロ経済学	2
				ジェンダー法 VI	2
		「哲学、倫理学、宗教学」		国際経済学	2
				現代と仏教 A	2
				生命倫理学	2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		○ 倫理学	2		
		○ 社会科教育法 (地理歴史分野)	2		
		○ 社会科教育法 (公民分野)	2		
		○ 公民科教育法	2		
		○ 地理歴史科教育法	2		
法定単位数 (合計28単位)		○印を付した科目は必修。合計28単位以上修得すること。 ※2			

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
教育に関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設定する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	憲法 I A (人権)	2
	憲法 I B (人権)	2
	憲法 II A (統治)	2
	憲法 II B (統治)	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	「法学 (国際法を含む。)、政治学 (国際政治を含む。)」	○ 法学入門	2
		司法制度入門	2
		英米法 I	2
		行政法総論 I	2
		行政救済法	2
		民法 I A (総則)	2
		民法 II (物権)	2
		民法 V A (債権各論)	2
		民法 VI A (親族・相続)	2
		企業法総論	2
		会社法 I (ガバナンス)	2
		支払決済法	2
		商取引法	2
		保険法	2
		刑法 I A (総論)	2
		刑法 II A (各論)	2
		労働法 I	2
		社会保障法	2
		国際法 I A	2
		国際機構論	2
国際私法 I A	2		
国際関係論	2		
ジェンダー法 I	2		
「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	○ 法社会学	2	
	マクロ経済学	2	
	ジェンダー法 VI	2	
	国際経済学	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	現代と仏教 A	2	
	生命倫理学	2	
	○ 倫理学	2	
	心理学アプローチ	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 社会科教育法 (公民分野)	2	
	○ 公民科教育法	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	2	
関する実践科目	教育実習	教育実習論 教育実習	1 2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学する独自の科目	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
独自の科目	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1	
	法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
代数学	○線形代数学 ○線形代数学演習	数学への招待	2
		代数学	2
幾何学	○幾何学	○幾何学	2
		○解析学 I 解析学 I 演習 解析学 II	2 2 2
解析学	○確率・統計への招待 統計学入門 回帰分析 多変量解析 I 時系列解析 多変量解析 II	○確率・統計への招待	2
		○確率・統計への招待	2
コンピュータ	○プログラミング I ○プログラミング II 演習 プログラミング II データ構造とアルゴリズム	○プログラミング I	2
		○プログラミング II 演習 プログラミング II	2 2
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○数学科教育法 1 数学科教育法 2 ○数学科教育法 3 数学科教育法 4	○数学科教育法 1	2
		数学科教育法 2	2
		○数学科教育法 3	2
		数学科教育法 4	2
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

教育の基礎的理解に関する科目等 (すべて必修)

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2
指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2
	特別活動の指導法		
	教育の方法及び技術	教育方法論	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。)	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論 (生徒指導と教育相談)	2
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	進路指導論	2
関教する実科践目に	教育実習	教育実習論	1
		教育実習	2
	教職実践演習	教職実践演習 (中・高)	2
法定単位数 (合計23単位)		すべて必修 (合計24単位) ※1	

教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		本学規定科目及び単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数
教科に関する専門的事項	情報社会 (職業に関する内容を含む。)・情報倫理	○ 情報倫理・情報社会	2
		○ データサイエンス社会実装論	2
		人と組織のマネジメント データサイエンティストのキャリア論	2
	コンピュータ・情報処理	プログラミングへの招待	2
		○ プログラミング I	2
		プログラミング II 演習	2
		プログラミング II	2
		データ構造とアルゴリズム 数値解析	2
	情報システム	データベース	2
		○ ソフトウェア設計	2
情報通信ネットワーク	Webプログラミング	2	
	○ 情報ネットワーク	2	
マルチメディア表現・マルチメディア技術	○ マルチメディア処理	2	
	画像処理	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○ 情報科教育法 1	2	
	○ 情報科教育法 2	2	
法定単位数 (合計24単位)		○印を付した科目は必修。合計24単位以上修得すること。 ※2	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
設大定学がする独自科目に	○人権教育論	1
	道徳教育論	2
	法定単位数 (23単位) を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目等」 ※1 法定単位数 (24単位) を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ※2	
○印を付した科目は必修。合計12単位以上修得すること。		

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 (すべて必修)

免許法施行規則に定める科目区分	本学規定科目及び単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2
体育	運動と健康科学	2
	スポーツ実践	1
外国語コミュニケーション	英語 I A1	1
	英語 I A2	1
	英語 I B1	1
	英語 I B2	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	情報リテラシー	2

※1 ※2 法定単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に算入する。

諸 資 格

[学科別 取得可能諸資格一覧]

学科ごとに、取得可能な諸資格に「●」を付しています。

資格の種類 \ 学科	国文学科	英語文化コミュニケーション学科	史学科	教育学科	心理共生学科	食物栄養学科	生活造形学科	現代社会学科	法学科	データサイエンス学科	備考	掲載ページ
博物館学芸員	●		●				●	●				110
社会教育主事				●							(※1)	111
保育士				●								112
社会福祉士(受験資格)					●							113
スクールソーシャルワーカー					●						(※2)	114
公認心理師(受験資格)					●						(※3)	115
管理栄養士(受験資格)						●						116
栄養士						●						117
食品衛生管理者・監視員						●						118
1級建築士(受験資格)							●					119
2級・木造建築士(受験資格)							●					119
衣料管理士							●					120
社会調査士								●				121
図書館司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		122
学校図書館司書教諭	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		122
学校司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		123
日本語教師	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		124

(※1)社会教育主事 …社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

(※2)スクールソーシャルワーカー …必修科目の「スクールソーシャルワーク実習」は履修条件があります。その他の履修条件等、詳細はP.114の科目表の※を確認してください。

(※3)公認心理師(受験資格) …公認心理師試験を受験するには実務経験が必要です。大学院に進学することで、実務経験を満たすことができます。

博物館学芸員に関する履修科目表

＜必修科目＞

法定規定科目	本学規定科目及び単位数	回生	備考
生涯学習概論	生涯学習概論	2	1
博物館概論	博物館概論	2	2
博物館資料論	博物館資料論	2	2
博物館経営論	博物館経営論	2	2
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	3
博物館展示論	博物館展示論	2	3
博物館情報・メディア論	博物館情報論	1	2
	視聴覚教育メディア論	1	2
博物館教育論	博物館教育論	2	2
博物館実習	博物館実習Ⅰ	2	3
	博物館実習Ⅱ	2	4

(事前・事後の指導を含む)
「博物館実習Ⅱ」は最終学年の者で、「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報論」「博物館実習Ⅰ」の単位をすでに修得し、かつ、当該年度中に資格に必要な単位のすべてを充足し得る者しか履修できない。

＜選択科目＞ 自分の所属する学科に指定されている科目を履修すること。

本学規定科目及び単位数								
系列	国文学科		史学科		生活造形学科		現代社会学科	
Ⅰ	風俗文化史A	2	日本古文書ⅠA	2	近代日本絵画史	2		
	風俗文化史B	2	日本古文書ⅠB	2	デザインマーケティング論	2		
Ⅱ	日本美術史A	2	日本美術史A	2	京都学	2		
	日本美術史B	2	日本美術史B	2	京都工芸論1	2		
			東洋美術史	2	京都工芸論2	2		
			西洋美術史	2	World Art History 1	2		
				World Art History 2	2			
Ⅲ	民俗学	2	考古学A	2			民俗文化論	2
			考古学B	2				
			民俗学	2				
Ⅳ								
Ⅴ							自然環境と生態系	2
							環境開発論	2
							多様性の生物学	2
							生命の起源と進化	2

各学科につき、Ⅰ～Ⅴの系列のうち、2系列以上にわたり8単位以上修得すること。

教育学科 社会教育主事に関する履修科目表

社会教育主事課程に定められた所定の単位を修得した者は、「社会教育主事」の資格及び「社会教育士」の称号を得ることができます。

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ	2	必	
	生涯学習概論Ⅱ	2	必	
生涯学習支援論	生涯学習支援論Ⅰ	2	必	
	生涯学習支援論Ⅱ	2	必	
社会教育経営論	社会教育経営論Ⅰ	2	必	
	社会教育経営論Ⅱ	2	必	
社会教育特講	ジェンダーと教育	2	選	8 単位以上修得すること。
	家庭教育論	2	選	
	教育社会学	2	選	
	教育行政学	2	選	
	学校外教育論	2	選	
	児童文化活動論	2	選	
社会教育実習	社会教育実習	2	必	
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究	社会教育演習	2	選	4 単位以上修得すること。
	社会教育基礎実習	2	選	
	社会教育課題研究	2	選	
	児童文化化学実習	2	選	

教育学科 保育士に関する履修科目表

区分	指定保育士養成施設の指定基準科目				本学規定科目			
	規定科目	授業形態	単位数	必選の別	授業科目	時間	単位数	必選の別
教養科目	外国語、体育以外の科目	—	6以上	必	仏教学ⅠA	30	2	必
					仏教学ⅠB	30	2	必
					仏教学ⅡA	30	2	必
					仏教学ⅡB	30	2	必
					人権教育論	15	1	必
	外国語	演習	2以上	必	英語ⅠA1	30	1	必
					英語ⅠA2	30	1	必
体育	講義	1	必	運動と健康科学	30	2	必	
				実技	1	必	スポーツ実践	30
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	必	保育原理	30	2	必
	教育原理	講義	2	必	教育原論	30	2	必
	子ども家庭福祉	講義	2	必	子ども家庭福祉	30	2	必
	社会福祉	講義	2	必	社会福祉	30	2	必
	子ども家庭支援論	講義	2	必	子ども家庭支援論	30	2	必
	社会的養護Ⅰ	講義	2	必	社会的養護Ⅰ	30	2	必
	保育者論	講義	2	必	教職論	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	必	発達心理学	30	2	必
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	必	子ども家庭支援の心理学	30	2	必
	子ども理解と援助	演習	1	必	子ども理解と教育相談	30	2	必
	子どもの保健	講義	2	必	子どもの保健	30	2	必
保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養	演習	2	必	子どもの栄養	30	2	必
	保育の計画と評価	講義	2	必	保育・幼児教育課程論	30	2	必
					保育内容総論	15	1	必
	保育内容総論	演習	1	必	保育内容演習(健康)	30	2	必
					保育内容演習(人間関係)	30	2	必
					保育内容演習(環境)	30	2	必
					保育内容演習(言葉)	30	2	必
	保育内容演習(表現)	演習	5	必	保育内容演習(表現)	30	2	必
					子どもと健康	15	1	必
					子どもと人間関係	15	1	必
					子どもと環境	15	1	必
	保育内容の理解と方法	演習	4	必	子どもと言葉	15	1	必
					子どもと表現	15	1	必
乳児保育Ⅰ					30	2	必	
乳児保育Ⅱ					30	1	必	
子どもの健康と安全					30	1	必	
障害児保育	演習	2	必	障害児保育	30	2	必	
社会的養護Ⅱ	演習	1	必	社会的養護Ⅱ	30	1	必	
子育て支援	演習	1	必	子育て支援	30	1	必	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	必	保育実習ⅠA	80	2	必
					保育実習ⅠB	80	2	必
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	必	保育実習指導ⅠA	30	1	必
					保育実習指導ⅠB	30	1	必
総合演習	保育実践演習	演習	2	必	保育・教職実践演習	30	2	必
保育の対象の理解に関する科目					※特別支援教育論	15	1	選
保育の内容・方法に関する科目					※乳幼児の健康・運動あそび	30	2	選
					※乳幼児の科学・造形あそび	30	2	選
					※乳幼児の表現・音楽あそび	30	2	選
					※音楽実技Ⅰ	30	2	選
					※人形劇演習	30	2	選
					※絵本論	30	2	選
保育実習					※保育実習Ⅱ	80	2	選
					※保育実習Ⅲ	80	2	選
					※保育実習指導Ⅱ	15	1	選
					※保育実習指導Ⅲ	15	1	選

※選択科目から、9単位数以上(うち保育実習3単位数以上(うち保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ2単位数以上、保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ1単位数以上))修得しなければならない。

心理共生学科 社会福祉士に関する履修科目表

法定規定科目				本学規定科目				
科目		時間	単位	科目	時間	単位	必選	
人間と社会及びその関係性の理解 (90時間)	医学概論	30	2	解剖生理学	30	2	必	
				臨床医学概論	30	2	必	
	心理学と心理的支援	30	2	心理学と心理的支援	30	2	必	
	社会学と社会システム	30	2	社会学	30	2	必	
複合化・複雑化した福祉課題及び包括的な支援の理解 (240時間)	社会福祉の原理と政策	60	4	社会福祉原論	30	2	必	
				社会福祉政策論	30	2	必	
	社会保障	60	4	社会保障論 I	30	2	必	
				社会保障論 II	30	2	必	
	権利擁護を支える法制度	30	2	法学	30	2	必	
	地域福祉と包括的支援体制	60	4	地域福祉論 I	30	2	必	
				地域福祉論 II	30	2	必	
	高齢者福祉	30	2	老人福祉論	30	2	必	
	障害者福祉	30	2	障害者福祉論	30	2	必	
	児童・家庭福祉	30	2	児童・家庭福祉論	30	2	必	
	貧困に対する支援	30	2	公的扶助論	30	2	必	
保健医療と福祉	30	2	保健医療論	30	2	必		
刑事司法と福祉	30	2	刑事司法と福祉	30	2	必		
ソーシャルワークの基礎及び理論と方法の理解 (240時間)	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	ソーシャルワーク概論	30	2	必	
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30	2	ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法	60	4	ソーシャルワーク論 I	30	2	必	
				ソーシャルワーク論 II	30	2	必	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	4	ソーシャルワーク論 III	30	2	必	
				ソーシャルワーク論 IV	30	2	必	
	社会福祉調査の基礎	30	2	社会福祉調査	30	2	必	
福祉サービスの組織と経営	30	2	福祉サービスの組織と経営	30	2	必		
ソーシャルワークの方法及び実践の理解 (480時間)	ソーシャルワーク演習	30	1	ソーシャルワーク演習 I	30	1	必	
	ソーシャルワーク演習(専門)	120	4	ソーシャルワーク演習 II	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 III	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 IV	30	1	必	
				ソーシャルワーク演習 V	30	1	必	
	ソーシャルワーク実習指導	90	3	ソーシャルワーク実習指導 I	30	1	必	
				ソーシャルワーク実習指導 II	60	2	必	
ソーシャルワーク実習	240	4	ソーシャルワーク実習 I	60	1	必		
			ソーシャルワーク実習 II	180	3	必		
法定規定科目合計単位数		1200	60	本学規定科目合計単位数		1230	62	

心理共生学科

スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程履修科目表

規程による指定科目	本学規定科目及び単位数			備考
スクール(学校)ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	2	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	1	必	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち、「教育に関する社会的、制度的または経営的事項」を含む科目(1科目以上)	教職論	2	必	「教職論」「教育行政学」「生徒指導論」の履修にあたっては、諸課程履修科目から履修すること。
	教育行政学	2	必	
教育の基礎理論に関する科目のうち「幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達及び学習の過程に関する事項」を含む科目及び生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目(1科目以上)	教育心理学	2	必	
	生徒指導論	2	必	
精神保健の課題と支援	精神保健 I	2	必	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度				

※スクールソーシャルワーカー資格取得に必要な科目の単位を全て修得し、社会福祉士の国家資格に合格した者が、スクールソーシャルワーカーの資格を取得することができます。

※スクールソーシャルワーク実習は、社会福祉士課程のソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ及びソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱを履修し、かつ選抜試験に合格した者のみ履修することができます。

心理共生学科 公認心理師に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数			備 考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	必	
心理学概論	心理学概論	2	必	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必	
心理学研究法	心理学研究法	2	必	
心理学統計法	心理統計法	2	必	
心理学実験	心理学実験	2	必	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	必	
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	必	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必	
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必	
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学A	2	必	
	社会・集団・家族心理学B	2	必	
発達心理学	発達心理学	2	必	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必	
心理学的支援法	心理学的支援法	2	必	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必	
福祉心理学	福祉心理学	2	必	
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	必	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	必	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	必	
関係行政論	関係行政論	2	必	
心理演習	心理演習	2	必	
心理実習	心理実習	2	必	

※公認心理師試験(国家試験)の受験資格を得るためには、上記の科目を履修した後に、大学院へ進学し所定の科目を履修する、もしくは一定期間の実務経験が必要です。

食物栄養学科 管理栄養士に関する履修科目

管理栄養士学校指定規則の規定			本学規定科目				備考	
教育内容	単位数		科目名	単位数		必選の別		
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習			
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	健康環境論	2		必		
			公衆衛生学	2		必		
			介護福祉概論	2		必		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	解剖生理学	2		必	
				応用生理学	2		必	
				生化学	2		必	
				分子栄養学	2		必	
				臨床医学概論	2		必	
				臨床病態学	2		必	
				微生物学	2		必	
				生理学実験		1	必	
				解剖生理学実験		1	必	
				生化学実験		1	必	
	バイオテクノロジー実験		1	必				
	食べ物と健康	8		食品学総論	2		必	
				食品学各論	2		必	(食品加工学を含む)
				食品衛生学	2		必	
				応用調理学	2		必	
				食品学実験		2	必	
				食品加工学実習		1	必	
食品衛生学実験					1	必		
調理学実習Ⅰ					1	必		
調理学実習Ⅱ		1	必					
専門基礎分野合計	28	10		28	10			
専門分野	基礎栄養学	2	基礎栄養学	2		必		
			基礎栄養学実習		1	必		
	応用栄養学	6		ライフステージ別栄養学	2		必	
				栄養評価論	2		必	
				栄養機能論	1		必	
				運動栄養学	1		必	
				ライフステージ別栄養学実習		1	必	
	栄養教育論	6		栄養教育総論	2		必	
				栄養教育各論	2		必	
				栄養カウンセリング論	2		必	
				栄養教育論実習		1	必	
	臨床栄養学	8	8	病態栄養学	2		必	
				臨床栄養学	2		必	
				臨床栄養管理学	2		必	
				栄養薬理学	1		必	
				チーム医療論	1		必	
				臨床栄養学実習		1	必	
	公衆栄養学	4		公衆栄養学	2		必	
				公衆栄養活動論	1		必	
				栄養疫学	1		必	
公衆栄養学実習					1	必		
給食経営管理論	4		給食運営論	2		必		
			給食経営管理論	2		必		
			給食運営実習		1	必		
			給食経営管理実習		1	必		
総合演習	2	—	給食運営校外実習事前事後指導	1		必		
			臨地実習事前事後指導	1		必		
			管理栄養士特別演習	2		必		
臨地実習	—	4	給食運営校外実習		1	必	5科目中3科目3単位を修得すること	
			臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)		1	選		
			臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)		1	選		
			臨地実習(公衆栄養学)		1	選		
臨地実習(給食経営管理論)		1	選					
専門分野合計	32	12		34	12			
合計	60	22		62	22			

食物栄養学科 栄養士に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目	単位数		備考
		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	公衆衛生学	2		
	介護福祉概論	2		
人体の構造と機能	解剖生理学	2		
	応用生理学	2		
	生化学	2		
	分子栄養学	2		
	生理学実験		1	
	生化学実験		1	
食品と衛生	食品学総論	2		
	食品学各論	2		(食品加工学を含む)
	食品衛生学	2		
	食品学実験		2	
	食品加工学実習		1	
	食品衛生学実験		1	
栄養と健康	基礎栄養学	2		
	基礎栄養学実習		1	
	ライフステージ別栄養学	2		
	運動栄養学	1		
	栄養機能論	1		
	ライフステージ別栄養学実習		1	
	臨床栄養学	2		
	臨床栄養学実習		1	
栄養の指導	栄養教育総論	2		
	栄養教育各論	2		
	栄養教育論実習		1	
	公衆栄養学	2		
	公衆栄養学実習		1	
給食の運営	給食運営論	2		
	応用調理学	2		
	調理学実習Ⅰ		1	
	調理学実習Ⅱ		1	
	給食運営実習		1	
	給食経営管理実習		1	
	給食運営校外実習		1	
	給食運営校外実習事前事後指導	1		

本学規定科目は全て必修

食物栄養学科 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計40単位修得すること)

法定規定科目		本学規定科目				
科目群	単位	科目	単位数	必選の別	備考	
A群 化学関係	各群 1科目以上 合計 22 単位以上	基礎の化学	2	必		
		基礎の有機化学	2	必		
B群 生物化学関係		基礎の生物学	2	必		
		解剖生理学	2	必		
		生化学	2	必		
		食品学総論	2	必		
		食物栄養の化学	2	必		
		分子栄養学	2	必		
C群 微生物学関係		微生物学	2	必		
		食品学各論	2	必		
D群 公衆衛生学関係		公衆衛生学	2	必		
		食品衛生学	2	必		
E群 その他関連科目		基礎実験	1	必		
		食品学実験	2	必		
	応用調理学	2	必			
	基礎栄養学	2	必			
	生理学実験	1	必			
	食品衛生学実験	1	必			
	生化学実験	1	必			
	機器分析概論	2	必			
	食品加工学実習	1	選			
	臨床医学概論	2	選			
	応用生理学	2	選			
	臨床病態学	2	選			
	給食運営論	2	選			
	給食運営実習	1	選			
バイオテクノロジー実験	1	選				
公衆栄養学	2	選				

4単位以上
修得すること

生活造形学科 1級建築士及び2級・木造建築士に関する履修科目表

指定科目の分類(単位数)		本学規定科目				
2級・木造	1級	科目名	単位数	備考		
				2級・木造	1級	
①建築設計製図 (3単位以上)	①建築設計製図 (7単位以上)	建築設計製図実習	2	2単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること	
		空間デザイン実習ⅠA	2			
		空間デザイン実習ⅠB	2			
		空間デザイン実習ⅡA	2			
		空間デザイン実習ⅡB	2			
		空間デザイン実習ⅢA	2			
		空間デザイン実習ⅢB	2			
		建築CAD実習A	2			
		建築CAD実習B	2			
		空間造形実習A	2			
		空間造形実習B	2			
		空間造形実習C	2			
		空間デザイン実習ⅣA	2	2単位以上修得 すること	2単位以上修得 すること	
		空間デザイン実習ⅣB	2			
②～④ 建築計画、建築環境工学 又は建築設備 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	住宅計画	2	2単位以上修得 すること	8単位以上修得 すること	
		住宅再生論	2			
		建築計画1	2			
		建築計画2	2			
		西洋建築史	2			
		日本建築史	2			
		室内様式史	2			
		地域建築再生論	2			
		景観デザイン論	2			
		建築デザイン論	2			
	③建築環境工学 (2単位以上)	建築環境工学	2		2単位以上修得 すること	
		環境計画	2			
	④建築設備 (2単位以上)	建築設備	2		2単位必修	
⑤～⑦ 構造力学、建築一般構造 又は建築材料 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	構造力学Ⅰ	2	4単位以上修得 すること	4単位必修	
		構造力学Ⅱ	2			
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	建築一般構造	2			4単位以上修得 すること
		構造計画	2			
		伝統技法演習	2			
	⑦建築材料	建築材料	2			2単位必修
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築施工	2	2単位必修	2単位必修	
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築法規	2	2単位必修	2単位必修	
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	インテリア計画	2			
		インテリアエレメント	2			
				合計20～40単 位以上修得す ること	合計40～60単 位以上修得す ること	

※所定の科目を履修する事により1級、2級・木造建築士の受験資格が卒業後に得られる。

※合計修得単位数により、建築士免許登録時に必要となる実務経験年数(国土交通省令で定める年数)が異なる。

生活造形学科 衣料管理士(1級)に関する履修科目表

＜必修科目＞(すべて修得すること)

日本衣料管理協会指定科目		本学規定科目及び単位数		備考
材 料	被服繊維学	アパレル材料学1	2	
	被服材料学	アパレル材料学2	2	
	繊維学実験Ⅰ	アパレル繊維・材料学実験Ⅰ	2	
	材料学実験Ⅰ			
	繊維学実験Ⅱ	アパレル繊維・材料学実験Ⅱ	2	
	材料学実験Ⅱ			
	テキスタイルデザイン	テキスタイルデザイン実習	2	
加工・整理	被服整理学	アパレル管理学	2	
	染色加工学	アパレル染色学	2	
	被服整理学実験	アパレル染色整理学実験	2	
	染色加工学実験			
	工芸染色実習	工芸染色実習	2	
企画・設計 ・生産	アパレル企画論	アパレル企画論	2	
	アパレル設計論	アパレル設計学	2	
	アパレル設計実習	アパレル設計製図実習	2	
	アパレル生産実習	アパレル生産実習	2	
	アパレル生理衛生論	衣環境論	2	
	アパレルデザイン論	ファッションデザイン学	2	
	アパレルCAD実習	アパレルCAD実習	2	
	被服心理学	ファッション社会学	2	
	アパレル企画実習	アパレル企画実習	2	
	アパレルデザイン表現実習	ファッションデザイン学実習Ⅰ	2	
	(協会規定外科目)	アパレル体型学	2	
流通・消費	消費科学	消費科学	2	
	消費生活論	消費生活論	2	
	テキスタイルアドバイザー実習	テキスタイルアドバイザー実習	2	
	衣生活文化論	ファッション文化論	2	
	ファッションビジネス論	ファッションビジネス論	2	
	ファッション商品論	ファッションブランド論	2	

現代社会学科 社会調査士に関する履修科目表

社会調査士資格認定機構指定科目	本学規定科目及び単位数		
社会調査の基本的事項に関する科目	社会データ処理基礎	2	必
調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法Ⅰ	2	必
基本的な資料とデータの分析に関する科目	社会データ分析入門	2	必
社会調査に必要な統計学に関する科目	社会調査法Ⅲ	2	必
質的な分析の方法に関する科目	社会調査法Ⅱ	2	必
社会調査の実習を中心とする科目	ソーシャル・リサーチⅠ	2	選
	ソーシャル・リサーチⅡ	2	
	フィールド・ワークⅠ	2	選
	フィールド・ワークⅡ	2	

「ソーシャル・リサーチⅠ、Ⅱ」「フィールド・ワークⅠ、Ⅱ」どちらか一方4単位を選択必修とする。

図書館司書に関する履修科目表

群	法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考	
甲 群	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	教育学科の学生は、「生涯学習概論」の履修にあたっては、専門科目の中の「生涯学習概論Ⅰ」を履修すること。 「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。 情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。
	図書館概論	図書館概論	2	必	
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	必	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	必	
	情報サービス論	情報サービス論	2	必	
	児童サービス論	児童サービス論	2	必	
	情報サービス演習	情報サービス演習	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
情報資源組織演習Ⅱ		1	必		
乙 群	図書館基礎特論	図書館基礎特論	2	選	2科目4単位以上修得すること。 「図書館実習」の履修についての条件は別に定める。
	図書館サービス特論	図書館サービス特論	2	選	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	2	選	
	図書・図書館史	図書・図書館史	2	選	
	図書館施設論	図書館施設論	2	選	
	図書館総合演習	図書館総合演習	2	選	
	図書館実習	図書館実習	2	選	

学校図書館司書教諭に関する履修科目表

法定規定科目	本学規定科目及び単位数		備考
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	必

学校司書に関する履修科目表

	規定科目	本学規定科目及び単位数			備考
学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目	学校図書館概論	学校経営と学校図書館	2	必	「情報サービス演習」は、「情報サービス論」の単位を修得しなければ履修できない。 情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱは、「情報資源組織論」の単位を修得しなければ履修できない。
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習Ⅰ	1	必	
		情報資源組織演習Ⅱ	1	必	
	学校図書館サービス論	学校図書館サービス論	2	必	
学校図書館情報サービス論	情報サービス論	2	必		
	情報サービス演習	2	必		
児童生徒に対する教育支援に関する科目	学校教育概論	教育原論	2	必	「教育原論」「教育心理学」「教育課程論」の履修にあたっては、文学部、家政学部、現代社会学部、法学部及びデータサイエンス学部の学生は諸課程履修科目より、発達教育学部の学生は専門科目より履修すること。心理共生学部の学生は、「教育原論」「教育課程論」の履修にあたっては諸課程履修科目より、「教育心理学」の履修にあたっては専門科目より履修すること。
		教育心理学	2	必	
		教育課程論	2	必	
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必		

日本語教師課程に関する履修科目表

(必修科目を含め、合計26単位以上修得すること。)

領域区分	本学規定科目及び単位数			備考			
社会・文化・地域	日本語教育入門	2	必	諸課程履修科目	全学共通科目		
言語と社会、言語と心理	言語と社会	2	必				
言語と心理、言語と教育	言語と心理	2	必				
言語と教育	言語と教育	2	必				
言語	日本語の構造	2	必				
言語と教育	日本語教育実習	2	必			(事前・事後指導を含む) 「日本語教育実習」は、「日本語教育入門」、「言語と教育」及び「日本語の構造」の単位を修得した者のみ履修することができる。	
言語	英語 I A1	1	必			共通科目群	
言語	英語 I B1	1	必				
言語と教育、言語	(初修外国語) I A1 (※1)	1	必				(※1)ドイツ語 I A1、フランス語 I A1、中国語 I A1、ロシア語 I A1 のいずれか1科目を履修すること。 (※2)ドイツ語 I B1、フランス語 I B1、中国語 I B1、ロシア語 I B1 のいずれか1科目を履修すること。
言語と教育、言語	(初修外国語) I B1 (※2)	1	必				
言語と教育	情報リテラシー	2	必				
言語	キャリア形成 I	2	必				
言語	ことばとコミュニケーション	2	選	オープン科目			
社会・文化・地域、言語	中国文学史A	2	選		※文学部の学生は文学部共通専門科目として履修すること。		
社会・文化・地域、言語	中国文学史B	2	選				
社会・文化・地域	国文学史2A	2	選	オープン科目	全学共通科目		
社会・文化・地域	国文学史2B	2	選			※国文学科の学生は国文学科専門科目として履修すること。	
言語	国語史A	2	選				
言語	国語史B	2	選				
言語と社会、言語と心理、言語と教育、言語	多文化教育論	2	選	オープン科目	全学共通科目		
言語と教育	教育方法論 (※1)	2	選	※教育学科の学生は専門科目として履修すること。			
言語	生徒指導論 (※1)	2	選	(※1) 教育学科の学生は専門科目として履修すること。 (※2) 教育学科の学生は専門科目の「生涯学習概論 I」を履修すること。			
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 (※2)	2	選				
社会・文化・地域	国文学基礎講座A	2	選	国文学科専門科目 ※	全学共通科目		
言語と社会、言語と教育、言語	入門演習A	2	選				
社会・文化・地域	国文学史1A	2	選				
社会・文化・地域、言語と心理、言語と教育、言語	漢文学A	2	選				
社会・文化・地域、言語と心理、言語と心理、言語と社会、言語と心理、言語と教育、言語	異文化理解基礎講義	2	選	英語文化コミュニケーション学科専門科目 ※	全学共通科目		
言語と心理	言語習得論	2	選				
言語と心理	比較文化研究1	2	選				
言語と社会	社会言語学	2	選	教育学科専門科目 ※	各学科専門科目 ※		
社会・文化・地域、言語と社会	生涯学習概論 I	2	選				
社会・文化・地域、言語と社会、言語と教育	比較・国際教育論	2	選				
言語	子ども理解と教育相談	2	選				
社会・文化・地域、言語と社会	社会教育演習	2	選	現代社会学科専門科目 ※	各学科専門科目 ※		
社会・文化・地域	国際結婚論	2	選				
社会・文化・地域	マイノリティと法	2	選				
社会・文化・地域	多文化社会論	2	選	法学科専門科目 ※	各学科専門科目 ※		
社会・文化・地域	英米法 I	2	選				
社会・文化・地域	英米法 II	2	選				
社会・文化・地域	国際法 II	2	選				
社会・文化・地域	国際関係論	2	選				
社会・文化・地域	平和研究 I	2	選				
社会・文化・地域	平和研究 II	2	選				
合 計					26単位以上		

※各学科専門科目は当該所属の学生のみ履修可。

(注)本学が定める日本語教師課程は、文化庁が示す日本語教師養成課程の「副専攻課程」です。

IV. 京都女子大学 履修要項

京都女子大学 履修要項

京都女子大学（以下「大学」という。）を卒業するために必要な単位の修得方法及び教育職員免許状その他の資格取得の所要資格を得るに必要な単位の修得方法、その他修学上必要な事項については、この要項の定めるところによる。

学生は本要項を熟知し、誤りのないようにしなければならない。

第1章 卒業の要件

（卒業の要件）

第1条 大学を卒業するためには、大学に4年以上在学し、その間に学科ごとに定める教育課程に従って、授業科目を履修し合計132単位以上を修得しなければならない。

（卒業に必要な単位）

第2条 卒業に必要な科目及び単位数は、別表1「大学学則（以下「学則」という。）第13条別表」のとおりとする。

（履修方法）

第3条 前条に定める授業科目の履修方法は、それぞれ次のとおりとする。

(1) 仏教学

1 1回生の前期及び後期、3回生の前期及び後期にそれぞれ開講される各2単位、合計8単位を必修とする。

(2) 言語コミュニケーション科目

ア 初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語）

a ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語のうち、1外国語の「IA1（基礎Ⅰ）」・「IB1（基礎Ⅱ）」・「IA2（実習Ⅰ）」・「IB2（実習Ⅱ）」各1単位4科目を履修し、合計4単位を修得しなければならない。

b 外国語検定等による単位認定も含め、「Ⅰ」の4単位すべてを修得した者は、当該外国語の「Ⅱ」を履修することができる。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

c 「Ⅲ」を履修するためには、「Ⅱ」から「ⅡA1」を含む3科目の単位を修得していなければならない。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

d 初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語）は、履修登録に先立って、指定された期日までに履修する外国語を選択し、あらかじめ指定されたクラスで登録しなければならない。

イ 英語

a 英語「IA1」・「IA2」・「IB1」・「IB2」各1単位4科目を履修し、合計4単位を修得しなければならない。

b 英語「Ⅱ」・「Ⅲ」は選択科目で、指定された年次以降に自由に履修することができる。修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。

c 英語「IA1」・「IA2」・「IB1」・「IB2」は、入学時に行うプレースメントテストの結果に基づき指定されたクラスで登録しなければならない。

ウ 本学入学前又は入学後に、文部科学大臣が定める英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の外国語検定等に合格又は規定の点数を取得した場合は、学則第19条の3及び第19条の4により、本学の授業科目に読み替え、単位を認定することができる。単位の認定等必要な事項は別に定める。

エ 削除

オ 外国人留学生の言語コミュニケーション科目履修

a 外国人留学生は、初修外国語として日本語（「日本語IA1」、「日本語IA2」、「日本語IB1」、「日本語IB2」）を履修することができる。

b 外国人留学生は、言語コミュニケーション科目として母語を履修することはできない。英語を母語とする外国人留学生は、「ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、日本語」より二外国語を選択し、それぞれにつき、IA1、IA2、IB1、IB2を修得して言語コミュニケーション科目の必修単位（合計8科目8単位）とする。

c 本学の「日本語プログラム科目」（学則別表3の2）を履修して必要な単位を修得した場合は、当該修得単位を「日本語」の単位として認定することができる。

d 本学入学前に「日本語能力試験」又は「日本留学試験（日本語）」に合格又は規定の点数を取得した場合は、「日本語IA1」、「日本語IA2」、「日本語IB1」、「日本語IB2」の単位（合計4単位）に読み替え、認定することができる。

(3) 情報基盤科目

ア 「情報リテラシー」2単位を必修とする。

イ 「データ・AIリテラシー」2単位を必修とする。

ウ 情報基盤科目の選択科目を履修する場合、修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(4) 健康科学科目

ア 「運動と健康科学」2単位を必修とする。

イ 「スポーツ実践」1単位は選択科目で、修得した単位は卒業に必要な単位に含めることができる。ただし、教育職員免許状を取得しようとする者は必ず修得しなければならない。

ウ 削除

(5) ジェンダー科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(6) 連携活動科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(7) 国際理解科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(8) 教養科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(9) オープン科目

修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(10) 他大学単位修得科目

ア 他の大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の2により、卒業に必要な単位に含めることができる。履修登録、単位の認定等必要な事項は別に定める。

イ 他の大学又は短期大学の授業科目の受講は、2回生から4回生前期の期間とする。

(11) 学科専門科目

ア 各学科の教育課程に従い、必修科目の修得及び選択必修科目の要件を満たしたうえで、72単位以上修得しなければならない。

イ 各学科が指定する単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができる。

(12) 本学入学前に大学等で修得した単位

本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位は学則第19条の4により、本学の授業科目に読み替え単位を認定することができる。

2 第1項第2号ウ及び同第11号の規定により、本学入学前の本学以外での学修を本学の授業科目に読み替えて認定できる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

3 第1項第2号ウ及び同第9号の規定により、本学入学後の本学以外での学修を本学の卒業に必要な単位に含めることができる単位数は、あわせて60単位を上限とする。

（諸課程履修科目）

第3条の2 資格等取得のために開講する「諸課程履修科目」で修得した単位は、卒業に必要な単位に含めることができず。

（副専攻プログラム）

第3条の3 学則第14条の2に規定する京都女子大学副専攻プログラムに関し必要な事項については、別に定める。

第2章 履修登録及び授業

（履修登録）

第4条 学生は、当該年度に履修しようとする授業科目について、あらかじめ指定された期日に、履修登録の手続きを行わなければならない。

2 授業科目の登録は、原則として当該学科及び回生ごとに組まれた開講一覧表（時間割表）に従わなければならない。

3 前項の定めにかかわらず、他学部・他学科のオープン科目については履修登録することができる。

4 卒業要件として修得すべき単位のうち、1年間に登録できる授業科目の単位数の上限は48単位とする。ただし、校外実習・校外研修科目及び当該実習指導に関する科目、その他学科が指定する科目並びに卒業論文・卒業研究については、登録単位数の上限を超えて登

録することができる。

5 一度単位認定された授業科目は再登録できない。

(履修登録の修正)

第5条 履修登録後の追加・変更及び取り消しは、授業開始後の指定された期日に修正の手続きをした者についてのみ認める。

(授業の方法)

第6条 授業科目は、その授業方法により講義、演習（講読）、実験・実習又は実技に区分し、授業はそのいずれかにより行う。また、これらの併用により行う場合がある。

2 文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(単位の計算)

第7条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準による。(学則第17条) 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目の単位数については、論文等作成に必要な学修等を考慮して定める。

(必修科目・選択科目の区分)

第8条 授業科目は、その履修方法により必修科目及び選択科目（選択必修科目を含む。）に区分する。

(必修科目の再履修)

第9条 必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、必ずその科目の単位が認定されるまで履修しなければならない。

(言語コミュニケーション科目の再履修)

第10条 言語コミュニケーション科目（英語を除く）の再履修については、別に定める。

(選択必修科目の再履修)

第11条 選択必修科目が不合格で単位が認定されなかった場合は、選択できる範囲内の科目を履修してこれに代えることができる。

(開講期間)

第12条 授業科目は、その開講期間により学則第11条に定める前期に開講する前期開講科目、後期に開講する後期開講科目及び前期、後期を通じて開講する通年開講科目に区分する。

2 あらかじめ通年として開講されている授業科目は、通年受講しなければならない。

(受講)

第13条 受講に際しては、担当教員の出席簿に、出席・欠席・遅刻及び早退の記入をうけなければならない。

(出席日数)

第14条 当該授業科目の出席日数が、実験・実習・実技にあっては、開講日数の5分の4以下、その他にあっては開講日数の3分の2以下の者については、原則として単位認定は行わない。ただし、公欠及び忌引の期間は出席日数に含める。

2 削除

(公欠・忌引)

第15条 公欠又は忌引とは、次の各号のうち本学が認めた期間について適用する。

(1) 父母、配偶者又は子の死亡による忌引の期間

(2) 祖父母、兄弟、姉妹、曾祖父母、伯叔父母又は甥姪の死亡による忌引の期間

(3) 課程履修に伴う実習（介護等体験を含む。）の期間

(4) 就職試験の期日

(5) 学校保健安全法施行規則に定める感染症治療の期日

(6) 団体等の学外活動の期間

(7) その他

(授業時間)

第16条 授業時間は、講時で表わし1講時を2時間と見なして計算する。講時配当時間は、次のとおりとする。

1 講時 8：50～10：20

2 講時 10：35～12：05

3 講時 13：00～14：30

4 講時 14：45～16：15

5 講時 16：30～18：00

6 講時 18：10～19：40

第3章 試験

(試験)

第17条 学生は、履修登録を行った授業科目について、その担当教員の授業を受け、かつ、その指定するところに従って試験を受けなければならない。

2 前項の試験は、レポート等の提出をもってこれに代える場合がある。

(定期試験)

第18条 前条に定める試験のうち、本学が定める期間に行うものを定期試験という。

2 定期試験は、前期及び後期の各期末に行い、前期末に行うものを前期試験、後期末に行うものを学年末試験という。

3 定期試験は、前期開講科目については前期試験において、後期及び通年開講科目については学年末試験において実施する。ただし、通年開講科目にあっても、前期試験を実施する場合がある。

(受験資格)

第19条 定期試験は、所定の期日までに当該科目の履修登録を行った者のうち、第14条に該当しない者に限り受験資格を認める。

(受験心得)

第20条 受験に際しては、予め当該授業科目で定められた方法及び時間を厳正に守るものとし、試験場においては、すべて試験監督者の指示に従わなければならない。

(受験時の注意)

第21条 定期試験を受験する者は、試験場において次の規定を守らなければならない。

(1) 着席は、少なくとも一席おきとする。

(2) 学生証を机上に提示する。

(3) 筆記用具及び特別に持込みを許可されたもの以外は、すべて鞆等の中に収納する。

(4) 下敷の使用は、特に認められた場合を除き禁止する。

(5) 配布された答案用紙は、退室の際、必ず監督者に提出すること。

(仮学生証)

第22条 前条第2号に定める学生証を携帯していない者は、証明書発行センターにおいて仮学生証の交付を受けることができる。

(不正行為の禁止)

第23条 受験に際しては、一切の不正行為を厳禁する。

(不正行為者に対する処置)

第24条 不正行為者に対しては、当該試験科目の評価をDにする。

2 学則第54条により懲戒されることがある。

(試験時間の重複)

第25条 同一時間に受験科目が重複するときは、定められた期間内に教務課へ申し出て、その指示を受けなければならない。

(レポート等の提出)

第26条 第17条第2項によるレポート等を提出する場合にあっては、提出期限を厳守しなければならない。

2 削除

(追試験)

第27条 定期試験が第15条又は次のいずれか一つに該当する事由により受験できなかった者で、第28条第1項に定める手続きを経て許可された者は、改めて追試験を受けることができる。

(1) 病気のために受験することができなかった者

(2) 事故のために受験することができなかった者

(3) その他、やむをえざる事由により受験することができなかった者

(追試験の手続)

第28条 追試験を受けようとする者は、当該試験期間内に、所定の欠試験届に診断書又は事故証明書等、事由を証明する書類を添付して、教務部長に願い出て、その許可を受けなければならない。ただし、当該試験期間内に願い出ることが困難な特別な事情があった場合は、当該試験期間後3日以内に願い出れば期限内に願い出たものとみなす。

2 前項により追試験の受験を許可された者は、追試験受験願（教務課所定）に必要な事項を記入し、教務課の承認を受けた後、所定の期間内に別に定める追試験料を納入しなければならない。

(追試験の時期)

第29条 追試験は、前期試験については9月、学年末試験については3月に実施する。

(追試験の評価)

第30条 追試験の成績評価方法は、正規の試験に準ずる。

(再試験)

第31条 卒業回生で、当該年度登録の卒業に必要な授業科目の単位のうち、未修得単位が最終的に6単位以内となり、かつ、卒業に必要な当該科目の採点結果が50点以上の者は、大学の指示する授業科目について第34条に定める手続きを経たうえで、再試験を受けることができる。ただし、追試験受験科目については、これを適用しない。

(再試験科目)

第32条 前条に定める「大学が指示する授業科目」とは、当該年度登録の授業科目のうち、卒業の要件を満たすに必要な最低限度の科目で、かつ、当該科目の採点結果が50点以上、60点未満のものをいう。ただし、前期科目で該当する場合であっても後期に同一科目を再登録した場合、及び「他大学単位修得科目」については、これを適用しない。

第33条 削除

(再試験の手続)

第34条 再試験を受ける者は、再試験受験願(教務課所定)に必要な事項を記入し、教務課の承認を受けた後、所定の期間内に別に定める再試験料を納入しなければならない。

(再試験の時期)

第35条 再試験は、2月に行う。

2 前項のほか、前期で卒業の要件を満たし得る者のみ9月に行う。

(再試験の評価)

第36条 再試験の合格者の評価は、Cとする。

(規定の準用)

第37条 第20条から第26条までの規定は、追試験及び再試験においてもこれを準用する。

第4章 卒業論文又は卒業研究

(卒業論文又は卒業研究の履修登録)

第37条の2 卒業論文又は卒業研究の履修登録は、第4条第1項の規定により、原則として最終学年の者で3年以上在学し、当該年度卒業が見込まれる者が行う。

(論題の提出)

第38条 卒業論文題目又は卒業研究題目は、卒業論文又は卒業研究の提出時に、指導教員の指導を受けたうえで、教務課に届け出るものとする。

(卒業論文又は卒業研究の提出)

第39条 卒業論文又は卒業研究は、学部ごとに定められた期限までに、各学科の指示する方法により提出しなければならない。正当な理由がなく提出期限に遅れた場合は、受理されない。各学部の提出期限は次表のとおりとする。

学部	卒業論文 (英語文化コミュニケーション学科 は卒業研究)	卒業研究
文学部	12月20日 17時まで(※)	12月20日 17時まで(※)
発達教育学部	12月20日 17時まで(※)	12月20日 17時まで(※)
心理共生学部	12月20日 17時まで(※)	12月20日 17時まで(※)
家政学部	1月20日 17時まで(※)	1月20日 17時まで(※)
現代社会学部	1月15日 17時まで(※)	1月15日 17時まで(※)
法学部	1月10日 17時まで(※)	1月10日 17時まで(※)
データサイエンス 学部	1月20日 17時まで(※)	1月20日 17時まで(※)

(※) 提出期限が土・日・祝日に当たる場合は翌授業実施日の17時を提出期限とする。

2 4回生以上の学生で卒業論文または卒業研究の単位を修得せずに卒業延期となった者のうち、最終年次前期終了時点において卒業が見込まれる者については、最終学年前期(7月20日午後5時まで)(※)にこれを提出し、単位の認定を受けることができる。

(※) 提出期限が土・日・祝日に当たる場合は翌授業実施日の17時を提出期限とする。

(卒業論文又は卒業研究の試験)

第40条 卒業論文試験又は卒業研究試験は、最終年次の学年で、所定の単位を修得した者について行う。

2 前項の試験は、審査及び試問(発表を含む。)によるものとする。

第5章 単位認定及び成績

(成績評価と単位認定)

第41条 授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、上位よりSS、S、A、B、C及びDをもって表示し、C以上を合格として当該授業科目の単位を認定する。

種別	採点結果	成績評価	GP	判定の基準
合格	100点	SS	5.0	授業科目の目標を完全に達成している。
	90点～99点	S	4.0～4.9	授業科目の目標をほぼ完全に達成している。
	80点～89点	A	3.0～3.9	授業科目の目標を相応に達成している。
	70点～79点	B	2.0～2.9	授業科目の目標を相応に達成しているが、不十分な点がある。
	60点～69点	C	1.0～1.9	授業科目の目標の最低限を満たしている。
不合格	G	G	—	100点法では評価できない科目の合格。
	D 0点～59点	D	0.0	授業科目の目標の最低限を満たしていない。
単位認定 合格	N	N	—	他大学等で修得した単位。 本学入学前に修得した単位。

2 文学部の卒業論文(英語文化コミュニケーション学科は卒業研究)及び現代社会学部の卒業論文並びに法学部の卒業研究の成績評価は、100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

3 発達教育学部、心理共生学部、家政学部及びデータサイエンス学部の卒業研究の成績評価は、G、Dをもって表わし、Gを合格とする。

4 教職実践演習及び教育実習等の学外実習・研修にかかる授業科目の成績評価は、G、Dをもって表わし、Gを合格とする。

5 当該年度学費未納者については、単位認定を保留する。

(成績の通知)

第42条 履修した授業科目の成績は、履修登録までに本人に通知する。

2 前項による通知には、授業科目ごとの採点結果及び成績評価に加え、履修登録したすべての授業科目を対象として、それぞれの成績評価のGP(グレードポイント)から計算した単位あたりの平均値(GPA)を記入する。GPAの計算方法は別に定める。

第42条の2 GPAが一定基準を下回った者は、本学教員による面談を受けなければならない。

2 一定期間にわたり成績の改善が見られない者に対して、本学が別に定める方法により、学修上の指導または各種勧告(改善勧告、休学勧告、退学勧告のいずれか)を行う場合がある。

(成績証明書の評語)

第43条 本学で発行する成績に関する証明書は、単位を修得した授業科目について、第41条にもとづき、SS、S、A、B、C、G又はNの評語をもって記入する。

2 削除

第6章 欠席・休学・復学・退学

(欠席届)

第44条 正規の授業を引続き1週間以上3カ月以内欠席する場合は、所定の欠席届を学生生活センターに提出しなければならない。

2 前項の欠席事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

3 3カ月をこえて、当該年度登録した授業科目のすべてを無断欠席した者は、学則第46条により除籍される。

(休学願)

第45条 学則第41条及び第42条に規定する休学の手続きは、所定の休学願を学生生活センターに提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

らない。

(復学願)

第46条 学則第43条に規定する復学については、休学期間満了前に所定の復学願を学生生活センターに提出しなければならない。

2 前項の休学事由が病気の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

(退学願)

第47条 学則第44条に規定する退学については、所定の退学願を保証人連署のうえ、学生生活センターに提出しなければならない。

2 学則第38条第2項に規定する他大学への転入学に際しては、退学願を学生生活センターに提出しなければならない。

第7章 編入学及び転部・転科

(編入学)

第48条 学則第37条に規定する編入学の取扱いは、別に定める。

第49条 削除

(転部・転科)

第50条 学則第40条に規定する転部・転科を希望する者は、所定の願書及び必要書類に検定料を添えて保証人連署のうえ、教務課に提出しなければならない。

2 転部・転科に関する内規は、別に定める。

第8章 科目等履修

(科目等履修)

第51条 学則第56条に規定する科目等履修の取扱いは、別に定める。

第9章 教職課程

(教職課程)

第52条 学則第24条に基づき、本学に教職課程を置く。

(規定の準用)

第53条 教職課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(教職に関する科目等の履修)

第54条 教育職員免許状取得の所要資格を得ようとする者の、教科及び教職に関する科目の単位の修得方法は、本学の定めるところによる。

2 教職実践演習(中・高)、教職実践演習、保育・教職実践演習、教職実践演習(栄養教諭)及び教職実践演習(養護教諭)は原則として最終学年の者で、各学科で実施する必要なすべての教職面談をうけ、かつ、教育実習の履修登録ができる者について、履修を許可する。

(履修制限)

第55条 各学年終了時に第42条第2項の規定により計算した累積GPAが「2.0」未満の者については、原則として教職課程の履修を制限する。

2 前項にくわえ、免許の種類・教科ごとに別に定める基準を満たさない者について、教職課程の履修を制限することがある。

(免許状の種類・教科)

第56条 学則第24条第3項に基づき、各学科において所要資格を得ることのできる教育職員免許状の種類及び教科を次のとおり定める。

学部	学科	種類	教科
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状	国語
		高等学校教諭一種免許状	国語
	英語文化コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状	外国語「英語」
		高等学校教諭一種免許状	外国語「英語」
史学科	中学校教諭一種免許状	社会	
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
発達教育学部	教育学科	小学校教諭一種免許状	
		幼稚園教諭一種免許状	
		特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)	
		中学校教諭一種免許状	音楽
		高等学校教諭一種免許状	音楽

心理共生学部	心理共生学科	中学校教諭一種免許状	保健
		高等学校教諭一種免許状	保健
		養護教諭一種免許状	
家政学部	食物栄養学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
	生活造形学科	中学校教諭一種免許状	家庭
		高等学校教諭一種免許状	家庭
現代社会学部	現代社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
データサイエンス学部	データサイエンス学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	情報

2 発達教育学部教育学科の者で、特別支援学校教諭一種免許状取得希望者は、免許状取得要領に基づき、基礎となる教諭の免許状を併せて取得しなければならない。

3 家政学部食物栄養学科の者で、栄養教諭一種免許状の取得希望者は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表に規定する科目及び単位を修得しなければならない。

4 第1項に定める以外の免許状取得のための他学部・他学科における授業科目の履修については、教務課に申し出て許可を得なければならない。

5 前項により他学部・他学科の授業科目を履修し、単位を修得した場合、単位認定はされるが卒業に必要な単位に含むことはできない。

(教職課程履修費)

第57条 教職課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める教職課程履修費を納入しなければならない。

(他学部・他学科への聴講)

第58条 第56条第4項の規定により許可する場合は、第4条第2項の規定にかかわらず。

(教育実習)

第59条 教育実習及び中学校教育実習は、次に定める先修条件科目を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状取得の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

学部	学科	種類	教科	先修条件科目
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状	国語	教職論、教育原論、教育心理学、国語科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	国語	人権教育論
	英語文化コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状	外国語「英語」	教職論、教育原論、教育心理学、英語科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	外国語「英語」	人権教育論
	史学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史	人権教育論
発達教育学部	教育学科	小学校教諭一種免許状		教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論
		幼稚園教諭一種免許状		人権教育論
		中学校教諭一種免許状	音楽	教職論、教育原論、教育心理学、音楽科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	音楽	人権教育論
心理共生学部	心理共生学科	中学校教諭一種免許状	保健	教職論、教育原論、教育心理学、保健科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	保健	人権教育論
家政学部	食物栄養学科	中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	家庭	人権教育論
	生活造形学科	中学校教諭一種免許状	家庭	教職論、教育原論、教育心理学、家庭科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	家庭	人権教育論
現代社会学部	現代社会学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(公民分野)、人権教育論

法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(地理歴史分野)、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	公民	教職論、教育原論、教育心理学、社会科教育法(公民分野)、人権教育論
デザイン学部	デザイン学科	中学校教諭一種免許状	数学	教職論、教育原論、教育心理学、数学科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	数学	教職論、教育原論、教育心理学、情報科教育法1、人権教育論
		高等学校教諭一種免許状	情報	教職論、教育原論、教育心理学、情報科教育法1、人権教育論

2 教育実習及び中学校教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。

3 栄養教育実習は、次に定める6科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に本学が定める管理栄養士に関する履修科目表に規定する科目及び単位、並びに栄養教諭一種免許状の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論、学校栄養実践論、学校栄養指導論

4 栄養教育実習を履修する者は、「栄養教育実習指導」を履修登録し、かつ、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。

5 養護教育実習は、次に定める4科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状取得の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

教職論、教育原論、教育心理学、人権教育論

6 養護教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。

7 特別支援学校教育実習は、次に定める4科目の単位を前年度までに修得し、かつ、当該年度中に当該免許状ならびに基礎となる教諭の免許状の所要資格のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

特別支援教育総論、肢体不自由教育論、病弱教育論、知的障害教育論

8 特別支援学校教育実習を履修する者は、前年度から実施される教育実習オリエンテーションに怠りなく出席し、所定の手続きを経たうえで、当該年度当初の所定の期間内に教育実習履修登録をしなければならない。

9 教育実習を履修する者のうち、教育実習委託費が必要となる者は、所定の期間内に別に定める教育実習委託費を納入しなければならない。

10 教育実習及び中学校教育実習を履修する者のうち、中学校教諭一種免許状外国語「英語」または高等学校教諭一種免許状外国語「英語」取得希望者は、別に定める基準を前年度までに満たさなければならない。

(教育実習の中止)

第60条 教育実習にあたっては、次の各号に掲げる事項をすべて満たさなければならない。これに反する場合には実習を中止させることがある。

- (1) 教員になる強い意志を有すること
- (2) 教育実習に耐え得る健康体であること
- (3) 本学の指示する諸規定及び実習校(園)の定める諸規定に従うこと

第60条の2 小学校及び中学校の教育職員免許状の取得を希望する者は、免許状取得に係る単位取得のほか、社会福祉施設等での7日間の介護等体験をしなければならない。

2 介護等体験を希望する者は、介護等体験の事前指導(オリエンテ-

ーションを含む。)に怠りなく出席し、本学の指示に従わなくてはならない。

3 介護等体験を希望する者は、所定の期間内に別に定める体験費等を納入しなければならない。

第10章 管理栄養士課程

(管理栄養士課程)

第61条 学則第25条に基づき、本学に管理栄養士養成のための課程(以下「管理栄養士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第62条 管理栄養士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(管理栄養士専門科目の履修)

第63条 家政学部食物栄養学科の者で、管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める管理栄養士に関する履修科目表及び栄養士に関する履修科目表によらなければならない。

(管理栄養士課程実習費)

第64条 管理栄養士課程を履修し、給食運営校外実習の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める管理栄養士課程実習費を納入しなければならない。

(給食運営校外実習事前事後指導)

第64条の2 給食運営校外実習を履修する者は、給食運営校外実習事前事後指導を履修しなければならない。

(臨地実習事前事後指導)

第64条の3 臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)、臨地実習(給食経営管理論)及び臨地実習(公衆栄養学)を履修する者は、臨地実習事前事後指導を履修しなければならない。

(校外実習・臨地実習)

第65条 校外実習及び臨地実習にかかる授業科目の履修は、それぞれ次に定める授業科目の単位をすでに修得し、かつ、当該授業科目にかかるオリエンテーションに怠りなく出席した者について、これを許可する。

給食運営校外実習

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱの7科目

臨地実習(臨床栄養学Ⅰ)、臨地実習(臨床栄養学Ⅱ)及び臨地実習(臨床栄養学Ⅲ)

食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、給食経営管理論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、臨床栄養学の9科目

臨地実習(給食経営管理論)
食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学の9科目

臨地実習(公衆栄養学)
食品学総論、食品学各論、基礎栄養学、栄養教育総論、給食運営論、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、給食経営管理論、臨床栄養学、公衆栄養学の10科目

2 前項の実習にあたり、本学の指示する諸規定及び実習施設の定める諸規定に反する場合には、実習を中止させることがある。

第11章 博物館学芸員課程

(博物館学芸員課程)

第66条 学則第25条の2に基づき、本学に博物館学芸員養成のための課程(以下「学芸員課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第67条 学芸員課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(学芸員関係科目の履修)

第68条 文学部国文学科、同史学科、家政学部生活造形学科及び現代社会学部現代社会学科の者で、学芸員資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める学芸員に関する履修科目表によらなければならない。

(学芸員課程実習費)

第69条 学芸員課程を履修し、「博物館実習Ⅱ」の履修登録をする者は、

所定の期間内に別に定める学芸員課程実習費を納入しなければならない。

(博物館実習)

第70条 博物館実習Ⅱは最終学年の者で、次に定める授業科目の単位をすでに履修し、かつ、当該年度中に所要資格取得のすべてを充足し得る者についてこれを許可する。

博物館概論、博物館資料論、博物館経営論、博物館情報論、博物館実習Ⅰ 以上5科目

第12章 社会教育主事課程

(社会教育主事課程)

第71条 学則第25条の3に基づき、本学に社会教育主事養成のための課程(以下「社会教育主事課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第72条 社会教育主事課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(社会教育主事関係科目の履修)

第73条 発達教育学部教育学科の者で、社会教育主事となる資格(「社会教育士」の称号)を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会教育主事に関する履修科目表によらなければならない。

(社会教育主事課程実習費)

第74条 社会教育主事課程を履修し「社会教育基礎実習」、「社会教育実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会教育主事課程実習費をそれぞれ納入しなければならない。

第13章 1級建築士及び2級・木造建築士養成課程

(1級建築士及び2級・木造建築士養成課程)

第75条 建築士法第14条第1号に定める1級建築士試験の受験資格並びに建築士法第15条第1号に定める2級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格を得るための養成課程(以下「建築士養成課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第76条 建築士養成課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(建築士養成特別科目の履修)

第77条 家政学部生活造形学科の者で、1級建築士試験及び2級建築士試験・木造建築士試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める1級建築士及び2級建築士・木造建築士に関する履修科目表によらなければならない。

(1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費)

第78条 建築士の受験資格取得を目的として、建築士養成課程に次表のとおり「建築士養成特別科目」を置く。建築士養成特別科目をすべて履修する者は、所定の期間内に別に定める1級建築士及び2級・木造建築士課程履修費を納入しなければならない。

建築士養成特別科目	単位
建築法規	2
建築施工	2
空間デザイン実習Ⅳ A またはⅣ B	2

第14章 保育士課程

(保育士課程)

第79条 学則第25条の5に基づき、本学に保育士養成のための課程(以下「保育士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第80条 保育士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(保育士関係科目の履修)

第81条 発達教育学部教育学科の者で、保育士となる資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める保育士に関する履修科目表によらなければならない。

(保育士課程実習費)

第82条 保育士課程を履修し、「保育実習Ⅰ」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める保育士課程実習費を納入しなければならない。

い。

(事前・事後指導)

第83条 保育実習にかかる授業科目を履修しようとする者は、保育実習事前・事後指導(オリエンテーションを含む。)に怠りなく出席しなければならない。

(保育実習)

第84条 保育実習にかかる授業科目を履修することができる者は、次に定めるとおりとする。

- (1)「保育実習Ⅰ」については、2回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべてについて、単位修得又は履修登録している者。
- (2)「保育実習Ⅱ」及び「保育実習Ⅲ」については、「保育実習Ⅰ」の単位を修得し、3回生前期までに開講される保育士課程の必修科目すべてについて、単位修得又は履修登録している者。

第15章 (第85条～第88条) 削除

第16章 (第89条～第92条) 削除

第17章 (第93条～第96条) 削除

第18章 社会調査士課程

(社会調査士課程)

第97条 一般社団法人社会調査協会が認定する社会調査士養成のための課程(以下「社会調査士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第98条 社会調査士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(社会調査士関係科目の履修)

第99条 現代社会学部現代社会学科の者で、社会調査士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会調査士に関する履修科目表によらなければならない。

第19章 衣料管理士課程

(衣料管理士課程)

第100条 社団法人日本衣料管理協会が認定する衣料管理士(1級)養成のための課程(以下「衣料管理士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第101条 衣料管理士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(衣料管理士関係科目の履修)

第102条 家政学部生活造形学科の者で、衣料管理士の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める衣料管理士(1級)に関する履修科目表によらなければならない。

(衣料管理士資格申請手数料)

第103条 衣料管理士(1級)資格認定証の交付を受けようとする者は、所定の期間内に別に定める衣料管理士資格申請手数料を納入しなければならない。

第20章 (第104条～第108条) 削除

第21章 社会福祉士課程

(社会福祉士課程)

第109条 学則第25条の7に基づき、本学に社会福祉士養成のための課程(以下「社会福祉士課程」という。)を置く。

(規定の準用)

第110条 社会福祉士課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(社会福祉士関係科目の履修)

第111条 心理共生学部心理共生学科の者で、社会福祉士国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める社会福祉士に関する履修科目表によらなければならない。

(社会福祉士課程実習費)

第112条 社会福祉士課程を履修し、「ソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める社会福祉士課程実習費を納入しなければならない。

(ソーシャルワーク実習)

第113条 ソーシャルワーク実習は、「専門科目の必修科目」及び「社会福祉士に関する履修科目表に定める必修科目」のうち、2回生前期までに開講される科目の単位を修得したものにこれを許可する。

第22章 食品衛生管理者課程

(食品衛生管理者課程)

第114条 学則第25条の8に基づき、本学に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成のための課程（以下「食品衛生管理者課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第115条 食品衛生管理者課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(食品衛生管理者関係科目の履修)

第116条 家政学部食物栄養学科の者で、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する履修科目表によらなければならない。

第23章 図書館司書課程

(図書館司書課程)

第117条 学則第25条の4第1項に基づき、本学に図書館司書養成のための課程（以下「司書課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第118条 司書課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(司書科目の履修)

第119条 図書館司書となる資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める図書館司書に関する履修科目表によらなければならない。

(司書課程履修費)

第120条 司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

(図書館実習費)

第120条の2 司書課程を履修し、「図書館実習」の受講を許可されたものは、所定の期間内に別に定める図書館実習費を納入しなければならない。

(図書館実習)

第120条の3 図書館実習の受講については、最終学年の者で、図書館司書に関する必修科目および「図書館総合演習」を履修済みであることを先修条件とするが、さらに図書館司書課程委員会の許可を必要とする。

第24章 学校図書館学講座

(司書教諭)

第121条 学校図書館法に定める司書教諭を養成するために、学校図書館学講座を開講する。

(学校図書館学講座)

第122条 司書教諭の資格を得ようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に基づく次の科目を履修し単位を修得しなければならない。

司書教諭講習規程に定める科目

科目	単位	必選の別
学校経営と学校図書館	2	必
学校図書館メディアの構成	2	必
学習指導と学校図書館	2	必
読書と豊かな人間性	2	必
情報メディアの活用	2	必

2 前項に定める単位の修得方法は、本学の定める学校図書館学講座要項によらなければならない。

(規定の準用)

第123条 学校図書館学講座の受講にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(学校図書館学講座受講料)

第124条 学校図書館学講座を受講する者は、所定の期間内に、別に定める受講料を納入しなければならない。

第25章 公認心理師課程

(公認心理師課程)

第125条 学則第25条の9に基づき、本学に公認心理師養成のための課程（以下「公認心理師課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第126条 公認心理師課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(公認心理師関係科目の履修)

第127条 心理共生学部心理共生学科の者で、公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める公認心理師に関する履修科目表によらなければならない。

(公認心理師課程実習費)

第128条 公認心理師課程を履修し、「心理実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める公認心理師課程実習費を納入しなければならない。

(心理実習)

第129条 心理実習は、次に定める授業科目の単位をすべて修得したものであるものについてこれを許可する。

心理学概論、臨床心理学概論、心理的アセスメント、心理学的支援法、人体の構造と機能及び疾病、精神疾患とその治療、心理演習（以上7科目）

第26章 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程

(スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程)

第130条 学則第25条の10に基づき、本学にスクールソーシャルワーカー養成のための課程（以下「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第131条 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程関係科目の履修)

第132条 心理共生学部心理共生学科の者で、スクールソーシャルワーカーの資格を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定めるスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程に関する履修科目表によらなければならない。

(スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程実習費)

第133条 スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程を履修し、「スクールソーシャルワーク実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定めるスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程実習費を納入しなければならない。

(スクールソーシャルワーク実習)

第134条 スクールソーシャルワーク実習は、別に定める条件を満たしたものであるものについてこれを許可する。

第27章 日本語教師課程

(日本語教師課程)

第135条 学則第25条の10に基づき、本学に日本語教師養成のための課程（以下「日本語教師課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第136条 日本語教師課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(日本語教師関係科目の履修)

第137条 日本語教師課程修了証を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める日本語教師に関する履修科目表によらなければならない。

ない。

(日本語教師課程実習費)

第138条 日本語教師課程を履修し、「日本語教育実習」の履修登録をする者は、所定の期間内に別に定める日本語教師課程実習費を納入しなければならない。

(日本語教育実習)

第139条 日本語教育実習の履修は、次に定める授業科目の単位をすでに修得した者について、これを許可する。
日本語教育入門、言語と教育、日本語の構造（以上3科目）

第28章 学校司書課程

(学校司書課程)

第140条 学則第25条の4の第3項に基づき、本学に学校司書養成のための課程（以下「学校司書課程」という。）を置く。

(規定の準用)

第141条 学校司書課程の履修にあたっては、第2章及び第3章並びに第5章の規定を準用する。

(学校司書関係科目の履修)

第142条 学校司書課程修了証を得ようとする者の単位の修得方法は、本学の定める学校司書に関する履修科目表によらなければならない。

(学校司書課程実習費)

第143条 学校司書課程を履修する者は、所定の期間内に別に定める司書課程及び学校司書課程履修費を納入しなければならない。

第29章 履修上の伝達事項

(履修上の伝達事項)

第144条 履修上の伝達事項はすべて本学のポータルサイトに掲載する。

2 自己の責に帰すべき伝達事項の見落としとして不利益を蒙った場合には、本学は、その責を負わない。

附 則

1 この要項は、昭和53年4月1日から施行する。
2 この要項の改廃は、連合教授会又は短期大学部教授会の議を経て学長が行う。
3 昭和45年4月1日制定の「教務規則」は、廃止する。

附 則

この要項は、昭和56年6月24日から施行する。

附 則

1 この要項は、昭和60年4月1日から施行する。
2 第65条の規定は、昭和60年度入学生より適用する。

附 則

1 昭和59年度以前に入学した者の卒業に必要な単位数

学科	区分	仏教学	一般教育科目	保健体育科目	外国語科目	基礎教育科目	専門教育科目	合計
国文学科		8	24	4	8	12	76	132
英文学科		8	32	4	8	4	76	132
東洋史学科		8	24	4	8	12	76	132
教育学科(初等)		8	32	4	8	4	76	132
教育学科(音楽)		8	36	4	8	0	76	132
食物学科		8	36	4	8	0	76	132
被服学科		8	36	4	8	0	76	132
児童学科		8	24	4	8	12	76	132

一般教育科目及び基礎教育科目は学科によって必要な単位数が異なる。自分の所属する学科の必要単位を修得すること。

附 則

1 この要項は、昭和62年4月1日から施行する。
2 第65条の規定は、昭和62年度入学生より適用する。

附 則

この要項は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成2年4月1日から施行する。
2 この要項の改廃は、連合教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この要項は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成4年4月1日から施行する。
2 第5条、第16条、第31条、第32条第1項、第35条、第11章、第12章及び第13章の規定は、昭和61年度入学生より適用するものとし、他は従前のおりとする。

附 則

1 この要項は、平成5年4月1日から施行する。
2 第15条第3項、第41条第4項の規定は、昭和61年度入学生より適用するものとし、他は従前のおりとする。

附 則

この要項は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第39条、第41条第2項、第3項、第4項、第5項及び第6項の規定は、平成6年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第38条の規定は、平成7年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第37条の2の規定は、平成8年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成13年4月1日から施行する。
2 この要項の改廃は、大学評議会の議を経て学長が行う。

附 則

1 この要項は、平成14年4月1日から施行する。
2 第3条の規定にかかわらず、本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位の認定は、当分の間、次の各号に基づき取り扱うものとする。

(1) 本学入学前に大学又は短期大学で修得した単位は、当該科目の内容を精査のうえ、本学の授業科目の一に読み替え、単位認定できるものとする。

(2) 前号により認定できる単位の上限は16単位とする。

(3) 単位の認定を希望する者は、原則として入学年度の4月末日までに修得した大学又は短期大学の学業成績証明書及び当該科目の講義概要を記載した書類を添えて、教務部長に願ひ出るものとする。

(4) 単位の認定は、教務委員会で整合の上、教授会の議を経てこれを行う。

(5) 第3号の定めにかかわらず、教務部長が教育上特に有益と認めるときは、平成13年度入学生にも適用できるものとし、その取扱いは前各号によるものとする。

附 則

この要項は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第28条及び第32条の規定は平成17年4月1日現在在籍している学生から適用し、第13章及び第18章の規定は平成16年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第18章の規定は平成17年度入学生から適用する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第39条第2項の規定は、平成21年4月1日現在在籍している学生から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第6条第2項及び第3項の規定は、平成22年4月1日現在在籍している学生から適用する。

- 附 則
この要項は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 120 条の 2 及び第 120 条の 3 の規定は、平成 24 年 4 月 1 日現在在籍している学生から適用する。
また、学芸員に関する履修科目表による本学規定科目及び単位数は、平成 24 年 4 月 1 日現在在籍している学生から適用する。
- 附 則
この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 54 条第 2 項の規定は、平成 27 年 4 月 1 日現在在籍している学生から適用する。
- 附 則
この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、教育職員免許状に関する履修科目表による本学規定科目及び単位数は、平成 27 年度入学生から適用する。
- 附 則
この要項は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 1 項第 13 号連携活動科目及び別表 1 については、平成 27 年度入学生から適用する。
- 附 則
この要項は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則
この要項は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 38 条、第 39 条及び第 77 条の規定は、令和 6 年 4 月 1 日現在在籍している学生から適用する。

別表 1
教育課程及び履修方法

1 卒業に必要な単位

領域	科目区分	卒業要件単位数	
		必修	選択
建学科目群	仏教学	8 単位	—
共通科目群	言語コミュニケーション科目	8 単位	30 単位
	情報基盤科目	4 単位	
	健康科学科目	2 単位	
	ジェンダー科目	8 単位	
	連携活動科目		
	国際理解科目		
教養科目			
オープン科目			
専門科目群	学科学科専門科目	72 単位	
合 計		132 単位	

